

取扱説明書 活用ガイド

デジタルカメラ/レンズキット/ボディ

品番 **DMC-G8M/
DMC-G8**



LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(付属冊子「取扱説明書」)を必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

困ったときは？

メッセージ表示 P273

Q&A 故障かな？
と思ったら P275

知りたいことの
探し方 P2

本機の特長 P4

目次 P6

機能別目次 P11

メニュー一覧 P157

さくいん P293



知りたいことの探し方

取扱説明書 活用ガイドでは、知りたいことを以下のページから探すことができます。参照ページをクリックすると、該当ページへ移動するので、知りたいことを素早く探せます。

特長から探す

P4 ~

目次から探す

P6 ~

[目次] をクリックしても、移動できます。

機能の名前から探す

P11 ~

ボタンやダイヤルから探す

P16 ~

画面やアイコンから探す

P268 ~

メッセージから探す

P273 ~

メニュー名から探す

P157 ~

[メニュー] をクリックしても、移動できます。

Q&A から探す

P275 ~

キーワードから探す

P293 ~

[キーワード] をクリックしても、移動できます。



① クリックすると、「知りたいことの探し方」のページに移動します。



② クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。

本書の詳しい読み方は、
次ページへ

Wi-Fiについては、
208 ページへ

本書の見方

使えるモード:

説明している機能がどの撮影モードで使えるかを表しています。

- 黒のアイコン : 使えるモード
- グレーのアイコン : 使えないモード

は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。



クリックすると、説明が次のページに続きます。



■ 本文中の記号について

MENU : [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi : [Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。

: 上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

: 特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

(P**): 参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。

例) 撮影メニューで、[クオリティ]を[]から[]に設定する

MENU ボタン → [撮影] → [クオリティ] → []

- 本書では交換レンズ(H-FS12060)を用いて説明をしています。

本機の特長



本機は、“4K”での写真撮影と動画撮影に対応する、防じん・防滴設計のデジタル一眼カメラです。

ボディ内手ブレ補正搭載でレンズ選択の幅が広がります。撮影後にピント位置を選べるフォーカスセレクトや、設定を自動で変えながら撮るブラケット撮影など、瞬間をとらえる多彩な撮影機能をご用意しました。

本機の特長の一例をご紹介します。

手持ちの撮影シーンを広げる手ブレ補正機能

進化したボディ内手ブレ補正

上下方向、左右方向、縦回転、水平回転に加え、回転軸の5軸での補正が可能になり、撮影シーンがより広がりました。

(P123)

写真・動画に効果的な新方式手ブレ補正

レンズとボディの手ブレ補正を組み合わせた Dual I.S. 方式がより補正効果を高めた Dual I.S.2 にも対応し、手ブレを抑えます。動画時はさらに、レンズとボディ、電子式を組み合わせた 5 軸ハイブリッド手ブレ補正を採用し、全方位のブレを抑えます。

(P123)



進化した4Kフォト

ドライブモードダイヤルで素早く4Kフォト撮影へ。30コマ/秒の連写から一瞬を選び出し、約800万画素の写真を保存することができます。

お好みの撮影スタイルに合わせて、3つの撮影方法が選べます。

(P102)



撮影後にピントを操作するフォーカスセレクト

画面を 49 エリアに分けて、高速AFで被写体のピント位置を瞬時に検出。自動でピント位置を変化させながら4Kフォトと同じ画質で撮影。撮影後は好みの位置をタッチしピント位置を選び、写真として保存することができます。(P110)

フォーカス合成

フォーカスセレクトで撮影した画像から複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げた1枚の写真をすることができます。(P113)



絞りやピントなどを自動的に変えながら撮るブラケット撮影

ブラケット撮影は 4 つの撮影方法から選べます。
露出、絞り、フォーカス、ホワイトバランスを、開始時の設定を基準に、自動的に設定をずらしながら撮影します。
絞り値やピント位置など、こだわりの表現が可能です。
(P120)



Wi-Fi 機能

スマートフォンと簡単接続

スマートフォンやタブレットに、パスワードの入力なしに簡単に接続できます。

(P112)

Web サービスに簡単アップロード

再生画面から、画像を直接Webサービスにアップロードできます。接続履歴のある Web サービスにアップロードするときにお勧めです。

(P132)



表現の幅を広げる交換レンズ / 別売品

交換レンズ

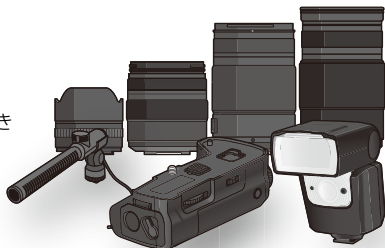
明るい大口径レンズや、高倍率ズームレンズ、電動ズームレンズ、マクロレンズ、魚眼レンズなど、広角から望遠まで、高い描写性能と優れた機動性を備えた交換レンズを多数用意しています。

● 交換レンズについて詳しくは、カタログ・ホームページをご覧ください。

別売品

ワイヤレス対応のフラッシュライトやバッテリーグリップなど、別売品を活用することで、表現の幅を広げたり、より快適な撮影を行うことができます。

(P163)



目次

1. はじめに	P 6	7. 動画を撮影する	P 8
2. 準備と基本操作	P 6	8. 画像の再生・編集	P 9
3. 撮影モード	P 7	9. メニュー機能を使う	P 9
4. ピント・明るさ(露出)・色合いの設定	P 7	10. Wi-Fi 機能を使う	P 9
5. 4K フォト・ドライブの設定	P 8	11. 他の機器との接続	P 10
6. 手ブレ補正・ズーム・フラッシュ	P 8	12. その他・Q&A	P 10

知りたいことの探し方	2
本書の見方	3
本機の特長	4
機能別目次	11

1. はじめに

ご使用の前に	13
同梱品	14
各部の名前と働き	16
本機で利用できるレンズ	19

2. 準備と基本操作

ショルダーストラップを付ける	20
バッテリーを充電する	21
充電する	21
使用時間と撮影枚数の目安	23
バッテリーを入れる・取り出す	25
カード(別売)を入れる・取り出す	26
カードについて	27
カードをフォーマット(初期化)する	28
記録可能枚数・時間の目安	28
レンズを付ける/取り外す	30
モニター面を表にする/モニターを調整する	33
時計を設定する	34
時計を合わせ直す	35
基本の操作	36
本機の構え方について	36
ファインダー撮影について	36
シャッターボタン(写真の撮影)	38
動画ボタン(動画の撮影)	39
モードダイヤル(撮影モードの選択)	39
前ダイヤル/後ダイヤル	40
カーソルボタン/[MENU/SET]ボタン	41
[DISP.]ボタン(表示情報の切り換え)	42
タッチパネル(タッチ操作)	44

タッチ機能を使って撮る	45
メニューの設定方法	47
よく使うメニューをすぐに呼び出す(クイックメニュー)	49
クイックメニューをお好みの項目に変更する	50
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン)	51
文字を入力する	54

3. 撮影モード

カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)	55
手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)	57
階調豊かな写真に合成する(iHDR)	58
背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)	59
明るさや色合いを変えて撮る	60
絞り値とシャッタースピードを 自動で設定して撮る(プログラム AE モード)	61
絞り値/シャッタースピードを決めて撮る	62
絞り優先 AE モード	62
シャッター優先 AE モード	63
マニュアル露出モード	63
絞り効果/シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)	65
絞り/シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる(ワンプッシュ AE)	66
撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)	67
パノラマ写真を撮る([パノラマで撮る])	70
画像効果を変えて撮る(クリエイティブコントロールモード)	72
絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)	77
動画撮影中の操作音を抑えて撮る	78
お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)	79
お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)	79
登録したカスタムセットで撮る	79

4. ピント・明るさ(露出)・色合いの設定

自動でピントを合わせる(オートフォーカス)	80
フォーカスモード(AFS、AFF、AFC)	81
オートフォーカスモード	82
AFエリアの位置を設定する / 大きさを変更する	86
タッチパッドで AFエリアの位置を設定する	88
タッチした位置にピントと明るさを合わせる	89
手でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)	90
ピントや露出を固定して撮る(AF/AEロック)	93
露出を補正して撮る	94
ISO感度を設定する	95
ホワイトバランスを調整する	96

5. 4Kフォト・ドライブの設定

ドライブモードを選ぶ	99
連写する	100
4Kフォトを撮る	102
4Kフォトについてのお知らせ	105
4K連写ファイルから写真を選び保存する	107
撮影後にピントを操作する(フォーカスセレクト/フォーカス合成)	110
フォーカスセレクト撮影をする	110
ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する	112
複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げる(フォーカス合成)	113
セルフタイマーを使って撮る	115
インターバル撮影 / コマ撮りアニメで撮る	116
一定の間隔で自動的に撮影する(インターバル撮影)	116
ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ)	118
撮影した写真で動画を作成する	119
設定を自動的に変えながら撮る(ブラケット撮影)	120
露出ブラケット	121
絞りブラケット	122
フォーカスブラケット	122

6. 手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

手ブレを補正する	123
ズームを使って撮る	126
望遠効果を上げる	126
タッチ操作でズームを使う(タッチズーム)	130
フラッシュを使って撮る	131
フラッシュの機能を設定する	133
発光モードを切り換える	133
フラッシュモードを切り換える	134
後幕シンクロに設定する	136
フラッシュの発光量を調整する	137
露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる	137
ワイヤレスでフラッシュ撮影する	138
ワイヤレスフラッシュ撮影の設定をする	140

7. 動画を撮影する

動画・4K動画を撮る	141
フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する	142
動画撮影時のピントの合わせ方(AF連続動作)	143
カメラを固定したままパン/ズーム動画を撮る(4K ライブクロップ)	144
動画撮影中に写真を撮影する	146
スナップムービーを撮る	147

8. 画像の再生・編集

写真を見る	150
動画を見る	151
動画から写真を作成する	152
再生方法を切り換える	153
再生画面を拡大する(再生ズーム)	153
複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)	153
画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)	154
グループ画像を見る	155
画像を消去する	156

9. メニュー機能を使う

メニュー一覧	157
撮影メニュー	157
動画メニュー	175
カスタムメニュー	177
セットアップメニュー	184
再生メニュー	191

10. Wi-Fi 機能を使う

Wi-Fi® 機能でできること	208
Wi-Fi機能について	209
スマートフォン/タブレットとつないで使う	211
スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする	211
スマートフォン/タブレットと接続する	212
スマートフォン/タブレットで撮影する(リモート撮影)	216
カメラの画像を再生する	216
カメラの画像を保存する	217
カメラの画像をSNSへ送信する	217
スマートフォン/タブレットからカメラの画像に位置情報を追加する	218
スナップムービーで撮影した動画を スマートフォン/タブレットでお好みに結合する	220
テレビに写真を映す	221
画像を送る	222
スマートフォン/タブレットに画像を送る	225
ワイヤレスでプリントする	226
AV機器に画像を送る	227
パソコンに画像を送る	228
Webサービスを利用する	230
Webサービスに画像を送る	230
クラウド同期サービスに画像を送る	233
LUMIX CLUB (PicMate) への登録	234
LUMIX CLUB (PicMate) を設定する	234
宅外 AV 機器を設定する	238
接続について	239

無線アクセスポイントを使って接続する (ネットワーク経由)	240
カメラと機器を直接接続する (直接接続)	242
以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する]/[お気に入りから接続する])	243
Wi-Fi 設定メニュー	245

11. 他の機器との接続

4K 動画をテレビで見る / パソコンやレコーダーに残す	247
4K 動画を見る	247
4K 動画を残す	247
テレビで見る	248
ピエラリンク (HDMI) を使う	250
写真や動画をパソコンに残す	251
ソフトウェアをダウンロードする	252
パソコンに画像を取り込む	254
写真や動画をレコーダーに残す	256
プリントする	257
画像に日付を入れるには	259
3D 写真を楽しむ	260

12. その他・Q&A

別売品を使う	263
海外旅行先で使う	267
モニター/ファインダーの表示	268
メッセージ表示	273
Q&A 故障かな?と思ったら	275
使用上のお願い	284
パナソニックスマートアプリのご案内	292
さくいん	293

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

機能別目次



撮影

撮影

撮影モード	P39
プレビュー	P65
パノラマ撮影	P70
インターバル撮影	P116
コマ撮りアニメ	P118
絞りブラケット	P122
フォーカスブラケット	P122
多重露出	P165
サイレントモード	P177
3D 撮影	P260

4K フォト

4K フォト	P102
フォーカスセレクト	P110

ピント(AF/MF)

フォーカスモード	P81
オートフォーカスモード	P82
AF エリアの位置移動	P86
マニュアルフォーカス	P90
AF/AE ロック	P93

ドライブ

ドライブモード	P99
連写	P100
連続撮影可能枚数	P100
セルフタイマー	P115

画質・色合い

ISO 感度	P95
ホワイトバランス	P96
フォトスタイル	P158

フィルター設定	P159
記録画素数	P161
クオリティ	P162
ハイライトシャドウ	P163
iD レンズコントロール	P164
超解像	P164
HDR	P164
長秒ノイズ除去	P169
シェーディング補正	P169
回折補正	P170
色空間	P170

露出

タッチ AE	P46
ワンブッシュ AE	P66
AF/AE ロック	P93
露出補正	P94
露出ブラケット	P121
測光モード	P162

手ブレ補正

Dual I.S.	P123
5軸ハイブリッド手ブレ補正	P123

フラッシュ

フラッシュモード	P134
後幕シンクロ	P136
フラッシュ光量調整	P137
ワイヤレスフラッシュ設定	P138

モニタリング

撮影時 HDMI 出力	P249
-------------	------



動画

動画

クリエイティブ動画モード	P77
タッチ静音操作	P78
記録方式	P142
画質設定	P142
4K 動画	P141
4K ライブクロップ	P144
動画中の写真撮影	P146
スナップムービー	P147

映像

輝度レベル設定	P175
---------	------

音声

マイクレベル設定	P176
マイクレベルリミッター	P176
風音キャンセラー	P176
レンズ動作音低減	P176
風音低減	P265

画面設定

マイクレベル表示	P175
センターマーカ表示	P181
ゼブラパターン表示	P181
モノクロライブビュー	P181



セットアップ / カスタム

基本設定

フォーマット	P28
時計設定	P34
表示の切り換え	P42
メニューの設定方法	P47
クイックメニュー	P49
電子音	P185
エコモード	P187

リセット (初期化)	P190
センサークリーニング	P190

カスタマイズ

クイックメニューの [カスタム]	P50
ファンクションボタン	P51
カスタムモード	P79
カスタムメニュー	P177



再生

再生

写真の再生	P150
動画の再生	P151
再生ズーム	P153
マルチ再生	P153
消去	P156
オートレビュー	P182

4K フォト一括保存	P197
比較明合成	P197
クリアレタッチ	P198
リサイズ	P202
トリミング	P203

情報追加

位置情報記録	P194
タイトル入力	P199
文字焼き込み	P200

再生 / 表示設定

スライドショー	P192
画像回転 / 縦位置自動回転	P204

編集

フォーカス合成	P113
RAW 現像	P195

画像設定

お気に入り	P204
プリント設定	P205
プロテクト	P206



Wi-Fi

接続

Image App	P211
WPS (プッシュボタン)	P240、242
直接接続	P242

位置情報の送信、追加	P218
スナップムービーの結合	P220

Image App

リモート撮影	P216
画像の保存	P217
画像の送信	P217、225

他機器連携

テレビで写真再生	P221
画像のプリント	P226
AV 機器に画像を送信	P227
パソコンに画像を送信	P228
Web サービスに画像を送信	P230
クラウド同期サービスの利用	P233



他機器接続

パソコン

PHOTOfunSTUDIO	P252
SILKPIX	P253
パソコンに画像を取り込む	P254

レコーダー

ダビング	P256
------------	------

テレビ

テレビで見る	P248
ビエラリンク	P250

プリンター

ビクトブリッジ PictBridge	P257
-----------------------------	------

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
 - 本機を落とす、またはぶつける
 - レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん防滴に配慮した構造となっていますが、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。防じん防滴性能を満足させるには、以下のことに気を付けてください。

- 防じん防滴対応の当社製交換レンズを取り付けてお使いください。防じん防滴非対応の交換レンズや、マウントアダプター（別売：DMW-MA1）使用時は、防じん防滴構造になりません。
- 内蔵フラッシュは、閉じてお使いください。
- 本機の扉部、端子キャップ、接点カバーなどは、しっかりと閉じてください。
- レンズやキャップの取り付け、取り外し、扉の開閉時は、砂やほこり、水滴などが内部に侵入しないようにお気を付けてください。
- 水滴などの液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

モニターに砂やほこり、水滴などの液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- タッチ操作が誤認識される場合があります。
- 付着したままモニターを収納すると、故障の原因になります。

デジタルカメラボディのマウント内に手を入れないでください。

センサー部は精密機器ですので故障、破損の原因になります。

電源OFF時に本機を振ると、センサーが動いたり、「カタカタ」音がしますが、ボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

■ 露付きについて（レンズやファインダー、モニターが曇るとき）

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気を付けてください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを [OFF] にし、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

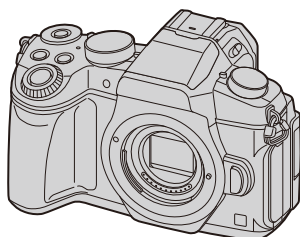
本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権に気を付けてください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けてください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P284)

同梱品

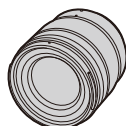


デジタルカメラボディ
(本文中では**本体**と表記します)

記載の品番は2016年9月現在のものです。変更されることがあります。

DMC-G8M(レンズキット商品)に同梱

- 交換レンズ(H-FS12060)は、防じん防滴対応です。



交換レンズ
H-FS12060
(本文中では**レンズ**と表記します)



レンズフード
SYA0066



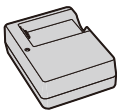
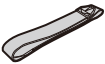
レンズキャップ※
VYF3514



レンズリアキャップ※
VFC4605

※ お買い上げ時は交換レンズに装着されています。

→ 続く

 バッテリーパック DMW-BLC12 (本文中ではバッテリーと表記します) ●充電してからお使いください。	 ホットシューカバー※2 SKF0106K
 バッテリーチャージャー※1 DE-A79A (本文中ではチャージャーと表記します)	 USB 接続ケーブル K1HY04YY0106
 ボディキャップ※2 VKF4971	 ショルダーストラップ DVPW1001Z  バッテリーグリップ 接点カバー※2(P17) SKF0145K

※1 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のチャージャー (DMW-BTC6) をお買い求めください。

※2 お買い上げ時はデジタルカメラボディに装着されています。

- カードは別売です。
- 別売品については263ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

パナソニックグループの
ショッピングサイト



Panasonic Store

付属品は販売店でお買い求めいただけます。

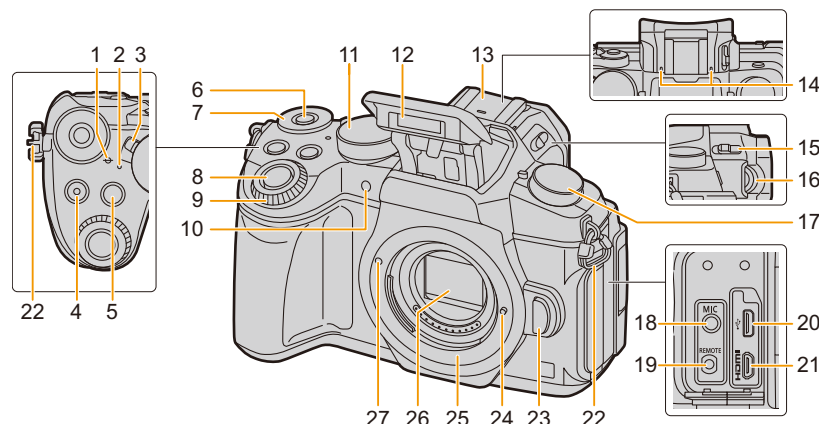
パナソニックの家電製品直販サイト
「パナソニック ストア」でお買い求めいただけるものもあります。

詳しくは「パナソニック ストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

各部の名前と働き

■ デジタルカメラボディ



1 撮影距離基準マーク(P91)

2 電源表示ランプ(P34)/
Wi-Fi®接続ランプ(P209)

3 電源スイッチ(P34)

4 動画ボタン(P141)

5 [] (露出補正) ボタン(P94)/
ファンクション
[Fn1] ボタン(P51)

6 ファンクションボタン(Fn1)(P51)

7 後ダイヤル(P40)

8 シャッターボタン(P38)

9 前ダイヤル(P40)

10 セルフタイマーランプ(P115)/
AF補助光ランプ(P178)

11 モードダイヤル(P39)

12 フラッシュ発光部(P131)

13 ホットシュー(ホットシューカバー)(P263)
ステレオマイク(P176)14 ●マイクを指で塞がないようお気をつけく
ださい。音が記録されにくくなります。

15 フラッシュオープンレバー(P131)

16 視度調整ダイヤル(P36)

17 ドライブモードダイヤル(P99)

18 ^{マイク}
[MIC] 端子(P264)19 ^{リモート}
[REMOTE] 端子(P266)

20 USB 端子(P254, 257)

21 [HDMI] 端子(P248)

22 ショルダーストラップ取り付け部(P20)

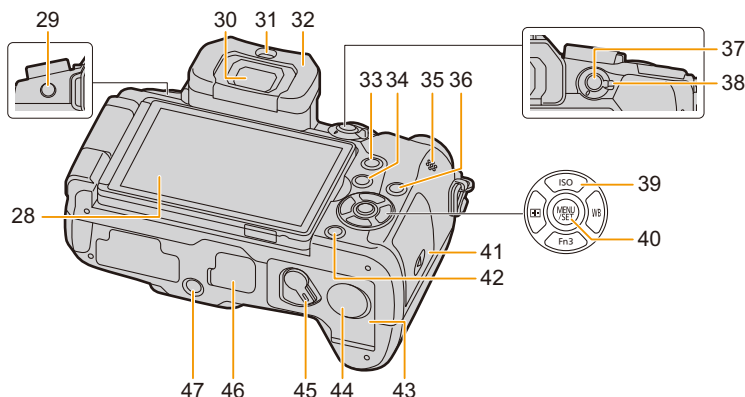
23 レンズ取り外しボタン(P31)

24 レンズロックピン

25 マウント

26 センサー

27 レンズ取り付けマーク(P30)



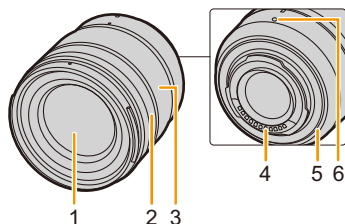
28	タッチパネル(P44)/モニター(P268)	41	カード扉(P26)
29	[LVF]ボタン(P37)/ ファンクション [Fn5] ボタン(P51)	42	[]/() (消去/戻る) ボタン(P156)/ ファンクション [Fn4] ボタン(P51)
30	ファインダー(P37)	43	バッテリー扉(P25)
31	アイセンサー(P37)		DCカブラー扉(P266)
32	アイカップ(P285)	44	●ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカブラー(別売:DMW-DCC8)を使用してください。
33	クイックメニュー [Q.MENU] ボタン(P49)/ ファンクション [Fn2] ボタン(P51)	45	開閉レバー(P25)
34	[▶] (再生) ボタン(P150)	46	バッテリーグリップ接点カバー(P265)
35	スピーカー(P185)		三脚取り付け部(P289)
36	ディスプレイ [DISP.] ボタン(P42、43)	47	●ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。
37	ロック [AF/AE LOCK] ボタン(P93)		
38	フォーカスモードレバー(P80、90)		
	カーソルボタン(P41)		
	▲(上)/[ISO] (ISO感度) (P95)		
39	▶(右)/[WB] (ホワイトバランス) (P96)		
	◀(左)/[] (オートフォーカスモード) (P82)		
	ファンクション ▼(下)/ [Fn3] (P51)		
40	メニュー セット [MENU/SET] ボタン(P41、47)		

■ ファンクションボタン [Fn6]～[Fn10]について

- [Fn6]～[Fn10](P51)は、タッチアイコンです。撮影画面の[]タブをタッチすると表示されます。

■ 同梱レンズ

H-FS12060



- | | |
|---|-------------------|
| 1 | レンズ面 |
| 2 | フォーカスリング (P90) |
| 3 | ズームリング (P126) |
| 4 | 接点 |
| 5 | レンズマウントラバー (P286) |
| 6 | レンズ取り付けマーク (P30) |

本機で使用できるレンズ

本機は、マイクロフォーサーズ™システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使うことができます。

また、マウントアダプターを装着することで以下のマウント規格のレンズを使用することができます。



レンズ	マウントアダプター
フォーサーズ™ マウント規格レンズ 	マウントアダプター(別売: DMW-MA1)
ライカ M マウント規格レンズ	M マウントアダプター(別売: DMW-MA2M)
ライカ R マウント規格レンズ	R マウントアダプター(別売: DMW-MA3R)

- ライカレンズ用マウントアダプター使用時は、[レンズ無しリリース](P183)を[ON]に設定してください。

レンズと機能について

お使いのレンズによっては、オートフォーカス、手ブレ補正、ズーム操作など一部の機能が使用できない、または動作が異なる場合があります。

お使いのレンズについて詳しくは、ホームページでご確認ください。

対応レンズの最新情報は、カタログ/ホームページなどをご覧ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

- お使いのレンズに表記されている焦点距離は、35 mmフィルムカメラで換算すると2倍に相当します。(50 mmレンズを使用した場合は、35 mm換算で100 mmレンズ相当になります)

お使いの交換レンズのファームウェアについて

より快適な撮影のために、交換レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることをお勧めします。

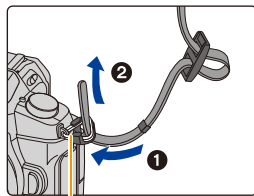
- ファームウェアの最新情報やダウンロードについては、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 交換レンズのファームウェアのバージョンは、本体に交換レンズを取り付けて、セットアップメニューの[バージョン表示]でご確認ください。



ショルダーストラップを付ける

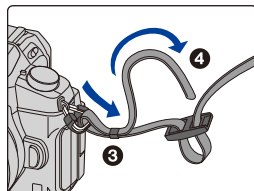
●落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

- 1 ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取り付け部に通す

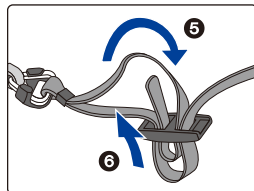


ショルダーストラップ
取り付け部

- 2 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングに通したあと、留め具に通す

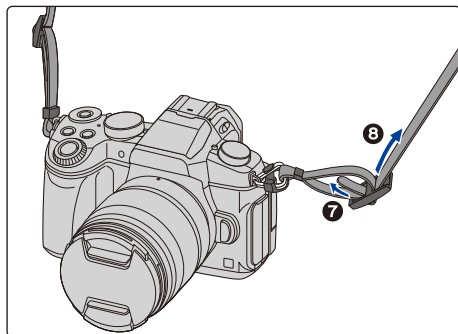


- 3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す



- 4 ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認する

●手順1～4の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー(2016年 9月現在)

本機で使えるバッテリーはDMW-BLC12です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。

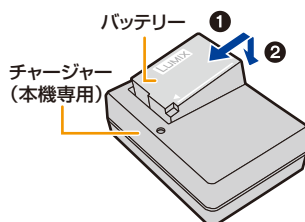
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

充電する

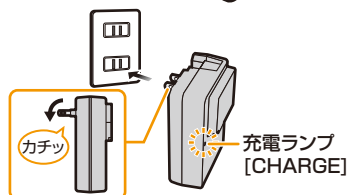
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

1 バッテリーの向きに気をつけて、 バッテリーを差し込む



2 電源コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。



■ 充電ランプの表示について

点灯: 充電中

消灯: 充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

● 点滅するときは

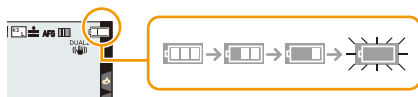
- バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10℃～30℃のところで再度充電することをお勧めします。
- チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

■ 充電時間について

充電時間	約 140分
------	--------

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

■ バッテリー残量表示について



- バッテリー残量がなくなると表示が赤に変わり点滅します。(電源表示ランプも点滅します) バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

- 電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- チャージャーは海外でも使うことができます。(P267)

使用時間と撮影枚数の目安

- CIPA(カメラ映像機器工業会)規格による。当社製SDHCメモリーカード使用、付属バッテリー使用。

■ 写真記録(モニター使用時)

	交換レンズ(H-FS12060)装着時
記録可能枚数	約330枚
撮影使用時間	約165分

■ 写真記録(ファインダー使用時)

()内は[省電力ファインダー撮影](P187)を[3 秒]に設定し、[省電力ファインダー撮影]が働いた場合の数値です。(CIPA 規格をベースにした当社測定条件による)

	交換レンズ(H-FS12060)装着時
記録可能枚数	約320枚 (約800枚)
撮影使用時間	約160分

■ 動画撮影(モニター使用時)

AVCHD(画質設定を[FHD/17M/60i]で撮影)

	交換レンズ(H-FS12060)装着時
撮影可能時間	約120分
実撮影可能時間	約60分

MP4(画質設定を[FHD/28M/60p]で撮影)

	交換レンズ(H-FS12060)装着時
撮影可能時間	約110分
実撮影可能時間	約55分

MP4(画質設定を[4K/100M/30p]で撮影)

	交換レンズ(H-FS12060)装着時
撮影可能時間	約90分
実撮影可能時間	約45分

- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

■ 再生(モニター使用時)

	交換レンズ(H-FS12060)装着時
再生使用時間	約220分

- 使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。

例えば、以下の場合には、使用時間と撮影枚数は減少します。

- スキー場などの低温下
- フラッシュ発光を繰り返したとき

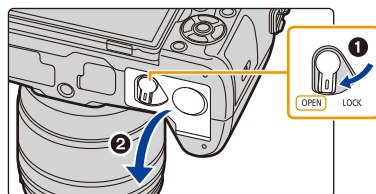
- 正しく充電したにもかかわらず、著しく使用できる時間が短くなったときは、寿命と考えられます。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーを入れる・取り出す

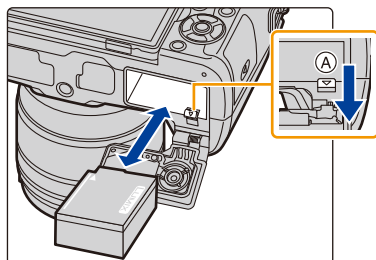
- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。

1 ① 開閉レバーを矢印の方向
(OPEN 側)にスライドさせる

② バッテリー扉を開く

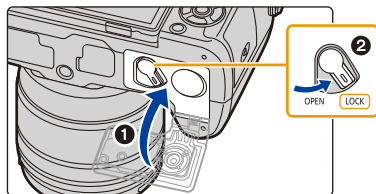


2 向きに気をつけて、ロック音がするまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する
取り出すときは、①のレバーを矢印の方向に引いて取り出す



3 ① バッテリー扉を閉じる

② 開閉レバーを矢印の方向
(LOCK 側)にスライドさせる

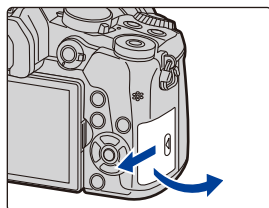


- バッテリー扉の内側(ゴムパッキン)に異物が付着していないことを確認してください。
- 使用後は、バッテリーを取り出しておいてください。(長期間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリーの取り出しは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)
- バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出しますので、お気をつけください。

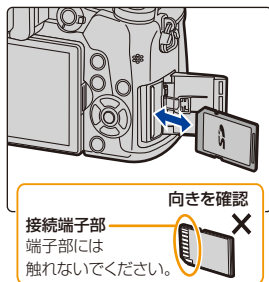
カード(別売)を入れる・取り出す

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認する。

1 カード扉をスライドさせて開く

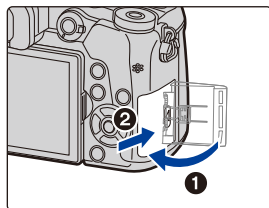


2 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる 取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く



3 ① カード扉を閉じる

② 最後までスライドさせて確実に閉じる



- カードの取り出しは、電源を切り、電源表示ランプが完全に消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)

カードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のカードが使用できます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

SDメモリーカード(512 MB～2 GB)/
microSDカード※

SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/
microSDHCカード※

SDXCメモリーカード(48 GB～128 GB)/
microSDXCカード※

- 本機はUHS-I/UHS-II UHS Speed Class 3規格のSDHC/SDXCメモリーカードに対応しています。
- 左記の当社製カードで動作確認済みです。

※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■ 動画撮影や4Kフォトの撮影とスピードクラスについて

動画の[記録方式](P142)や[画質設定](P142)によって必要なカードが異なります。4Kフォトの撮影には対応したスピードクラスのカードが必要になります。以下のSDスピードクラスやUHSスピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SDスピードクラスやUHSスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

[記録方式]	[画質設定]	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS ④ ④
MP4	FHD/HD		
MP4	4K	UHS Speed Class 3	③
4K フォト / フォーカスセレクト撮影時		UHS Speed Class 3	③

- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

カードアクセス中は・・・

カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- アクセス中(画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など)は、電源を切ったり、バッテリーやカード、ACアダプター(別売:DMW-AC10)を取り外さないでください。

また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。

カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は再度操作してください。

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失することがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。



カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

メニューを設定する(P47)

MENU ボタン → [セットアップ] → [フォーマット]

- フォーマットするときは、十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売:DMW-AC10)を使用し、フォーマット中は電源スイッチを[OFF]にしないでください。
- 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数(写真:枚)

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ[] の場合

記録画素数	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(16M)	1810	3630	7260	14380
M(8M)	3310	6640	13000	25740
S(4M)	5670	11360	21480	42540

- 画像横縦比 [4:3]、クオリティ[RAW] の場合

記録画素数	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(16M)	550	1110	2230	4420
M(8M)	640	1290	2580	5120
S(4M)	700	1410	2800	5550

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

● 記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
[FHD/28M/60p]	1h10m	2h30m	5h00m	9h55m
[FHD/17M/60i]	2h00m	4h5m	8h15m	16h25m
[FHD/24M/30p]/ [FHD/24M/24p]	1h25m	2h55m	5h50m	11h35m

● 記録方式 [MP4] の場合

画質設定	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
[4K/100M/30p]/ [4K/100M/24p]	20m00s	41m00s	1h20m	2h45m
[FHD/28M/60p]	1h10m	2h25m	5h00m	9h55m
[FHD/20M/30p]	1h35m	3h15m	6h40m	13h15m
[HD/10M/30p]	3h5m	6h20m	12h45m	25h20m

- 撮影条件、カードの種類により記録可能枚数・時間は変動します。
- AVCHD 動画の場合:
ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存されます。
- [画質設定]のサイズが[FHD]、[HD]のMP4動画の場合:
連続記録時間が30分を超える場合やファイルサイズが4 GBを超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
- [画質設定]のサイズが[4K]のMP4動画の場合:
以下の条件ではファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
SDHCメモリーカード使用時: ファイルサイズが4 GBを超える場合
SDXCメモリーカード使用時: 連続記録時間が3時間4分を超える場合、
ファイルサイズが96 GBを超える場合
- 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。

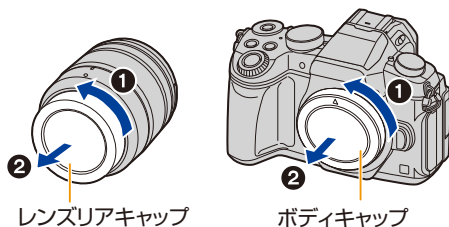
レンズを付ける／取り外す

レンズを交換することで表現の幅が広がり、カメラの楽しさも広がります。

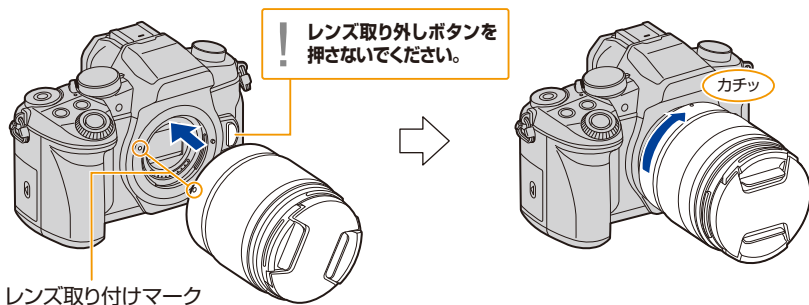
- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみなどが付着した場合は：(P285)

レンズの取り付け方

1 レンズリアキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外す



2 レンズ取り付けマークを合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す

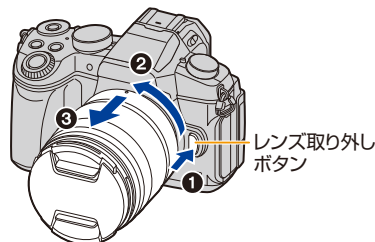


- レンズを本体に対して傾いた状態で付けようとすると、本体のレンズ取り付け部を傷つけるおそれがありますのでお気をつけください。

レンズの取り外し方

- レンズキャップを取り付けてください。

レンズ取り外しボタンを押しながら、
レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す

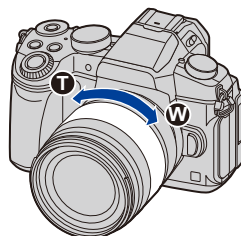


- 本体からレンズを取り外したときは、ほこりなどの付着、侵入を防ぐため、必ず本体にボディキャップを付け、レンズにはレンズリアキャップを付けてください。

ズーム操作

交換レンズ(H-FS12060)の場合
レンズのズームリングを回す

- 🅚 側: 望遠、大きく撮る
- 🅜 側: 広角、広く撮る



レンズフードの取り付け方

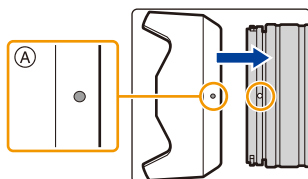
日差しが強い逆光での撮影時、レンズ内部で光の乱反射が生じて、光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮れます。

交換レンズ(H-FS12060)に付属しているレンズフード(花型)を取り付ける場合
レンズフードを図のように指を添えて持ってください

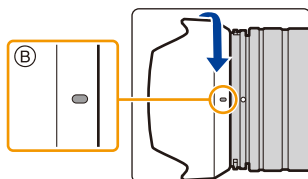
- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。



- 1 レンズフードの指標 ① (●) とレンズ先端の指標を合わせる

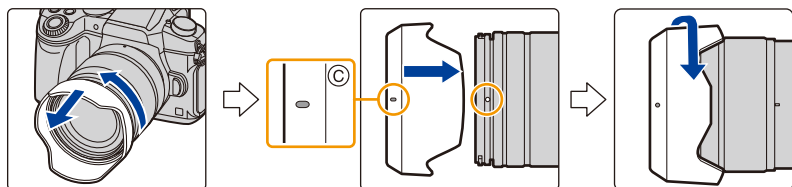


- 2 レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回し、レンズフードの指標 ② (●) とレンズ先端の指標を合わせる



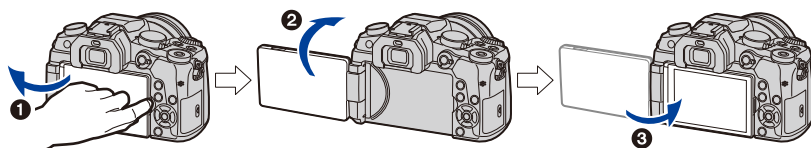
一時的にレンズフードを外して運ぶ(仮収納)

- ① レンズフードを矢印の方向に回して取り外す
- ② レンズフードの指標 ③ (●) とレンズ先端の指標を合わせる
- ③ レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回して付ける



モニター面を表にする/モニターを調整する

お買い上げ時、モニターは収納状態になっています。
下図のようにしてモニター面を表にします。



① モニターを開く(最大 180° 開きます)

② レンズ方向に 180° 回転させる

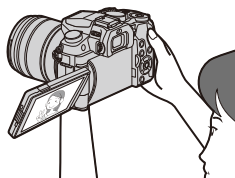
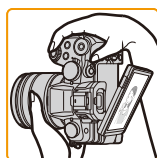
③ 元の位置へ閉じる

● モニターは十分開いてから回転させ、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。

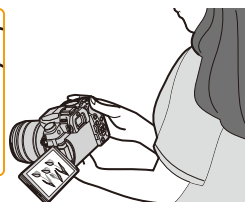
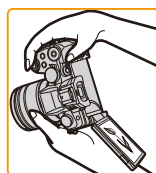
■ フリーアングル撮影

モニターの角度を調整すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

ハイアングル撮影



ローアングル撮影

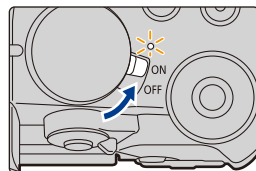


● モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のためモニターを内側に収納しておくことをお勧めします。

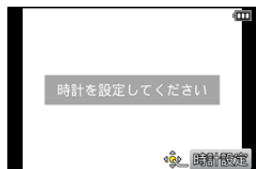
時計を設定する

- お買い上げ時は、時計設定されていません。

- 1 電源スイッチを[ON]にする
 - 電源が入ると電源表示ランプが緑色点灯します。



- 2 [MENU/SET] ボタンを押す



- 3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ ボタンで設定する

表示順・時刻表示形式を設定する場合

- [表示形式]を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。



表示順 時刻表示形式

- 4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する
- 5 [時計を設定しました]と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す

→ 続く

6 [ホームエリアを設定してください]と表示されたら、
[MENU/SET] ボタンを押す

7 ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す



時計を合わせ直す

セットアップメニューの[時計設定]を選んでください。(P47)

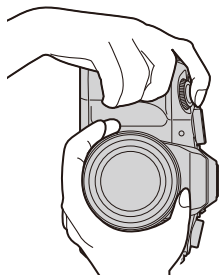
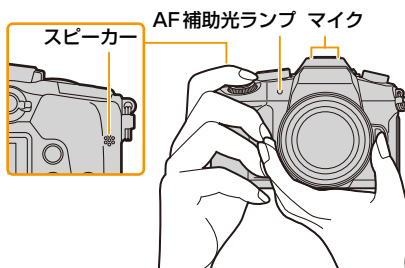
- 34 ページの手順 3.4 の操作で変更できます。
- バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れたままにしてください)
- 時計設定を行っていないと、お店にプリントを依頼するときや文字焼き込みを行うときに、正しい日付をプリントすることができませんのでお気をつけください。

基本の操作

本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

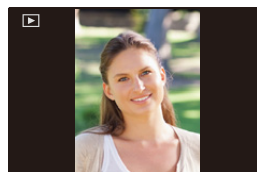
- フラッシュ発光部やAF補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- 足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。



■ 構えた向きを検出する(縦位置検出機能)

本機を縦に構えて撮影したとき、構えた向きを検出できる機能です。

再生時に自動で縦向きに表示することができます。([縦位置自動回転](P204)を[ON]に設定している場合のみ)

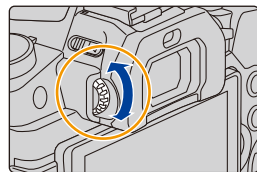


- 本機を縦に構えた状態で、本機を大きく上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かないことがあります。
- 動画、4K連写ファイルおよびフォーカスセレクト撮影した画像は、縦向きに表示できません。

ファインダー撮影について

視度調整について

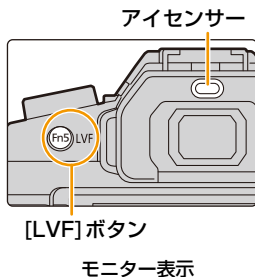
ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。



モニターとファインダーを切り換える

[LVF] ボタンを押すと、モニターとファインダーの表示が切り換わります。

●このボタンはファンクションボタンとしても使えます。(P51)

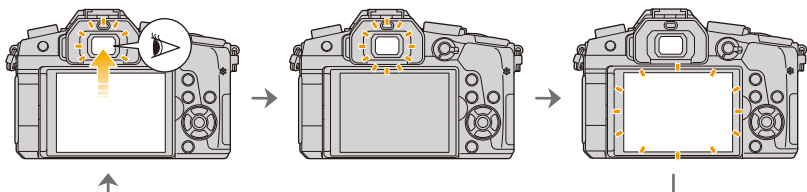


[LVF] ボタンを押す

ファインダー/モニター
自動切換※

ファインダー表示※

モニター表示



※ カスタムメニューの[アイセンサー-AF]を[ON]に設定しているときは、アイセンサーが働くときカメラが自動的にピント合わせを行います。[アイセンサー-AF]でピントが合っても電子音は鳴りません。

■ ファインダー/モニター自動切換について

ファインダー/モニター自動切換では、ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーにより自動的にファインダー表示に切り換わります。

- ファインダー/モニター自動切換で、モニターに「モニター撮影情報画面」(P42)を表示すると、[エコモード](P187)の[省電力ファインダー撮影]を動かせることができます。バッテリーの消耗を抑えることができます。
- お使いの眼鏡の形状やカメラの構え方、または接眼部付近に強い光が当たることなどにより、アイセンサーが正しく働かない場合があります。その場合は[LVF]ボタンを押して、切り換えてください。
- 動画再生中、スライドショー中は、アイセンサーで自動的にファインダー表示に切り換わりません。
- モニターの角度によっては、アイセンサーは動きません。



アイセンサーの感度やモニター表示 / ファインダー表示の自動切換を設定する

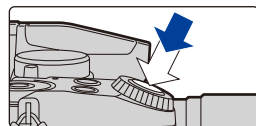
MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [アイセンサー]

感度	アイセンサーの感度を設定します。
LVF/モニター切換	モニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。 [LVF/MON AUTO](ファインダー/モニター自動切換)、 [LVF](ファインダー表示)、[MON](モニター表示) ●[LVF]ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換]の設定も切り換わります。

シャッターボタン(写真の撮影)

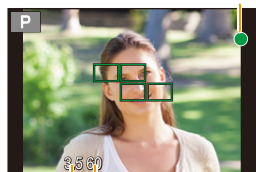
シャッターボタンは 2 段式になっています。押すことで写真の撮影を行います。

**シャッターボタンを半押し(軽く押す)して
ピントを合わせる**



フォーカス表示

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。(フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します)
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。(ピントが合わないときは点滅します)



絞り値 シャッタースピード

**シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮
影する**



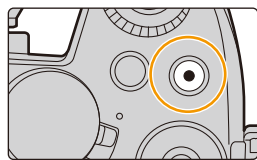
- [フォーカス/リリース優先] (P178) を [フォーカス] に設定時は、ピントが合うまで撮影できません。
- メニュー操作中や画像の再生中でも、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影ができる状態にすることができます。

動画ボタン(動画の撮影)

動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

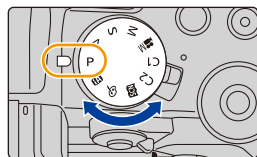
もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する



モードダイヤル(撮影モードの選択)

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



IA	インテリジェントオートモード (P55)
IA+	インテリジェントオートプラスモード (P56)
P	プログラムAEモード (P61)
A	絞り優先AEモード (P62)
S	シャッター優先AEモード (P63)
M	マニュアル露出モード (P63)
M	クリエイティブ動画モード (P77)
C1 C2	カスタムモード (P79)
SCN	シーンガイドモード (P67)
🌀	クリエイティブコントロールモード (P72)

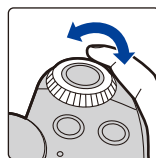
前ダイヤル / 後ダイヤル

回す: 各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。

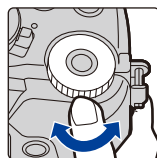
- 本書では前ダイヤル / 後ダイヤルの操作を次のように説明しています。

例: 前ダイヤルを左右に回すとき: 

例: 後ダイヤルを左右に回すとき: 



前ダイヤル



後ダイヤル

P / A / S / M モード時は、絞りやシャッタースピードなどを設定します。

モードダイヤル	 前ダイヤル	 後ダイヤル
P (P61)	プログラムシフト	プログラムシフト
A (P62)	絞り値	絞り値
S (P63)	シャッタースピード	シャッタースピード
M (P63)	絞り値	シャッタースピード

- カスタムメニューの[ダイヤル設定]で、前ダイヤルと後ダイヤルの操作方法を変更できます。(P41)



前後のダイヤルの割り当てを一時的に変更する(ダイヤル動作切換)

ファンクションボタンの[ダイヤル動作切換]を使うと、一時的に前後のダイヤルの割り当てを変更することができます。

お買い上げ時は、[Fn11]に[ダイヤル動作切換]が設定されています。

(P51)

- 一時的に前後のダイヤルに割り当てる項目は、カスタムメニューの[ダイヤル設定]の[ダイヤル動作切換設定]で設定できます。(P41)



ファンクションボタン(Fn11)

1 [Fn11] ボタンを押す

- 前後のダイヤルに割り当てた機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしない場合、数秒後にガイドの表示が消えます。



2 ガイドが表示されている間に、前後のダイヤルを回す

- それぞれのダイヤルに割り当てた設定が変更されます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 以下の操作でも、同じ操作ができます。
 - シャッターボタンを半押しする
 - [Fn11] ボタンを押す



- 前後のダイヤルの一時的な割り当ての操作は、ガイドの表示中(手順1)や設定画面(手順2)でのみ有効です。

■ 前ダイヤルと後ダイヤルの操作方法を設定する

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [ダイヤル設定]

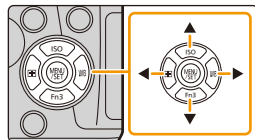
F/SS ダイヤルの割当	マニュアル露出モード時の、絞り値とシャッタースピードの操作を割り当てます。 [F SS]: 前ダイヤルに絞り値、後ダイヤルにシャッタースピードの操作を割り当てます。 [SS F]: 前ダイヤルにシャッタースピード、後ダイヤルに絞り値の操作を割り当てます。												
F/SSダイヤルの回転	絞り値とシャッタースピードを操作する際の、ダイヤルの回転方向を変更します。 [], []												
露出補正のダイヤル割当	前後いずれかのダイヤルで、露出補正を直接操作できるように割り当てます。 [] (前ダイヤル)、[] (後ダイヤル)、[OFF]												
ダイヤル動作切換設定	ファンクションボタンの[ダイヤル動作切換]で、前後のダイヤルに一時的に割り当てる項目を設定します。 [] (前ダイヤル動作)、[] (後ダイヤル動作) ● 設定できる項目は、以下のとおりです。 <table border="0"> <tr> <td>- フォトスタイル (P158)</td> <td>- iD レンジコントロール (P164)</td> </tr> <tr> <td>- フィルター効果 (P72、159)</td> <td>- 超解像 (P164)</td> </tr> <tr> <td>- 画像横縦比 (P161)</td> <td>- フラッシュモード (P134)</td> </tr> <tr> <td>- オートフォーカスモード (P82)</td> <td>- フラッシュ光量調整 (P137)</td> </tr> <tr> <td>- 4K フォト (P102)</td> <td>- ISO 感度 (P95)</td> </tr> <tr> <td>- ハイライトシャドウ (P163)</td> <td>- ホワイトバランス (P96)</td> </tr> </table> ● [ハイライトシャドウ] では2つのダイヤルを使用します。一方のダイヤルを設定すると、両方のダイヤルが設定されます。	- フォトスタイル (P158)	- iD レンジコントロール (P164)	- フィルター効果 (P72、159)	- 超解像 (P164)	- 画像横縦比 (P161)	- フラッシュモード (P134)	- オートフォーカスモード (P82)	- フラッシュ光量調整 (P137)	- 4K フォト (P102)	- ISO 感度 (P95)	- ハイライトシャドウ (P163)	- ホワイトバランス (P96)
- フォトスタイル (P158)	- iD レンジコントロール (P164)												
- フィルター効果 (P72、159)	- 超解像 (P164)												
- 画像横縦比 (P161)	- フラッシュモード (P134)												
- オートフォーカスモード (P82)	- フラッシュ光量調整 (P137)												
- 4K フォト (P102)	- ISO 感度 (P95)												
- ハイライトシャドウ (P163)	- ホワイトバランス (P96)												

カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン

カーソルボタンを押す: 項目の選択や、数値の設定などを行います。

[MENU/SET] ボタンを押す: 設定内容の決定などを行います。

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲/▼/◀/▶ で説明しています。



- ファンクションボタンに[カーソルボタンロック]を設定することで、カーソルボタン、[MENU/SET] ボタンの操作を無効にできます。(P51)

[DISP.] ボタン(表示情報の切り換え)

[DISP.] ボタンを押すと、画面の表示情報が切り換わります。

- しばらく操作せずに、画面の情報が表示されなくなった場合は、[DISP.] ボタンを押す、または画面をタッチすると再度表示されます。



撮影時

ファインダーまたはモニターの表示方法を切り換える

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [LVF表示スタイル]

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [モニター表示スタイル]

(ファインダースタイル): 適度な視野で像を表示し、画角全体を確認できます。

(モニタースタイル): 画面いっぱいに像を表示し、画面の細部まで見渡せます。

■ ファインダースタイル(ファインダー表示での例です)

情報あり(詳細情報)



情報あり



情報あり
(詳細情報、水準器表示)

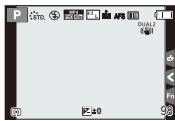


情報あり
(水準器表示)



■ モニタースタイル(モニター表示での例です)

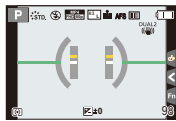
情報あり



情報なし



情報あり(水準器表示)



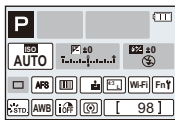
情報なし(水準器表示)



消灯



モニター
撮影情報画面※

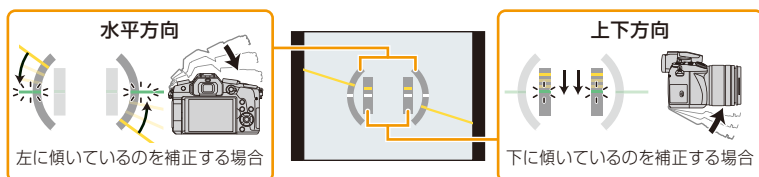


※ モニター撮影情報画面では、各項目をタッチすると設定を直接変更できます。

- カスタムメニューの[Fn ボタン設定] (P51) に[LVF/モニター表示スタイル]を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに、現在表示しているモニターかファインダーの表示スタイル(/)をそれぞれ切り換えることができます。

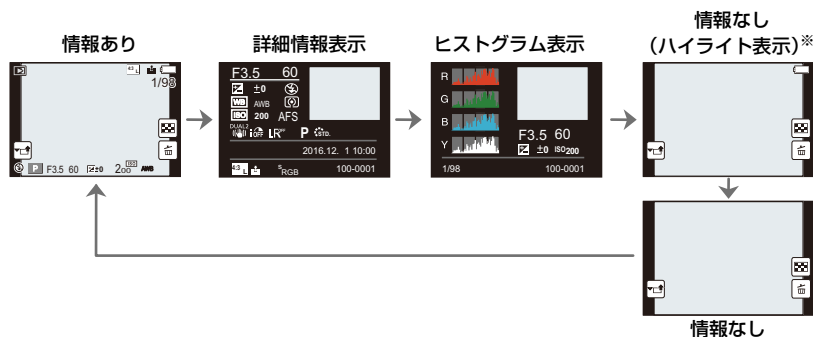
■ 水準器表示について

水準器を表示させると、カメラの傾きを補正したい場合などに便利です。



- 傾きがまばならない状態は、緑色に変わります。
- 傾きがまば補正された状態でも、 $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。
- 本機を大きく上に向けたり下に向けたりして撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能 (P36) が正しく動かない場合があります。

再生時



※ カスタムメニューの[ハイライト表示] (P181) を[ON]にしているときのみ表示されます。

- 動画や 4K 連写ファイルなど、再生するファイルによっては、一部の画面を表示できません。

タッチパネル(タッチ操作)

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。



■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。



■ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネルを2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。



- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
(モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります)

こんなときは使えません

- 以下の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - 手袋を着用している
 - タッチパネルがぬれている

タッチ機能を使って撮る

タッチシャッター機能を使って撮る

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

ピントを合わせたい被写体にタッチするだけで、ピントを合わせて自動的にシャッターを切ります。

1 をタッチする



2 をタッチする

- アイコンが に変わり、タッチシャッター撮影が可能になります。



3 ピントを合わせたい被写体をタッチする

- ピントが合うと撮影されます。



■ タッチシャッター機能を解除するには

をタッチする

- タッチシャッターに失敗したときは、AFエリアが赤く点灯したあと消えます。

狙った場所に簡単に明るさを合わせる(タッチ AE)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**   

タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1 をタッチする2 をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード] はタッチAE専用の  に変わります。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- [リセット] をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。



4 [決定] をタッチする

■ タッチAE機能を解除するには

 をタッチする

- 測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

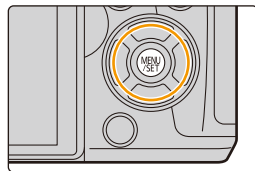
 こんなときは使えません

- 以下の場合、タッチAEは使えません。
 - デジタルズーム使用時
 - 4Kライブクロップ設定時
 - カスタムメニューの[タッチ設定]で、[タッチAF]を[AF+AE]に設定時(P89)

メニューの設定方法

メニューの設定はボタン操作、タッチ操作のどちらでも行えます。

1 [MENU/SET] ボタンを押す



[📷] 撮影(P157～)	横縦比、画素数、4Kフォトなどをお好みで設定できます。
[📹] 動画(P175～)	記録方式や画質設定など、動画撮影時の設定ができます。
[fC] カスタム(P177～)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
[⚙️] セットアップ(P184～)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[▶] 再生(P191～)	画像の保護、切り抜き、プリントするときに便利な設定など、撮影した画像に対する設定ができます。

●「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用前に、設定を確認してください。

2 ▲/▼ ボタンでメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- 後ダイヤルを回しても、メニュー項目を選べます。
- [DISP.] ボタンを押すと、ページを切り換えられます。



— タッチ操作では —

メニュー項目をタッチする

- [(⊕)]/[(⊖)] をタッチすると、ページを切り換えられます。

→ 続く

3 ▲/▼ ボタンで設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- 後ダイヤルを回しても、設定内容を選べます。
- メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。



— タッチ操作では —

設定内容をタッチして決定する

- お使いのモードやメニュー設定により、設定できなくなったり、働かなくなる機能があります。

■ 他のメニューに切り換えるには

- 1 ◀ ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンで [] などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ
 - 前ダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンを選べます。
- 3 [MENU/SET] ボタンを押す



— タッチ操作では —

[] などのメニュー切り換えアイコンをタッチする

■ メニューを終了する

[⏏/⏏] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする



— タッチ操作では —

[] をタッチする

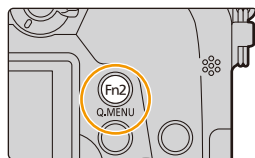
よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)

クイックメニューを使うと、一部のメニューを簡単に呼び出すことができます。

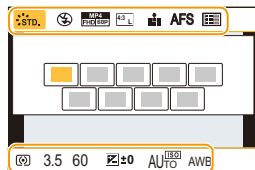
- モードや表示画面によっては、設定できない項目もあります。

1 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する

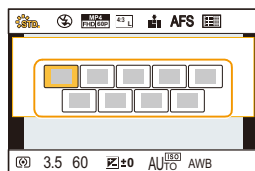
- このボタンはファンクションボタンとしても使えます。
(P51)



2 前ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ



3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ



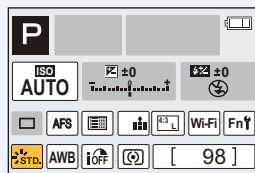
4 設定が終了したら [Q.MENU] ボタンを押してメニューを終了する

- ▲/▼/◀/▶ボタンでも設定できます。

[P] (モニタースタイル) のモニター撮影情報画面 (P42)

[Q.MENU] ボタンを押し、後ダイヤルを回して項目を選び、前ダイヤルを回して設定内容を選んでください。

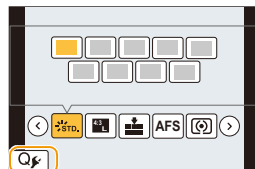
- ▲/▼/◀/▶ボタンと [MENU/SET] ボタンでも設定できます。



クイックメニューをお好みの項目に変更する

カスタムメニューの[Q.MENU] (P183) を[カスタム]に設定時は、クイックメニューをお好みで変更できます。クイックメニューは15項目まで設定しておくことができます。

1 ▼ ボタンで[Q]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

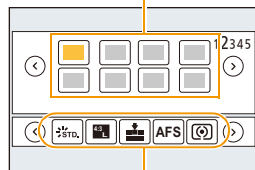


上段: 設定できる項目

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンで下段の空き項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 上段から下段へ項目をドラッグしても設定できます。
- 下段に空き項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ替えて設定することができます。
- 設定を解除するには、▼ ボタンで下段に入り、解除する項目を選んで[MENU/SET] ボタンを押してください。



下段: 設定済みの項目

4 [↵] ボタンを押す

- 上記手順1の画面に戻ります。撮影画面にするには[MENU/SET] ボタンを押してください。

よく使う機能をボタンに割り当てる (ファンクションボタン)

特定のボタンやアイコンに、撮影機能などを割り当てるができます。

- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。

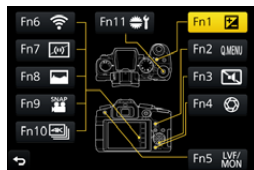
1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → **f/c** [カスタム] → [Fn ボタン設定]
→ [撮影時設定] または [再生時設定]

2 ▲/▼ ボタンで機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで割り当てる機能を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- [撮影時設定] で割り当てられる機能については (P52)
- [再生時設定] で割り当てられる機能については (P53)
- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[デフォルトに戻す] を選んでください。



■ モニター撮影情報画面からファンクションボタンの設定を行う

モニター撮影情報画面 (P42) で [Fn] をタッチしても、手順 **2** の画面を表示することができます。

■ 素早く機能を割り当てる

ファンクションボタン ([Fn1] ~ [Fn5]、[Fn11]) を長押し (2秒) すると、上記手順 **3** で表示される割り当て画面を表示することができます。

- モードや表示画面によっては、表示できない場合もあります。

撮影時にファンクションボタンを使う

撮影時にファンクションボタンを押すことで、割り当てた機能を使えます。

■ タッチ操作でファンクションボタンを使う

1 **[Fn]** をタッチする

2 **[Fn6] ~ [Fn10]** のいずれかをタッチする

■ [撮影時設定] で割り当てられる機能



撮影メニュー/ 撮影機能

- 露出補正(P94):[Fn1] ※ - Wi-Fi(P209):[Fn6] ※ - Q.MENU(P49):[Fn2] ※ - LVF/モニター切換(P37):[Fn5] ※ - LVF/モニター表示スタイル(P42) - AF/AE LOCK(P93) - AF-ON(P92, 93) - プレビュー(P65):[Fn4] ※ - ワンプッシュAE(P66) - タッチ AE(P46) - 水準器表示(P43):[Fn7] ※ - フォーカスエリア選択(P53) - ズーム操作(P126) - カーソルボタンロック(P53) - ダイヤル動作切換(P40):[Fn11] ※ - フォトスタイル(P158) - フィルター効果(P72、159) - 画像横縦比(P161) - 記録画素数(P161) - クオリティ(P162) - AFS/AFF(P81)	- 測光モード(P162) - 連写速度(P100) - 4K フォト(P102):[Fn10] ※ - セルフタイマー(P115) - ブラケット(P120) - ハイライトシャドウ(P163) - iD レンジコントロール(P164) - 超解像(P164) - HDR(P164) - シャッター方式(P166) - フラッシュモード(P134) - フラッシュ光量調整(P137) - ワイヤレスフラッシュ設定(P139) - EX テレコン(写真・動画)(P126) - デジタルズーム(P128) - 手ブレ補正(P123) - ISO 感度(P95) - ホワイトバランス(P96) - AF モード/MF(P82、90) - デフォルトに戻す
---	--

動画メニュー

- 4K ライブクロップ(P144) - スナップムービー(P147):[Fn9] ※ - 動画記録方式/画質設定(P142)	- 写真撮影(P146) - マイク指向性調整(P264)
---	--

カスタムメニュー

- サイレントモード(P177):[Fn3] ※ - ピーキング(P180) - ヒストグラム表示(P180):[Fn8] ※ - ガイドライン表示(P180) - ゼブラパターン表示(P181)	- モノクロライブビュー(P181) - 記録枠表示(P182) - ステップズーム(P129) - ズーム速度(P129) - タッチパネル(P183)
--	---

※ お買い上げ時のファンクションボタン設定

- [フォーカスエリア選択] 設定時は、AFエリアまたはMFアシストの位置設定画面を表示することができます。
- [カーソルボタンロック] 設定時は、カーソルボタン、[MENU/SET] ボタンの操作を無効にします。もう一度ファンクションボタンを押すと有効になります。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[Fn2] は使えません。
 - 4K フォトの [4K] (4K 連写 (S/S)) で撮影時
 - インターバル撮影時
- 以下の場合、[Fn4] は使えません。
 - インテリジェントオートプラスモード
 - クリエイティブコントロールモード
 - 多重露出撮影時
 - 4K ライブクロップ設定時
- ファインダー表示時は、[Fn6] ～ [Fn10] は使えません。

再生時にファンクションボタンを使う

再生時にファンクションボタンを押すことで、選んだ画像に割り当てた機能を直接設定できます。

例) [お気に入り] を [Fn2] に設定した場合

- 1 ◀▶ ボタンで画像を選ぶ
- 2 [Fn2] ボタンを押し、画像に [お気に入り] 設定する



■ [再生時設定] で割り当てられる機能

- [Fn1]、[Fn2]、[Fn5]、[Fn11] のボタンに以下の機能が割り当てられます。

再生メニュー/ 再生機能	
– Wi-Fi (P209) : [Fn1] ※	– プロテクト (P206)
– LVF/モニター切換 (P37) : [Fn5] ※	– 1 枚消去 (P156)
– お気に入り (P204) : [Fn2] ※	– OFF : [Fn11] ※
– プリント設定 (P205)	– デフォルトに戻す

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

文字を入力する

1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで文字を選び、[MENU/SET] ボタンで入力する

- [切換] にカーソルを合わせ [MENU/SET] ボタンを押すと、
 (かな) (ひらがな)、(カタ) (カタカナ)、(A) / (a) (アルファベット)、
 (1) (数字)、(&) (記号) に文字を切り換えることができます。
- 続けて同じ文字を入力したい場合は、後ダイヤルを右側に回し、カーソルを移動させてください。
- 項目にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押すと以下の操作が行えます。
 - [] : 空白を入力
 - [消去] : 文字を消去
 - [◀] : 入力位置を左に移動
 - [▶] : 入力位置を右に移動
- 入力できる文字数は以下のとおりです。
 - (かな) / (カタ) : 最大 15 文字 ([個人認証] の名前は最大 6 文字)
 - (A) / (a) / (1) / (&) ※ : 最大 30 文字 ([個人認証] の名前は最大 9 文字)
 ※ [\], [[], []], [.], [-] は最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字) です。



2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[決定]にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押して入力を終了する

3.

撮影モード

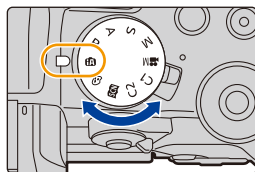
カメラにおまかせで撮る(インテリジェントオートモード)

撮影モード:  

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 モードダイヤルを[IA]に合わせる

- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。



2 被写体に画面を合わせる

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。(自動シーン判別)



カメラが自動でシーンを判別します(自動シーン判別)( 写真撮影時、 動画撮影時)



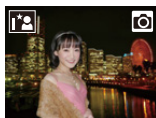
i 人物



i 風景



i マクロ



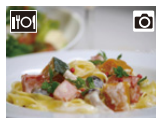
i 夜景&人物^{*1}



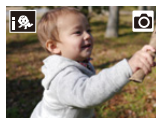
i 夜景



i 手持ち夜景^{*2}



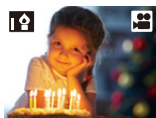
i 料理



i 赤ちゃん^{*3}



i 夕焼け



i ローライト



IA

^{*1} 内蔵フラッシュを開いている場合のみ表示されます。

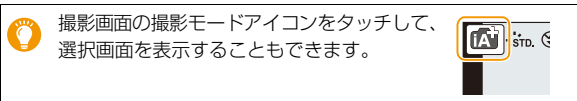
^{*2} [i 手持ち夜景] を [ON] に設定したときのみ表示されます。(P57)

^{*3} [個人認証] を [ON] に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔・瞳認識したときのみ表示されます。

- どのシーンにも当てはまらない場合は[IA]になり、標準的な設定を行います。
- 4K フォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換えるには

メニュー画面で[>]または[>]タブを選び、▶ ボタンで[>]または[>]を選んで[MENU/SET]ボタンを押してください。



インテリジェントオートプラスモードは、インテリジェントオートモードの設定に加えて明るさや色合いなどの設定を変更できるので、よりお好みに合わせた撮影ができます。より気軽に撮りたいときは、インテリジェントオートモードをお使いください。

(○：設定可、×：設定不可)

	 インテリジェントオートプラスモード	 インテリジェントオートモード
明るさ設定	○	×
色合い設定	○	×
ボケ味コントロール	○	×
設定できるメニュー	多い	少ない

■ オートフォーカス/顔・瞳認識/個人認証

オートフォーカスモードは自動で[>]に設定されます。被写体をタッチすると追尾AF機能(P84)が働きます。カーソルボタンの◀を押し、シャッターボタンを半押ししても追尾AF機能に切り換わります。

- [個人認証]を[ON]に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[>]、[>]の右上に[R]が表示されます。



■ フラッシュ

フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で[>]、[>] (赤目軽減オート)、[>]または[>]に設定します。

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P131)
- [>]、[>]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [>]、[>]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

■ 自動シーン判別について

- [] と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。



逆光補正について

- カメラが自動で画像を明るくすることにより、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。

手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)

撮影モード:

手持ち撮影で夜景を撮影中に [] と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し 1 枚の写真に合成します。三脚を使わずに手ブレとノイズの少ないきれいな夜景を撮影したいときに効果的です。

MENU ボタン → [撮影] → [i手持ち夜景] → [ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- フラッシュは [] (発光禁止) に固定されます。



こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[i手持ち夜景] は使えません。
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 連写撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [クオリティ] を [RAW], [RAW], [RAW] に設定時
 - [EXテレコン(写真)] 設定時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時 ([自動撮影] 設定時のみ)

階調豊かな写真に合成する(iHDR)

撮影モード:  

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。

[iHDR]は必要に応じて働きます。働くときは、画面に[HDR]が表示されます。

MENU ボタン →  [撮影] → [iHDR] → [ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。

こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[iHDR]は使えません。
 - フラッシュ撮影時
 - 連写撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [クオリティ]を[RAW ]、[RAW ]、[RAW]に設定時
 - [EXテレコン(写真)]設定時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時 ([自動撮影]設定時のみ)

背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

撮影モード: 

- 1 [Fn4] ボタンを押して設定画面を表示する
- 2 後ダイヤルを回してボケ具合を設定する



ボケ具合が大きい



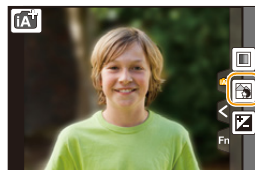
ボケ具合が小さい



- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- ボケ具合の設定画面で [Fn4] ボタンを押すと、設定が解除されます。

■ タッチパネル操作時

- 1  をタッチする
- 2  をタッチして、設定画面を表示する
- 3 露出メーターをドラッグして設定する
 - [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
 - ボケ具合の設定画面で [Fn4] ボタンを押すと、設定が解除されます。



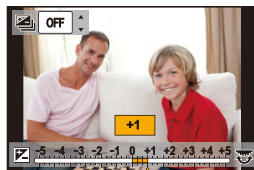
- オートフォーカスモードは  になります。画面をタッチすると、AFエリアの位置を設定できます。(大きさは変更できません)
- 使用するレンズによっては、ボケ具合を操作しているときに、レンズ部から音がすることがありますが、このときの音はレンズの絞り動作によるもので、異常ではありません。
- 使用するレンズによっては、動画撮影中にボケ具合を操作すると、その動作音が記録されることがあります。

明るさや色合いを変えて撮る

撮影モード: 

■ 明るさを設定する

- 1  ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して明るさを調整する
 - 明るさ設定画面で ▲/▼ ボタンを押すと、露出ブラケットの設定ができます。(P121)
 - もう一度  ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



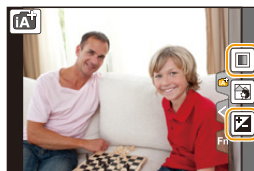
■ 色合いを設定する

- 1 ► ボタンを押して設定画面を表示する
- 2 後ダイヤルを回して色合いを調整する
 - [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



タッチパネルで設定を変える

- 1  をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする
 -  : 色合い
 -  : 明るさ
- 3 スライダーをドラッグして設定する
 - [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



- 設定した色合いは、電源スイッチを[OFF]にする、または他の撮影モードに変更すると、標準(中心点)に戻ります。

絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る(プログラム AE モード)

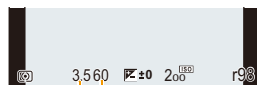
撮影モード: [P]

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。



絞り値 シャッタースピード

プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。

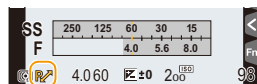
プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

2 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してプログラムシフトする

- プログラムシフトを解除するには、電源スイッチを[OFF]にするか、プログラムシフト表示が消えるまで、前後のダイヤルを回してください。

ファンクションボタンに[ワンプッシュAE]を設定すると、簡単にプログラムシフトを解除できます。(P66)



プログラムシフト表示

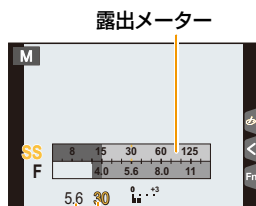
🚫 こんなときは使えません

- 以下の場合、プログラムシフトできません。
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ISO感度を [ISO] に設定時

絞り値/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード: **[A]** **[S]** **[M]**

(例: マニュアル露出モード)



絞り値

シャッタースピード

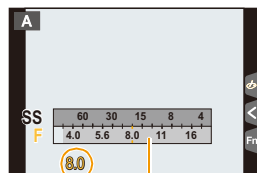
絞り値	 小さい 背景をぼかしくなります。	 大きい 背景までピントが合った状態にしやすくなります。
シャッタースピード	 遅い 動きを表現しやすくなります。	 速い 動きを止めやすくなります。

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(P65)
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 前後のダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正露出にならないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

A: 絞り優先AEモード

絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

- 1 モードダイヤルを **[A]** に合わせる
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して絞り値を設定する



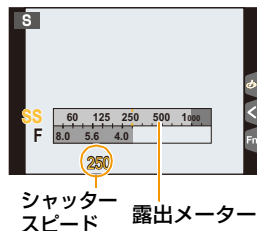
絞り値 露出メーター

- 絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの位置を **[A]** にすると前後のダイヤルの設定が有効になり、**[A]** 以外では絞りリングの設定が優先されます。

S: シャッター優先AEモード

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。

- 1 モードダイヤルを[S]に合わせる
- 2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する



- フラッシュ発光時は、1/160秒より速いシャッタースピードには設定できません。(P135)

M: マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

- 1 モードダイヤルを[M]に合わせる
- 2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを、前ダイヤルを回して絞り値を設定する

設定可能なシャッタースピード(秒)
B(バルブ)、60 ~ 1/4000(メカシャッター使用時)
B(バルブ)、60 ~ 1/2000(電子先幕使用時)
1 ~ 1/16000(電子シャッター使用時)



シャッタースピードと絞り値にISO感度を合わせる

ISO感度を[AUTO]に設定時、設定したシャッタースピードと絞り値で適正露出になるように、ISO感度をカメラが自動的に設定します。

- 撮影条件により、適正露出にならなかったり、ISO感度が高くなる場合があります。



マニュアル露出アシストについて

	適正露出になります。
	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

- 絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの設定が優先されます。
- フラッシュ発光時は、1/160 秒より速いシャッタースピードには設定できません。(P135)

■ B(バルブ)について

シャッタースピードをB(バルブ)に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。(最大約 120 秒間)

シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。

花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- マニュアル露出モードでのみ使えます。



- バルブ撮影時は、三脚やシャッターリモコン(別売: DMW-RSL1)の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、266 ページをお読みください。
- バルブ撮影すると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。(P169)



こんなときは使えません

- 以下の場合、B(バルブ)は使えません。
 - フラッシュ撮影時([フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定時のみ)
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [HDR]を[ON]に設定時
 - 電子シャッター使用時
 - [サイレントモード]を[ON]に設定時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時([自動撮影]設定時のみ)

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード:

プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。

- **絞り効果の確認**: 実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度(ピントの合っている範囲)を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**: 実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。

1 ファンクションボタンに[プレビュー]を設定する(P51)

- 次の手順は、[Fn4]に[プレビュー]を設定した場合の例です。

2 [Fn4] ボタンを押して確認画面を切り換える

- [Fn4] ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	レンズの焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い(狭い) 例: 背景をぼかして撮りたいときなど	深い(広い) 例: 背景までピントを合わせて撮りたいときなど

- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/16000秒です。

こんなときは使えません

- 4K フォトの[] (4K プリ連写) で撮影時、プレビューモードは使えません。

絞り/シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる (ワンブッシュAE)

使えるモード:

露出の設定が明るすぎたり、暗すぎたとき、ワンブッシュAEを使うと簡単に適正露出に合わせることができます。



適正露出でないときの見分け方

- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシスト(P64)が 以外で表示されたとき。

1 ファンクションボタンに[ワンブッシュAE]を設定する(P51)

2 (適正露出でないときに)ファンクションボタンを押す



- 露出メーターが表示され、絞り値やシャッタースピードが適正露出に合った設定に変わります。
- 以下の場合では、適正露出に合わせることができません。
 - 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
 - フラッシュ撮影時
 - プレビューモード時(P65)
 - 絞りリングのあるレンズを使用時

撮影シーンに合わせて撮る(シーンガイドモード)

撮影モード: 

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

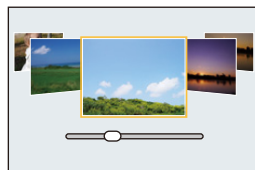
2 ◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ

- 作例写真やスライドバーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す



- 撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- シーンガイドモードを変更したい場合は、メニュー画面で [SCN] タブを選び、[シーン切換] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと上記手順 2 に戻ります。
- シーンガイドモード時は、カメラが自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
- [フォトスタイル] の画質調整以外の項目 / ISO 感度 / [フィルター設定] / [測光モード] / [ハイライイトシャドウ] / [HDR] / [多重露出] / [デジタルズーム]
- シーンによってはホワイトバランスは [AWB] に固定されますが、撮影画面でカーソルボタンの ▶ を押すとホワイトバランスの微調整 (P97) やホワイトバランスブラケット (P98) が使えます。
- シーンによっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。

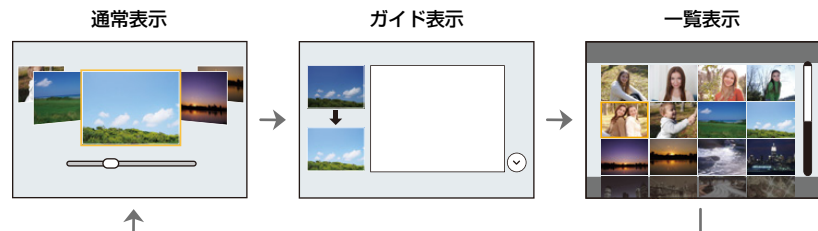
シーンガイドモードの種類



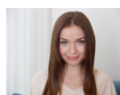
シーンの説明や撮影のヒントを表示する

シーン選択画面で [DISP.] ボタンを押す

- ガイド表示では、各シーンの詳しい説明や撮影のヒントが表示されます。



1: 人物をきれいに撮る



2: 人物の肌をきれいに撮る

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。



3: 逆光でふんわり撮る



4: 逆光でしっかり撮る



5: ほのぼのした雰囲気撮る



6: 子どもをかわいく撮る

顔をタッチする

- タッチした場所にピンとや露出が合い、写真が撮影されます。



7: 風景をきれいに撮る



8: 青空をさわやかに撮る



9: 夕焼けを幻想的に撮る



10: 夕焼けを印象的に撮る

→ 続く

**11: 水面をキラキラ撮る**

- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。

**13: 夜空をクールに撮る****15: 夜景をアーティスティックに撮る****17: 夜景を手持ちで撮る**

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないください。
- 画角が僅かに狭くなります。

**19: 花をふんわり撮る**

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。

**21: スイーツをかわいく撮る**

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。

**23: スポーツをきれいに撮る****25: パノラマで撮る****12: 夜景をきれいに撮る****14: 夜景を暖かく撮る****16: イルミネーションをキラキラ撮る****18: 夜景をバックに人物をきれいに撮る**

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。

**20: 料理をおいしそうに撮る**

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを閉じて発光させないことをお勧めします。

**22: 動くペットをきちんと撮る**

- [AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。

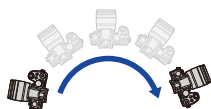
**24: モノクロで撮る**

パノラマ写真を撮る([パノラマで撮る])

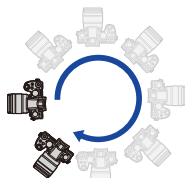
- [パノラマで撮る]に設定すると、撮影方向を確認する画面が表示されたあと、水平/垂直ガイドが表示されます。

- 1 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる
- 2 シャッターボタンを全押し、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

左から右へ撮影する場合



画像サイズ: 標準の場合



画像サイズ: ワイドの場合



撮影の方向と進み具合(目安)

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。
- 3 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する
 - 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
 - ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

■ パノラマ写真の撮影方向や画角(画像サイズ)を変更する

MENU ボタン → [撮影] → [パノラマ設定]

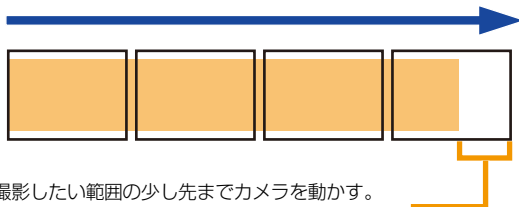
撮影方向	撮影する向きを設定します。
画像サイズ	画角(画像サイズ)を設定します。 [標準]、[ワイド]

- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、画像サイズや撮影方向、合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

画像サイズ	撮影方向	横	縦
標準	水平方向	8176 画素	1920 画素
	垂直方向	2560 画素	7680 画素
ワイド	水平方向	8176 画素	960 画素
	垂直方向	1280 画素	7680 画素

■ 撮影のテクニック

- 揺らさないように気をつけながら、撮影方向へカメラを動かす。
(揺れが大きいと撮影できなかったり、記録されるパノラマ写真が細く(小さく)なります)



- 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。
(最後の 1 コマは端まで記録されません)

■ 再生について

▲ ボタンを押すと、撮影時と同じ方向に自動でスクロール再生されます。

- スクロール再生中は、以下の操作が行えます。

		パノラマ再生開始 / 一時停止※
		停止



※ 一時停止中は、画面をドラッグしてスクロールを進めたり戻したりすることができます。スクロールバーをタッチすると、タッチした位置まで再生位置がジャンプします。

- 望遠レンズ装着時など、焦点距離が大きいときはカメラをゆっくり動かしてください。
- ピント・ホワイトバランス・露出は、1 コマ目の写真に最適な値で固定されます。このため、撮影の途中でピントや明るさが極端に変わる場合、パノラマ写真全体では適切なピントや明るさで撮影されない場合があります。
- 複数の写真から 1 枚のパノラマ写真に合成するため、被写体がゆがんだりつなぎ目が目立つ場合があります。

🚫 こんなときは使えません

- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
 - 単調な色や模様が続く被写体(空や砂浜など)
 - 動いている被写体(人やペット、自動車、波、風に揺れる花など)
 - 短時間で色や模様が変わる被写体(ディスプレイに映った画像など)
 - 暗い場所
 - 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

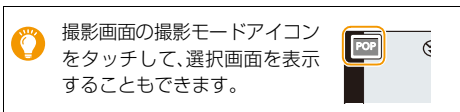
撮影モード: 

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

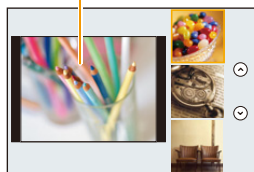
1 モードダイヤルを  に合わせる

2 ▲/▼ ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。

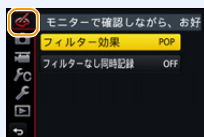


プレビュー表示



3 [MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー画面の  タブを選択すると、以下のメニュー項目が設定できます。
 - [フィルター効果]: 画像効果(フィルター) 選択画面を表示します。
 - [フィルターなし同時記録]: 画像効果を加えない写真を同時に記録する設定ができます。(P160)
- ホワイトバランスは[AWB]に、ISO感度は[AUTO]に固定されます。
- 画像効果によっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。



画像効果の種類

 画像効果の説明を表示する

画像効果選択画面で [DISP.] ボタンを押す

- ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。



 続く

	ポップ		レトロ		オールドデイズ
	ハイキー		ローキー		セピア
	モノクローム		ダイナミック モノクローム		ラフモノクローム
	シルキー モノクローム		インプレッシブ アート		ハイダイナミック
	クロスプロセス		トイフォト		トイポップ
	ブリーチパイパス		ジオラマ		ソフトフォーカス
	ファンタジー		クロスフィルター		ワンポイント カラー
	サンシャイン				

■ [ジオラマ]でぼかし方を設定する

1 [Fn3] ボタンを押して設定画面を表示する

-  をタッチしたあと、 をタッチしても表示できます。

2 ▲/▼ ボタンまたは ◀/▶ ボタンでぼかさない

部分を移動する

- 撮影画面で画面をタッチすることでも、ぼかさない部分を移動することもできます。
-  をタッチすると、撮影する向き(ぼかす向き)を設定できます。



3 後ダイヤルを回してほかさない部分の大きさを変更する

- 画面をピンチアウト/ピンチイン(P44)しても、拡大 / 縮小できます。
- [DISP.] ボタンを押すとほかさない部分の設定は、初期設定に戻ります。

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約 1/10 の時間で記録されます。(10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります) 表示される記録可能時間は約 10 倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

■ [ワンポイントカラー] で残したい色を設定する

1 [Fn3] ボタンを押して設定画面を表示する

- [Fn3] ボタンを押したあと、[Fn3] ボタンを押しても表示できます。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、残す色を選ぶ

- 画面をタッチすることでも、残す色を選べます。
- [DISP.] ボタンを押すと枠は中央に戻ります。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する



- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

■ [サンシャイン] で光源の位置と大きさを設定する

1 [Fn3] ボタンを押して設定画面を表示する

- [Fn3] ボタンを押したあと、[Fn3] ボタンを押しても表示できます。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで光源の中心の位置を移動する

- 画面をタッチして光源の位置を移動することもできます。



光源の中心を置くときのポイント

画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。



3 後ダイヤルを回して光源の大きさを調整する

- ピンチアウト / ピンチインしても拡大 / 縮小できます。
- [DISP.] ボタンを押すと光源の設定は初期設定に戻ります。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単にお好みに合わせることができます。

1 ▶ ボタンを押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して設定する

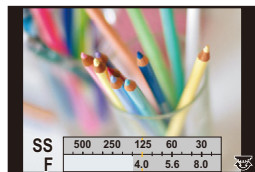
- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



画像効果	調整できる項目			
ポップ	鮮やかさ	落ち着いた色合い	↔	派手な色合い
レトロ	色合い	黄色っぽい色	↔	赤っぽい色
オールドデイズ	コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
ハイキー	色合い	ピンクっぽい色	↔	水色っぽい色
ローキー	色合い	赤っぽい色	↔	青っぽい色
セピア	コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
モノクローム	色合い	黄色っぽい色	↔	青っぽい色
ダイナミックモノクローム	コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
ラフモノクローム	粒子感	粒子感が弱い	↔	粒子感が強い
シルキーモノクローム	ボケ具合	ボケ具合が小さい	↔	ボケ具合が大きい
インプレッシブアート	鮮やかさ	白黒	↔	派手な色合い
ハイダイナミック	鮮やかさ	白黒	↔	派手な色合い
クロスプロセス	色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色		
トイフォト	色合い	オレンジっぽい色	↔	青っぽい色
トイポップ	周辺光量が落ちる範囲	小さい	↔	大きい
ブリーチバイパス	コントラスト	明暗差が小さい	↔	明暗差が大きい
ジオラマ	鮮やかさ	落ち着いた色合い	↔	派手な色合い
ソフトフォーカス	ボケ具合	ボケ具合が小さい	↔	ボケ具合が大きい
ファンタジー	鮮やかさ	落ち着いた色合い	↔	派手な色合い
クロスフィルター		輝きが短い	↔	輝きが長い
		輝きが少ない	↔	輝が多い
		輝きを左に回転	↔	輝きを右に回転
ワンポイントカラー	残す色の量	少し色を残す	↔	多く色を残す
サンシャイン	色合い	黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色		

背景をぼかして撮る(ボケ味コントロール)

- 1 [Fn4] ボタンを押して設定画面を表示する
- 2 後ダイヤルを回して設定する
 - [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
 - ボケ具合の設定画面で [Fn4] ボタンを押すと、設定が解除されます。

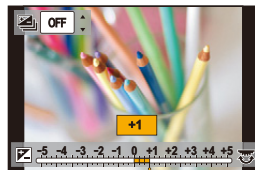


こんなときは使えません

- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、ボケ味コントロール機能を使えません。

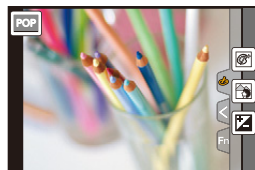
明るさを設定する

- 1 [] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回して設定する
 - 明るさ設定画面で ▲/▼ ボタンを押すと、露出ブラケットの設定ができます。(P121)
 - もう一度 [] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



■ タッチパネルで設定を変える

- 1 [] をタッチする
- 2 設定する項目をタッチする
 - [] : 画像効果の調整
 - [] : ボケ具合
 - [] : 明るさ
- 3 スライダーをドラッグして設定する
 - [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



絞り/シャッタースピードを決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)

撮影モード:  M

絞りやシャッタースピードを手動で変更して動画を撮影できます。

1 モードダイヤルを  M に合わせる

2 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [動画] → [動画露出設定] → [P]、[A]、[S] または [M]

- モードダイヤルを **P / A / S / M** のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



3 動画ボタン(またはシャッターボタン)を押して撮影を開始する

4 もう一度動画ボタン(またはシャッターボタン)を押して撮影を終了する

- [動画露出設定] を [M] に設定時、ISO 感度の [AUTO] は [200] に切り換わります。

動画撮影中の操作音を抑えて撮る

動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

1 撮影を開始する

2 をタッチする

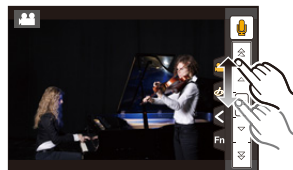
3 アイコンをタッチする

	ズーム（パワーズーム対応交換レンズ使用時）
	絞り値
	シャッタースピード
	露出補正
	ISO 感度
	マイクレベル設定

4 スライダーをドラッグして設定する

- タッチする位置により、操作のスピードは変わります。

	ゆっくり設定を変える
	速く設定を変える



5 撮影を終了する

お好みの設定を登録して撮る(カスタムモード)

撮影モード: **C1** **C2**

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で4つまで登録しておくことができます。(C1、C2-1、C2-2、C2-3)

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。
- 準備: あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

メニューを設定する(P47)

MENU ボタン → **fc** [カスタム] → [カスタムセット登録] → 登録したいカスタムセット

- モードダイヤルの**C2**には、3 つまでカスタムセットを登録できます。
- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。

撮影メニュー	セットアップメニュー	カスタムメニュー	再生メニュー
- [個人認証] で登録されたデータ - [プロフィール設定] の設定内容	- すべてのメニュー	- [タッチ再生送り速度] - [メニューガイド]	- [縦位置自動回転] - [画像表示順] - [消去確認画面]

登録したカスタムセットで撮る

[カスタムセット登録]で登録した設定を、簡単に呼び出すことができます。

モードダイヤルを[C1]または[C2]に合わせる

- カスタムセットが呼び出されます。[C2]の場合は、最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。

■ [C2] のカスタムセットを変更する場合は

- 1 モードダイヤルを[C2]に合わせる
- 2 [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する
- 3 ◀/▶ ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- 選択されているカスタムセット表示が画面に出ます。



■ 登録内容を変更する

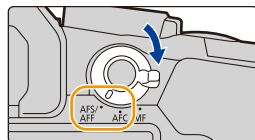
モードダイヤルを**C1**または**C2**に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、カスタムメニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

自動でピントを合わせる(オートフォーカス)

被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードやオートフォーカスモードを設定することで、さまざまなシーンに対応した自動でのピント合わせができます。

1 フォーカスモードレバーを[AFS/AFF]または[AFC]に合わせる

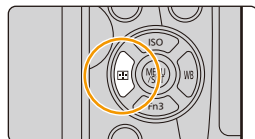
- フォーカスモードを設定します。(P81)



2 ◀([]) ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- オートフォーカスモードを設定します。(P82)

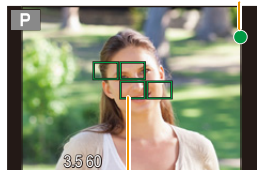


4 シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスが働きます。

フォーカス表示

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	—
電子音	ピピッ	—



AF エリア

- 暗い環境ではフォーカス表示が[●]と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。
- [●]を表示後に夜空の星などを検知した場合、星空AFが働きます。ピントが合うと、フォーカス表示が[●]と表示され、ピントを合わせたAFエリアが表示されます。
(星空 AF で検知できるのは、画面中央の約 1/3 の範囲のみになります)

- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがありますので、ピントを合わせ直してください。



ピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮るとき

フォーカスモード(AFS、AFF、AFC)

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**  

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

項目		撮影シーン(お勧め)
AFS/AFF	AFS (Auto Focus Single)	静止している(風景、記念撮影など) シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。 
	AFF (Auto Focus Flexible)	動きが予測できない(子ども、ペットなど) シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。 
AFC (Auto Focus Continuous)		動いている(スポーツ、鉄道など) シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測) 
MF		手動でピントを合わせます。(P90)

■ フォーカスモードレバーの [AFS/AFF] について

撮影メニューまたは動画メニューの[AFS/AFF]で、フォーカスモードレバーの[AFS/AFF]に、[AFS]または[AFF]のいずれかを割り当てることができます。



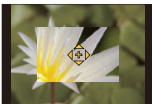
[AFF]、[AFC] で撮影する場合は

- カスタムメニューの[AF 追従感度]で、被写体の動きに合わせたピント合わせの感度を設定できます。(P178)
- W 端から T 端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに变えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。
- 以下の場合、フォーカスモードの[AFF]または[AFC]は、[AFS]と同じ動作をします。
 - クリエイティブ動画モード
 - 4K フォトの[ - 低照度時
- シーンガイドモードの[パノラマで撮る]では、[AFF]、[AFC]に設定できません。
- 4K フォト撮影時、[AFF]に設定できません。撮影時には AF 連続動作が働きます。
- フォーカスセレクト撮影時は設定できません。

オートフォーカスモード

使えるモード:      

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

 (顔・瞳認識)	人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。([測光モード]を[☉]設定時) - 検知できる顔は15個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。 - ピントを合わせる目を変更できます。(P83) - AFエリアの位置と大きさを変えることができます。(P86)	
 (追尾)	指定した被写体にピントを合わせます。被写体に露出を合わせます。([測光モード]を[☉]設定時) 被写体が動いても自動でピントと露出を合わせ続けます。(動体追尾) (P84)	
 (49点)	最大49点のAFエリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。 ピントを合わせるエリアを選択できます。(P87)	
 (カスタムマルチ)	49点のAFエリアから、被写体に合わせてAFエリアを選ぶことで、自由にAFエリアの形状を設定できます。(P84)	
 (1点)	AFエリア内にピントを合わせます。 AFエリアの位置と大きさを変えることができます。(P86)	
 (ピンポイント)	[] より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するための画面が拡大表示されます。 拡大した画面で、ピントを合わせる位置を設定できます。(P87)	



シャッター半押しでの構図づくり

[] で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体にAFエリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。(フォーカスモードを[AFS]に設定したときのみ)

■ オートフォーカスモードの制限事項

- 以下の場合、オートフォーカスモードは[]に固定されます。
 - デジタルズーム使用時
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
- 4K ライブクロップ設定時、オートフォーカスモードは[]に固定されます。
- 以下の場合、オートフォーカスモードは設定できません。
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [スナップムービー]の[ピント送り]を[ON]に設定時

(顔・瞳認識)

- 以下の場合、[]に設定できません。
 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]

(追尾)

- インターバル撮影時は[]は使えません。
- 以下の場合、[]は[]の動作になります。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]/[モノクロで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[セピア]/[モノクローム]/[ダイナミックモノクローム]/[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]/[フォトスタイル]の[モノクローム]/[L.モノクローム]

(ピンポイント)

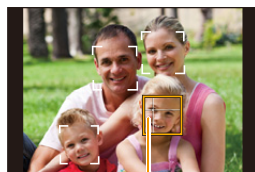
- 動画撮影時や 4K フォト撮影時、[]に設定している場合は、[]に切り換わります。
- フォーカスモードの[AFF]、[AFC]では[]に設定できません。

(顔・瞳認識)について

カメラが顔を認識するとAFエリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色: シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色: 複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。

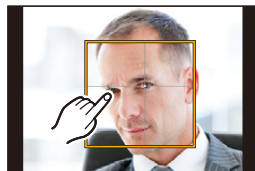


ピントを合わせる目

■ ピントを合わせる目を変更する

ピントを合わせる目をタッチする

- 黄色の枠内の目をタッチしてください。それ以外の位置をタッチすると、AFエリア設定画面が表示されます。(P86)
- []をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押すと、ピントを合わせる目の設定が解除されます。



- 4K ライブクロップ設定時、ピントを合わせる目の変更はできません。
- 被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、[]の動作になります。

追尾する被写体をロックする(追尾)

ボタン操作

被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しする

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色に変わります。
- [MENU/SET]ボタンを押すと、ロックは解除されます。

タッチ操作

被写体をタッチする

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- ロック中はAFエリアが黄色になります。
- [AF ON/OFF]をタッチすると、ロックは解除されます。

追尾AFエリア



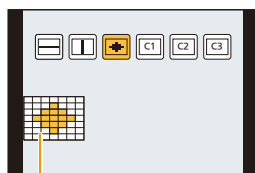
- ロックに失敗したときは、追尾AFエリアが赤く点滅したあと消えます。
- 被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によって追尾AFが正しく動作しない場合は、[AF-LOCK]の動作になります。

AFエリアの形状を設定する(カスタムマルチ)

被写体に合わせて、49点のAFエリアから選ぶことで自由に形状を設定できます。

- 1 ◀([AF-AREA])ボタンを押す
- 2 カスタムマルチアイコン([CUSTOM])を選び、▲ボタンを押す
- 3 ◀/▶ボタンで設定項目を選ぶ

 (横)	横一列の形状 流し撮りなどの撮影に 便利な形状です。	
 (縦)	縦一列の形状 建築物の撮影などに 便利な形状です。	
 (中央)	中央に分布した形状 中央周辺にピントを 合わせたい場合に便 利な形状です。	
 (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。	



現在のAFエリアの形状

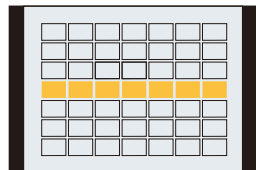
4 ▼ ボタンを押す

5 AF エリアを選ぶ

- 選択されている AF エリアは黄色で表示されます。

[C1]/[C2]/[C3] 選択時

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	位置の移動
↺/↻	ピンチイン/ ピンチアウト	大きさの変更 (3 段階)
[DISP.]	[リセット]	初期設定に戻る



[C1]/[C2]/[C3] 選択時

タッチ操作

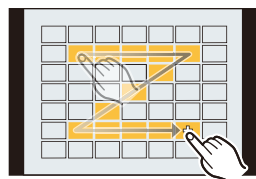
AF エリアにしたい部分をなぞる

- 選択された AF エリアをタッチすると選択が解除されます。

ボタン操作

▲/▼/◀/▶ ボタンで AF エリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- [DISP.] ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。



6 [Fn2] ボタンを押す

■ 設定した AF エリアを [C1]、[C2]、[C3] (カスタム) に登録する

1 84 ページの手順 3 の画面で、▲ ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [C1]/[C2]/[C3] で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。

AFエリアの位置を設定する / 大きさを変更する

使えるモード:

オートフォーカスモードの 、、、 では、AFエリアの位置や大きさを設定することができます。

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- 撮影画面をタッチすることでも、AFエリア設定画面を表示できます。(カスタムメニューの[タッチ設定]で、[タッチ AF]を[AF]に設定時)
- [測光モード](P162)がのときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。

こんなときは使えません

- 以下の場合、AFエリアの位置と大きさを変えることはできません。
 - デジタルズーム使用時
 - 4K ライブクロップ設定時

、 選択時

AF エリアの位置と大きさを変更することができます。

- 1 () ボタンを押す
- 2 または を選び、 ボタンを押す



3 AF エリアの位置と大きさを変更する

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
/	タッチ	AF エリアの移動
	ピンチアウト/ピンチイン	AF エリアを細かく拡大 / 縮小
	—	AF エリアを大きく拡大 / 縮小
[DISP.]	[リセット]	AF エリアを中央に戻す ●もう一度押すと、枠の大きさが初期設定に戻ります。

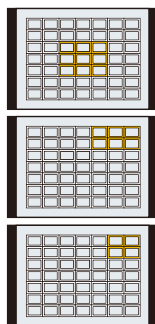
4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 選択時は、タッチした場所にと同じ働きのAFエリアが表示されます。
[MENU/SET] ボタンを押す、またはをタッチするとAFエリアの設定を解除できます。

[AF] 選択時

AFエリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49点のAFエリアは9点(画面の端では6点または4点)ごとのグループに分けられています。

グループの例



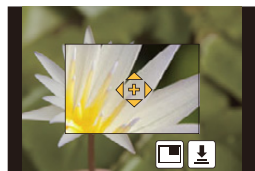
- 1 ◀([AF]) ボタンを押す
- 2 [AF] を選び、▼ ボタンを押す
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで、AFエリアのグループを選択する
- 4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する
 - [+] 表示(選択したグループの中心点)のみが画面に残ります。
 - [MENU/SET] ボタンを押す、または[AF]をタッチするとAFエリアの設定が解除されます。

[+] 選択時

画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。

- 画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。

- 1 ◀([AF]) ボタンを押す
- 2 [+] を選び、▼ ボタンを押す
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を決め、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 [+] をピントを合わせる位置に移動する



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	[+]の移動
	ピンチアウト/ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を大きく拡大 / 縮小
—		拡大表示の切り換え(画面の一部 / 画面全体)
[DISP.]	[リセット]	[+]を中央に戻す

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大 / 縮小できます。
- [↓]をタッチすることでも、写真を撮影することができます。

- 5 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

タッチした位置にピントと明るさを合わせる

使えるモード:

タッチした位置にピントと明るさを合わせることができます。

1 メニューを設定する(P47)

MENU ボタン → [カスタム] → [タッチ設定] → [タッチAF] → [AF+AE]

2 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 明るさを合わせる位置がAFエリアの中央に表示され、AFエリアに合わせて移動します。
- [測光モード]はタッチAE専用の[]に変わります。
- [リセット]をタッチすると、明るさを合わせる位置とAFエリアは中央に戻ります。

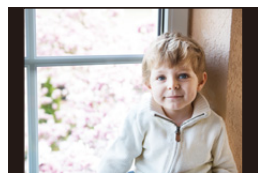


3 [決定]をタッチする

- タッチした場所に[]と同じ動きのAFエリアが表示されます。
- []([]) 設定時は[]をタッチすると、[AF+AE]の設定が解除されます。



背景が明るくなりすぎた場合などは、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。



- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。



こんなときは使えません

- 以下の場合、[AF+AE]は働きません。
 - デジタルズーム使用時
 - カーソルボタンを使って AF エリアを設定したとき
 - 4K ライブクロップ設定時

手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

使えるモード: P A S M

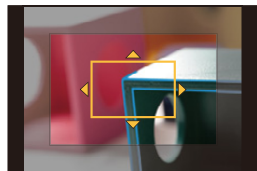
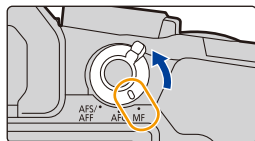
ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

1 フォーカスモードレバーを [MF] に合わせる

2 ◀() ボタンを押す

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MF アシスト)
- フォーカスリングを回す、フォーカスレバーを動かす、または画面をピンチアウト(P44)や2回タッチすることでも、拡大表示できます。
- 画面をドラッグ(P44)することでも、ピントを合わせる位置を選べます。
- [DISP.] ボタンを押すとピントを合わせる位置は中央に戻ります。

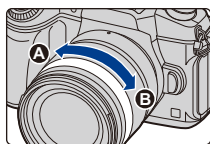


4 ピントを合わせる

手動でピントを合わせる操作はレンズによって異なります。

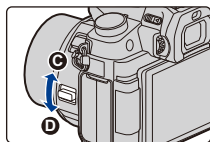
フォーカスリングのある交換レンズ(H-FS12060)をお使いの場合

- A** 側に回す: 近くにピントを合わせる
- B** 側に回す: 遠くにピントを合わせる



フォーカスレバーのある交換レンズをお使いの場合

- C** 側に動かす: 近くにピントを合わせる
- D** 側に動かす: 遠くにピントを合わせる
- フォーカスレバーを動かす幅によって、ピントを合わせる速度が変わります。

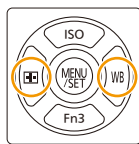


フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合

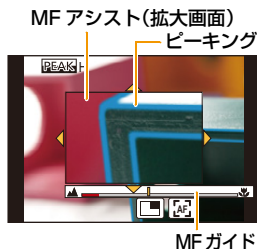
- ▶ ボタンを押す: 近くにピントを合わせる
- ◀ ボタンを押す: 遠くにピントを合わせる
- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。
- スライドバーをドラッグすることでも、ピント合わせができます。



スライドバー



- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。(MF ガイド)



以下の操作ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶※	ドラッグ	拡大表示位置の移動
	ピンチアウト/ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を大きく拡大 / 縮小
—		拡大表示の切り換え (画面の一部 / 画面全体)
[DISP.]※	[リセット]※	拡大表示する部分を中央に戻す

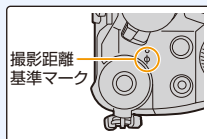
※ フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合、▼ ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させると操作ができます。

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大 / 縮小できます。

5 シャッターボタンを半押しする

- [MENU/SET] ボタンを押すことでも、同じ操作ができます。
- フォーカスリングを回して、またはフォーカスレバーを動かして拡大表示した場合は、操作をやめると約10秒後にアシスト画面を終了します。

- 使用するレンズによりMFアシストまたはMFガイドは表示されない場合がありますが、MFアシストはタッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作すると表示させることができます。
- 撮影距離基準マークは撮影距離の基準となるマークです。マニュアルフォーカスや接写の目安にしてください。



→ 続く

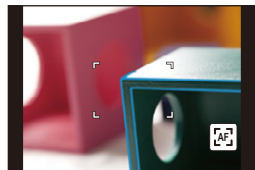


オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる

MENU ボタン → **Fn** [カスタム] → [AF/AE ロック切換] → [AF-ON]

マニュアルフォーカス時に[AF/AE LOCK]ボタンを押すとオートフォーカスが働きます。

- 枠の中心でオートフォーカスが働きます。
- 以下の操作でもオートフォーカスが働きます。
 - [AF-ON] を設定しているファンクションボタンを押す
 - [AF] をタッチする
 - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す
- 4K ライブクロップ設定時、この機能は使えません。

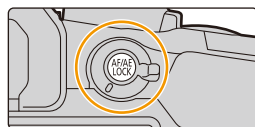


ピントや露出を固定して撮る(AF/AEロック)

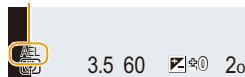
使えるモード: **P A S M**

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合(AEロック)や、被写体がAFエリアから外れた構図で撮りたい場合(AFロック)などに便利です。

- 1 被写体に画面を合わせる
- 2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する
 - [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。
 - お買い上げ時は、露出のみが固定されます。
- 3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする



AE ロック表示



■ [AF/AE LOCK] の機能を設定する

MENU ボタン → **f** [カスタム] → [AF/AEロック切換]

AE LOCK	露出だけを固定します。 ●露出が合うと、[AEL]が表示されます。
AF LOCK	ピントだけを固定します。 ●ピントが合うと、[AFL]が表示されます。
AF/AE LOCK	ピントと露出を固定します。 ●ピントと露出が合うと、[AFL]と[AEL]が表示されます。
AF-ON	オートフォーカスが作動します。

- マニュアル露出モード時は、AFロックのみ有効です。
- マニュアルフォーカス時は、AEロックのみ有効です。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

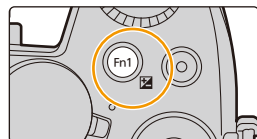
露出を補正して撮る

使えるモード:

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 [Fn] ボタンを押す

- このボタンはファンクションボタンとしても使えます。(P51)

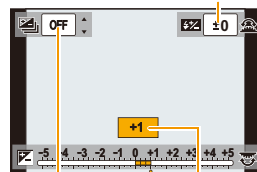


フラッシュ発光量調整

2 後ダイヤルを回して露出を補正する

- 露出補正画面では、以下の操作ができます。

	露出補正
	フラッシュ発光量の調整(P137)
	露出ブラケットの設定(P121)



露出ブラケット 露出補正

- [DISP.] ボタンを押すと、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ替えることができます。

露出アンダー



露出をプラス方向に補正してください。

適正露出



露出オーバー



露出をマイナス方向に補正してください。

3 [Fn] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

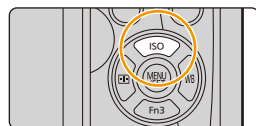
- 露出補正値は、-5 EV ~ +5 EV の範囲で設定可能です。
動画撮影時、4K フォト撮影時、フォーカスセレクト撮影時は、-3 EV ~ +3 EV の範囲で設定可能です。
- 撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動]を[ON]に設定時は、露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。(P137)
- 露出量が-3 EV から+3 EV の範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。撮影画像の実際の明るさは、オートレビューや再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。
- 設定した露出補正量は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。([露出補正リセット](P189))を[OFF]に設定時)

ISO感度を設定する

使えるモード: P A S M

光に対する感度(ISO感度)を設定できます。数値を高く設定すると、暗い場所でも明るく撮ることができます。

1 ▲(ISO) ボタンを押す



ISO感度上限設定

2 後ダイヤルを回してISO感度を選ぶ

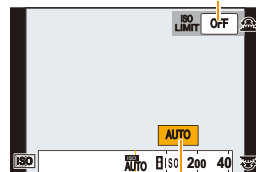
- [DISP.]ボタンを押すと、後ダイヤルと前ダイヤルの動作を入れ替えることができます。

3 前ダイヤルを回してISO感度の上限を設定する

- ISO感度が[AUTO]または[ISO]時に働きます。

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。



ISO感度

AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ●最大[ISO3200](フラッシュ使用時 [ISO1600])※1
ISO (インテリジェント)	被写体の動きを検知し、被写体の動きと明るさに応じて最適なISO感度とシャッタースピードをカメラが自動的に設定して、被写体のブレを抑えます。 ●最大[ISO3200](フラッシュ使用時 [ISO1600])※1 ●シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
L.100※2、200～25600	それぞれのISO感度に固定します。

※1 撮影メニューの[ISO感度上限設定] (P168)を[OFF]以外に設定しているときは、[ISO感度上限設定]の設定値までの範囲で自動的に設定します。

※2 [拡張ISO感度]を設定時のみ



ISO感度の性質

	200	25600
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

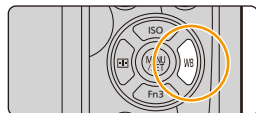
- [AUTO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については:(P132)
- シャッター優先AEモードとマニュアル露出モードでは、[ISO]は使えません。
- [多重露出]設定時は、[ISO3200]までの設定になります。
- クリエイティブ動画モード時、4Kフォト撮影時、フォーカスセレクト撮影時は、下記の設定項目になります。
[AUTO]、[200]～[6400]
- シーンガイドモードでは、[パノラマで撮る]設定時のみ ISO 感度を設定できます。

ホワイトバランスを調整する

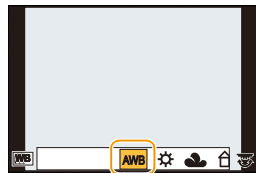
使えるモード: **P A S M**

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面では、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

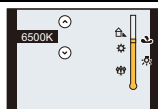
1 ▶(WB) ボタンを押す



2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ



AWB	自動調整
	晴天の屋外での撮影時
	曇りの屋外での撮影時
	屋外の晴天下の日陰での撮影時
	白熱灯下での撮影時
	フラッシュ光のみでの撮影時
	ホワイトバランスの設定値を設定します。撮影時の状況に合わせてお使いください。 1 ▲ ボタンを押す 2 画面中央の枠内に紙など白いものを映し、[MENU/SET] ボタンを押す ● ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。 ● シャッターボタンを押すことでも、同じ操作ができます。 ● 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスを設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。
	撮影場所のいろいろな光に合わせて自然な色合いの撮影ができるよう、手動で色温度を設定することができます。 1 ▲ ボタンを押す 2 ▲/▼ ボタンで色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ● [2500K]～[10000K]まで設定できます。



※動画撮影中、4Kフォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は[AWB]の動作になります。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

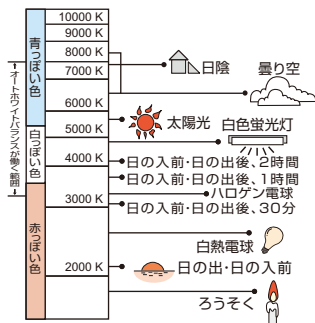


蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB] または [L1], [L2], [L3], [L4] をご使用ください。

- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲(P132)外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンガイドモードでは、シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス(ホワイトバランス微調整も含む)は [AWB] に戻ります。
- シーンガイドモードでは、それぞれのシーンに適した設定になります。

■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合や白に近い色がない場合、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AWB] 以外に設定して調整してください。



ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

1 ホワイトバランスを選び、▼ ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押してホワイトバランスを微調整する

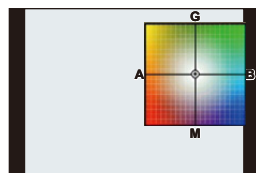
- ◀: A (アンバー: オレンジ系) ▲: G (グリーン: 緑系)
- ▶: B (ブルー: 青系) ▼: M (マゼンタ: 赤系)

- ホワイトバランスのグラフをタッチしても微調整することができます。

- [DISP.] ボタンを押すと中心点に戻ります。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスをA (アンバー) またはB (ブルー) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG (グリーン) またはM (マゼンタ) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに [+] (グリーン) または [-] (マゼンタ) が表示されます。



ホワイトバランスブラケット

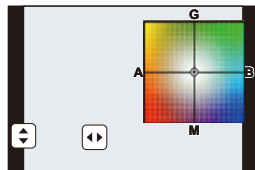
1 回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、異なった色合いの画像を自動的に3枚撮影します。

1 「ホワイトバランス微調整」の手順2でホワイトバランスを微調整し、後ダイヤルを回してブラケット設定を行う

後ダイヤルを右に回す:横方向(A~B)

後ダイヤルを左に回す:縦方向(G~M)

- /[]をタッチしてもブラケット設定することができます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- ホワイトバランスブラケットは、撮影メニューの[ブラケット]でも設定できます。(P120)



こんなときは使えません

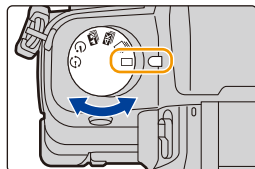
- 以下の場合、ホワイトバランスブラケットは動きません。
 - インテリジェントオート(または)モード
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
 - クリエイティブコントロールモード
 - 動画撮影中の写真記録
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 連写撮影時
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定時
 - [多重露出]設定時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時([自動撮影]設定時のみ)

ドライブモードを選ぶ

使えるモード:

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す



単写	シャッターボタンを押すと 1 枚だけ撮影します。
連写 (P100)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
4K フォト (P102)	シャッターボタンを押すと 4K フォトの撮影を行います。
フォーカスセレクト (P110)	シャッターボタンを押すとフォーカスセレクトの撮影を行います。
セルフタイマー (P115)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。
インターバル/コマ撮り撮影 (P116、118)	インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。

こんなときは使えません

- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定時は、[単写] に固定されます。

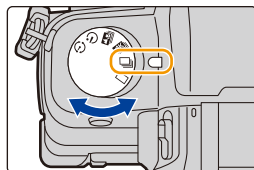
連写する

使えるモード:

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

- 連写速度を [SH] で撮影した画像は、ひとつの連写グループ (P155) として記録されます。

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる



2 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。



■ 連写速度を設定する

メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [撮影] → [連写速度]

		[SH] (超高速)	[H] (高速)	[M] (中速)	[L] (低速)
連写速度	メカシャッター 電子先幕	—	9 コマ/秒 (AFS 時) 6 コマ/秒 (AFC 時)	6 コマ/秒	2 コマ/秒
	電子シャッター	40 コマ/秒	10 コマ/秒 (AFS 時) 6 コマ/秒 (AFC 時)	6 コマ/秒	2 コマ/秒
連写中のライブビュー		なし	なし	あり	あり
連写 コマ数	RAW ファイルあり	—	45 コマ以上※		
	RAW ファイルなし	最大 120 コマ	300 コマ以上※		

※ 当社測定条件による撮影時。

途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。

撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。

- [連写速度] を [SH] に設定時は、記録画素数は [S] に固定されます。
- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
 - [記録画素数] (P161) / [クオリティ] (P162) / ISO 感度 (P95) / フォーカスモード (P81) / [フォーカス/リリース優先] (P178)

■ 連続撮影可能枚数について

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が表示されます。撮影速度を維持しながら撮影できる枚数の目安が確認できます。

例) 20 枚のとき: [r20]



- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。[r0] と表示されると、撮影速度が低下します。
- [r99+] と表示されているときは、100 枚以上の連続撮影ができます。

**連写とピントについて**

ピント合わせは、フォーカスモード(P81)とカスタムメニューの[フォーカス/リリース優先](P178)の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス/リリース優先	ピント合わせ
AFS	[AFS/AFF]:[フォーカス] [AFS/AFF]:[リリース]	1 コマ目
AFF ※1	[AFS/AFF]:[フォーカス] [AFS/AFF]:[リリース]	常時ピント※2 予測ピント※3
AFC ※1	[AFC]:[フォーカス] [AFC]:[リリース]	常時ピント※2 予測ピント※3
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス

※1 被写体が暗い場合や連写速度を[SH]に設定時は、ピントは1コマ目に固定されます。

※2 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

※3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

●シャッターボタンを押したまま連続撮影するときは、シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)の使用をお勧めします。シャッターリモコンについては、266ページをお読みください。

●[SH]または[H](フォーカスモードが[AFS]または[MF]の場合)設定時、1コマ目の露出に固定されます。

[H](フォーカスモードが[AFF]または[AFC]の場合)、[M]または[L]設定時、1コマごとに露出を調整します。

●連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。

**こんなときは使えません**

●以下の場合、連写は無効になります。

- シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
- クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
- 動画撮影時
- フラッシュ撮影時([連写速度]を[SH]に設定時を除く)
- [多重露出]設定時

4K フォトを撮る

使えるモード:

30コマ/秒の連写から一瞬を選び出し、約800万画素の写真を保存することができます。



① 4K フォトを撮る



② 写真を選び保存する



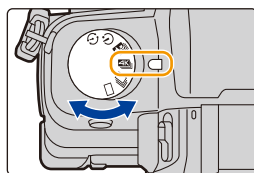
写真の完成

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P27)
- 4K フォト撮影時、画角が狭くなります。

1 ドライブモードダイヤルを [4K] に合わせる

2 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [撮影] → [4K フォト]
→ [撮影方法]

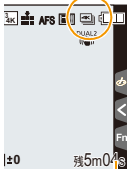
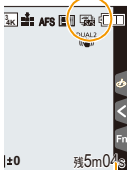
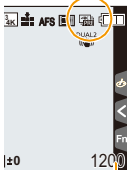


4K 連写	動きの速い被写体のベストな一瞬をとらえたいとき (スポーツ、飛行機、鉄道など) シャッターボタンを押している間、連写撮影します。 撮影中は、シャッター音が連続で鳴ります。	押したまま 記録される範囲
4K連写(S/S) S/S とは 「Start/Stop」の 略を表します。	いつ起こるかかわからないシャッターチャンスをとらえたいとき (植物、動物、子どもなど) シャッターボタンを押すと連写撮影を開始します。 もう一度押すと、連写撮影を終了します。開始音、終了音が鳴ります。	開始 (1 回目) 終了 (2 回目) 記録される範囲
4Kプリ連写	シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき (ボールを投げる瞬間など) シャッターボタンを押した瞬間の前後約 1 秒を連写撮影します。シャッター音が 1 回だけ鳴ります。	約 1 秒 約 1 秒 記録される範囲
	記録時間: 約 2 秒	音声記録: なし

※ 本機で再生する場合、音声は再生されません。

3 シャッターボタンを半押しし、メニューを終了する

4 4K フォトを撮影する

 4K 連写	1 シャッターボタンを半押しする 2 撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする ● 全押ししてから約 0.5 秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。 ● オートフォーカスで撮影時、撮影中は AF 連続動作が働き、ピントを合わせ続けます。 ● 撮影開始後にすぐにシャッターボタンを離すと、最大約 1.5 秒後まで記録される場合があります。	 記録可能時間
 4K 連写(S/S)	1 シャッターボタンを全押しし、撮影を開始する 2 もう一度、シャッターボタンを全押しし、撮影を終了する  写真を選び保存するときの目印を記録する 撮影中に [Fn2] ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。(1 回の撮影に最大 40 個まで) 4K 連写ファイルから写真を選び保存するときに、マーカーを付けた位置へスキップできます。	 記録可能時間
 4K プリ連写	シャッターボタンを全押しする ● オートフォーカス時はピントを合わせ続けます。マニュアル露出モード以外では、露出も合わせ続けます。 ● [Fn2] (4K プリ連写) で撮影時、通常の撮影画面と比べて滑らかさが劣る場合があります。  撮影のテクニック 被写体が中央にないときなどで、ピントや露出を固定したい場合は、AF/AE ロックをお使いください。(P93)	 撮影可能回数

- 4K フォトの連写撮影を行い、MP4 形式の 4K 連写ファイルが記録されます。
- オートレビューを設定している場合、写真を選び画面が自動で表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。
- 撮影した 4K 連写ファイルから写真を選び保存する方法は: (P107)
- 比較明合成 (P197) を行う場合、カメラのブレを抑えるために、三脚とシャッターリモコン (別売: DMW-RSL1) (P266) の使用をお勧めします。

**本機の温度やバッテリーの消耗について**

- 周囲の温度が高かったり連続で4K フォトの撮影を行ったとき、[△]が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。([📷])(4K プリ連写)では、[📷](4K 連写)に切り換わり、停止します)本機の温度が下がるまでお待ちください。
- [📷](4K プリ連写)に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。撮影するときだけ[📷](4K プリ連写)に設定してください。

- 以下の条件ではファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)

SDHC メモリーカード使用時: ファイルサイズが4 GB を超える場合

SDXC メモリーカード使用時: 連続記録時間が3 時間 4 分を超える場合、
ファイルサイズが96 GB を超える場合

ループ記録を設定する(4K 連写(S/S))

[📷](4K 連写(S/S)) で撮影時は、古いデータを消去しながら記録できます。カードを交換せずにシャッターチャンス待ちながら撮影できます。

- 撮影を開始すると、4K 連写ファイルが約2 分ごとに分割して記録されます。

最新の約10 分間(最大約12 分間)が記録されます。それ以前の部分は消去されます。

メニューを設定する(P47)

MENU ボタン→📷[撮影]→[4K フォト]→[ループ記録]

設定: [ON]、[OFF]

- 十分に充電されたバッテリーまたはAC アダプター(別売)の使用をお勧めします。
- 連続して撮影できるのは、12 時間までです。
- 撮影中は[🔄]が表示されます。
- 撮影中は記録可能時間、記録経過時間は表示されません。
- カードの空き容量が不足する場合、ループ記録をすることができません。

4K フォトについてのお知らせ

■ 横縦比を変更するには

撮影メニューの[画像横縦比]を設定することで、4K フォトの横縦比を設定できます。

■ 被写体ブレを抑えて撮るには

シャッタースピードを速くすることで、被写体ブレを抑えることができます。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 晴天の屋外でのシャッタースピードの目安：1/1000 秒以上
- シャッタースピードを速くすると、ISO感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。

■ 4K フォト撮影時のシャッター音について

- [4K] (4K 連写) や [4K] (4K プリ連写) で撮影時、[電子シャッター音音量] と [電子シャッター音音色] で、電子シャッター音を設定できます。(P185)
- [4K] (4K 連写 (S/S)) で撮影時、開始音/終了音は、[電子音音量] で音量を設定できます。
- サイレントモードと組み合わせて 4K フォトを撮影すると、静かに高速連写撮影ができます。

■ 4K フォトが苦手な撮影シーン

極端に明るい場所や室内での撮影

極端に明るい場所の被写体を撮影したり、蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

水平方向に速く動く被写体

水平方向に速く動く被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。

■ 4K フォトでのカメラの設定について

4K フォトの撮影に最適な設定に自動で切り換わります。

- 以下の撮影メニューは固定されます。

記録画素数	[4K] (8M)
	[4:3]: 3328 × 2496
	[3:2]: 3504 × 2336
	[16:9]: 3840 × 2160
	[1:1]: 2880 × 2880

クオリティ	[
シャッター方式	[電子シャッター]

- 4K 連写ファイルは以下の設定で撮影されます。

動画メニューの設定は、4K 連写ファイルに反映されません。

記録方式	[MP4]
画質設定	[4K/100M/30p]

AF 連続動作	[ON]
輝度レベル設定	[0-255]

- 4K フォト撮影時、以下の機能は、写真撮影時と設定できる範囲が異なります。
 - シャッタースピード: 1/30 ~ 1/16000 – ISO 感度: [AUTO]、200 ~ 6400
 - 露出補正: -3 EV ~ +3 EV
- 4K フォト撮影時、以下の機能は使用できません。
 - フラッシュ撮影 – オートフォーカスモード([+])
 - ブラケット撮影 – MF アシスト([MF] 4K プリ連写のみ)
 - プログラムシフト – ホワイトバランス([WB])
 - フォーカスモード(AFF)

- 以下のメニューは設定できません。

撮影	[記録画素数]/[クオリティ]/[AFS/AFF]/[ブラケット]/[i手持ち夜景]/[iHDR]/[HDR]/[パノラマ設定]/[シャッター方式]/[シャッターディレイ]/[フラッシュ設定]/[拡張 ISO 感度]/[長秒ノイズ除去]/[シェーディング補正]/[EX テレコン(写真)]/[色空間]/[個人認証]/[プロフィール設定]
カスタム	[記録枠表示]
セットアップ	[エコモード]([Eco] 4K プリ連写のみ)

- 4K フォト撮影時、次のようになります。
 - [超解像]の[拡張]は[弱]に切り換わります
 - [トラベル日付]の[旅行先]は記録できません
 - [フィルターなし同時記録]は設定できません
 - HDMI 出力はできません
- [4K] (4K プリ連写)で撮影時、[パワーズームレンズ]の[ステップズーム]は動きません。
- インテリジェントオートモードでのシーン判別は、動画撮影時と同じシーン判別になります。
- ドライブモードを4K フォトに設定時、動画撮影中に写真を撮影することはできません。([P] (写真優先))設定時のみ)

こんなときは使えません

- 以下の場合、4K フォトは無効になります。
 - シーンガイドモードの[逆光でしっかり撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - 動画撮影時
 - [多重露出]設定時

4K 連写ファイルから写真を選び保存する

4K 連写ファイルから写真を選び出して保存する方法を説明します。

4K 連写ファイルの撮影方法については: (P102)

1 再生画面で [] アイコンが付いた画像を選び、

▲ ボタンを押す

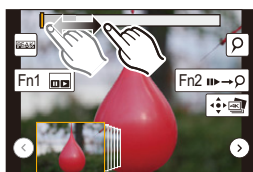
- アイコン [] をタッチしても同じ操作ができます。
- [] (4K プリ連写) で撮影した場合は、手順 **3** へ進んでください。



2 スライダーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ

- スライドビュー画面での操作方法は、108 ページをお読みください。
- [] (4K 連写) または [] (4K 連写 (S/S)) で撮影した場合は、[] (Fn1) をタッチすると 4K 連写再生画面でシーンを選ぶこともできます。(P109)

スライドビュー画面



3 ドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

- ◀/▶ を押すことでも、同じ操作ができます。



4 [] をタッチし、写真を保存する

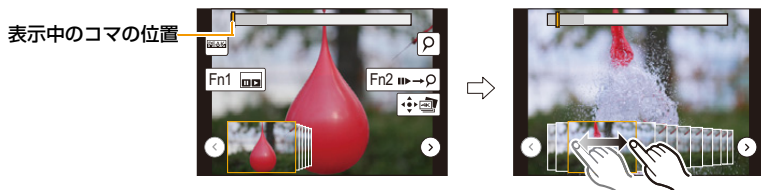


再生メニューの[4K フォト一括保存]を使うと、5秒分の写真を一括保存することができます。(P197)

- 写真は JPEG 形式で保存されます。
- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

→ 続く

<スライドビュー画面>



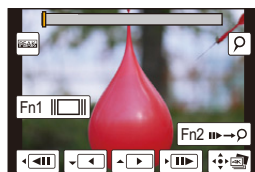
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶	ドラッグ	写真として保存するコマの選択 ●60枚(連写時間約2秒)から選べます。
◀/▶を選択 →[MENU/SET]	◀/▶	前または後のコマ(45枚)をスライドビューで表示 ●続けて押すと、さらに前または後を表示します。
—	タッチ/ドラッグ	表示するコマの選択、前後のコマをスライドビューで表示
👉👈	ピンチアウト/ピンチイン	表示の拡大/縮小
👉👈	—	拡大したままコマを選択(拡大表示中)
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動(拡大表示中)
[Fn1]	📺	4K連写再生画面を表示
[Fn2]	📌→🔍	マーカー操作への切り換え
—	🔍/📌	マーカーの追加/削除
—	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示(ピーキング) ●[OFF]→[ON](低)→[ON](高)の順に切り換わります。
[MENU/SET]	📷	写真の保存

- マーカー操作中は、設定したマーカーや4K連写ファイルの始めと終わりにスキップする操作が可能です。もう一度[Fn2]ボタンを押すと、元の操作に戻ります。

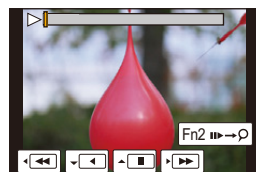
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▶	▶	次のマーカーへ移動
◀	◀	前のマーカーへ移動

[→ 続く](#)

< 4K連写再生画面 >



一時停止中



連続再生中

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/⏸	連続再生 / 一時停止 (連続再生中)
▼	◀/⏸	連続戻し再生 / 一時停止 (連続戻し再生中)
▶	⏭/⏸	早送り再生 / コマ送り (一時停止中)
◀	⏮/◀	早戻し再生 / コマ戻し (一時停止中)
—	タッチ / ドラッグ	表示するコマの選択 (一時停止中)
🔄	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小 (一時停止中)
🔄	—	拡大したままコマを選択 (拡大表示中)
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動 (拡大表示中)
[Fn1]	⏮/⏭	スライドビュー画面を表示 (一時停止中)
[Fn2]	⏭→🔍	マーカー操作への切り換え
—	🔍/🗑	マーカーの追加 / 削除
—	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示 (ピーキング) ● [OFF] → [ON] (低) → [ON] (高) の順に切り換わります。
[MENU/SET]	📁/💾	写真の保存 (一時停止中)

- 画面を2回タッチすると拡大表示されます。拡大時に2回タッチすると元の表示に戻ります。
- パソコンで4K連写ファイルから写真を選び保存する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P252)をご使用ください。ただし、「PHOTOfunSTUDIO」で4K連写ファイルを動画として編集することはできません。

■ テレビの画面で写真を選び保存する

- [HDMI出力解像度(再生時)]を[AUTO]または[4K]に設定してください。4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO]に設定してください。
- [テレビ接続設定]の[ピエラリンク]を[OFF]に設定してください。
- テレビに接続して表示する場合、4K連写再生画面のみが表示されます。
- 4K動画対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて再生できるのは、[画像横縦比]を[16:9]で撮影した4K連写ファイルのみです。(2016年9月現在)

撮影後にピントを操作する

(フォーカスセレクト/フォーカス合成)

使えるモード:

自動でピント位置を変化させながら 4K フォトと同じ画質の連写撮影ができます。撮影後に画面内の位置を選ぶことで、その位置にピントが合った写真を保存できます。ピントが異なる複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げることでもあります。(フォーカス合成) 動きのない被写体に適した機能です。



自動でピントをすらしながら 4K フォト連写



合わせたいピント位置でタッチ

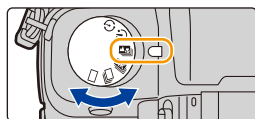


好みのピント位置での写真が完成

- フォーカス合成を行う場合は、三脚の使用をお勧めします。
- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P27)
- 撮影時は画角が狭くなります。

フォーカスセレクト撮影をする

1 ドライブモードダイヤルを に合わせる



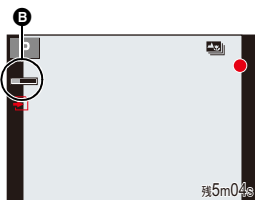
2 構図を決めて、シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスが働き、画面内のピント位置を検出します。(画面の端を除く)
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示 が点滅し、撮影できません。



3 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- ピント位置を自動で変化させながら撮影します。アイコン が消えると、撮影は自動で終了します。



シャッターボタン半押しから撮影終了までは、

- 被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。
- ズーム操作をしないでください。
- MP4形式の動画で記録されます。(音声は記録されません)
- オートレビューを設定している場合、ピントを合わせる位置を選ぶ画面が表示されます。(P112)



本機の温度について

- 周囲の温度が高い場合や連続でフォーカスセレクト撮影を行った場合、本機の温度が上昇した場合は、本機の保護のため、が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

■ フォーカスセレクト撮影の制限事項

- 4K フォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニュー設定に制限があります。
詳しくは、105 ページの「4K フォトでのカメラの設定について」をお読みください。
- フォーカスセレクト撮影時は、4K フォトの制限事項に加え、以下が制限されます。
 - フォーカスモードは [AFS] に固定されます
 - オートフォーカスモードは設定できません
 - 動画撮影はできません
 - [デジタルズーム] は使えません
 - 以下のカスタムメニューは設定できません。
[シャッター半押し AF]/[フォーカス/リリース優先]/[残枚数/残時間切換]/[動画ボタン]



こんなときは使えません

- 以下の場合、フォーカスセレクト撮影は無効になります。
 - シーンガイドモードの [逆光でしっかり撮る]/[水面をキラキラ撮る]/
[夜景をアーティストチックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/
[夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[花をふんわり撮る]/
[パノラマで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの [ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/
[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - [多重露出] 設定時

ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する

1 再生画面で [ピント] アイコンが付いた画像を選び、▲ボタンを押す

- アイコン [ピント] をタッチしても同じ操作ができます。



2 ピントを合わせる位置をタッチする

- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合は、赤い枠が表示されます。写真を保存することができません。
- 画面の端は選べません。



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶/🔄	タッチ	ピントの位置の選択 ●拡大表示中は選択できません。
🔍	🔍	表示の拡大
🔍	🔍	表示の縮小(拡大表示中)
[Fn1]	📷	フォーカス合成操作への切り換え(P113)
[Fn2]	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示(ピーキング) ●[OFF]→[ON](低)→[ON](高)の順に切り換わります。
[MENU/SET]	📷	写真の保存

3 [ピーキング] をタッチし、写真を保存する

- 写真は JPEG 形式で保存されます。



- HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続し、テレビの画面で写真を選んで保存することはできません。

複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げる（フォーカス合成）

フォーカスセレクトで撮影した画像から複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げた1枚の写真を作ります。



近い ← ピント → 遠い

- 1 「ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する」の手順2で、**[Fn]** をタッチする
 ● **[Fn1]** ボタンを押すことでも、同じ操作ができます。
- 2 合成方法をタッチする

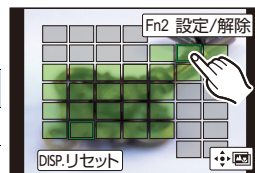
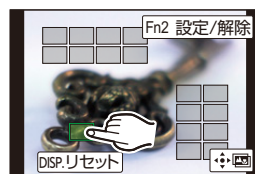
自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。 ● 近距離側の写真を優先して選びます。 ● 選択すると合成が実行され写真が保存されます。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を1枚の写真に合成します。

- 3 （[指定範囲合成] 選択時）
ピントを合わせる位置をタッチする

- 2点以上の位置を選んでください。
- 2点のピントの間にピントがある位置も一緒に選択され、ピントが合う範囲が表示されます。
- 選択すると不自然な写真に合成される場合がある範囲、または選択できない範囲が、グレーで表示されます。

- もう一度、タッチすると選択が解除されます。
- 画面をドラッグすると、位置を続けて選択できます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	位置の選択
[Fn2]	[設定/解除]	位置の設定/解除
[DISP.]	[全範囲]	すべての位置を選択 (位置の選択前)
	[リセット]	すべての選択を解除 (位置の選択後)
[MENU/SET]		写真の合成・保存



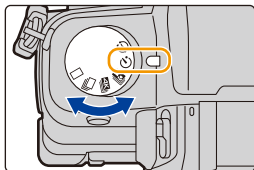
4 をタッチし、写真を合成し保存する

- 写真は JPEG 形式で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。
- 手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角が僅かに狭くなります。
- 撮影中に被写体が動いたり、被写体間の距離の差が大きい場合、不自然な写真に合成される場合があります。
- マクロレンズで撮影時など、ボケ具合の大きな写真は、不自然な写真に合成される場合があります。絞り優先 AE モードまたはマニュアル露出モードで絞り値を大きくして撮影することで、不自然さが軽減する場合があります。
- 他機で撮影した画像は、フォーカス合成できない場合があります。

セルフタイマーを使って撮る

使えるモード:

1 ドライブモードダイヤルを[]に合わせる

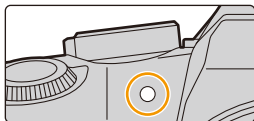


2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。



- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。



■ セルフタイマーの時間を設定する

メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [撮影] → [セルフタイマー]

	10秒後に撮影します。
	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
	2秒後に撮影します。 ●三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。



こんなときは使えません

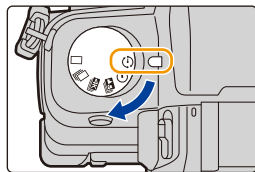
- 以下の場合、 に設定できません。
 - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]を[ON]に設定時
 - ブラケット撮影時
 - [多重露出]設定時
- 以下の場合、セルフタイマーは無効になります。
 - 動画撮影時

インターバル撮影 / コマ撮りアニメで撮る

使えるモード:

インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影できます。撮影した写真を動画にすることもできます。

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P34)
- 撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P155)



■ 撮影前に設定画面を表示するには

- 1 ドライブモードダイヤルを [Q] に合わせる
- 2 設定画面を表示する

ボタン操作	タッチ操作
[MENU/SET] ※ → [MENU/SET]	/

※ 撮影メニューで [インターバル / コマ撮り撮影] が選ばれている画面が表示されます。(表示されるのは、ドライブモードダイヤルを切り換えたあとなどの 1 回目だけになります)

■ インターバル撮影とコマ撮りアニメを切り換えるには

撮影メニューの [インターバル / コマ撮り撮影] の [撮影方法] で切り換えることができます。

一定の間隔で自動的に撮影する (インターバル撮影)

使えるモード:

時間経過を追って動植物などの被写体を自動的に撮影し、動画を作成することができます。

- 1 ドライブモードダイヤルを [Q] に合わせる
- 2 設定画面を表示する (P116)

- インターバル撮影が選ばれていない場合は、切り換えてください。(P116)



開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	最大23時間59分後まで設定可能です。 ◀/▶ ボタンで項目(時・分)を選び、▲/▼ ボタンで開始時刻を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す
撮影間隔 撮影枚数	撮影間隔と撮影枚数を設定できます。	
	◀/▶: 項目(分・秒・枚)選択 ▲/▼: 設定 [MENU/SET]: 決定	

- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できない場合があります。

3 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。表示されるまで[/📷]を押すことでも、同じ操作ができます。



4 シャッターボタンを全押しする

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中、一定時間何も操作しないでくと、電源が自動的に切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手動で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- 撮影待機中の操作(電源が入った状態)

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
[Fn2]		一時停止または終了の選択画面を表示
		再開または終了の選択画面を表示(一時停止中)

- 撮影終了後、続けて動画を作成する確認画面が表示されます。
作成する場合は、[はい]を選んでください。
動画の作成については、119 ページをお読みください。

■ インターバル撮影の設定を変更するには

撮影メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]で設定を変更できます。

- システム用途(監視カメラ)の機能ではありません。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - バッテリー残量がなくなったとき
 - 電源スイッチを[OFF]にしたとき
 設定時間中であれば、一時停止中にバッテリー、カードを交換し、電源スイッチを[ON]にして再開することができます。(ただし、再開後に撮影された画像は別のグループ画像として記録されます)なお、バッテリー、カードを交換するときは、電源スイッチを[OFF]にして行ってください。
- [撮影間隔]を長く設定し、撮影待機中に電源が自動的に切れる場合は、オートフォーカスでインターバル撮影することをお勧めします。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[インターバル撮影]は使えません。
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]/[パノラマで撮る]
 - [多重露出]設定時

ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ)

使えるモード:

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。

1 ドライブモードダイヤルを [] に合わせる

2 設定画面を表示する (P116)

- コマ撮りアニメが選ばれていない場合は、切り換えてください。
(P116)



自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。
	OFF	1コマずつ手で写真を撮影します。
撮影間隔	([自動撮影] を [ON] に設定時のみ) ◀/▶ ボタンで撮影間隔(秒)を選び、▲/▼ ボタンで設定し、 [MENU/SET] ボタンを押す	

3 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。表示されるまで [/] を押す
ことでも、同じ操作ができます。

4 シャッターボタンを全押しする

- 最大 9999 コマまで撮影できます。

5 被写体を動かし、構図を決める

- 同様に撮影を繰り返してください。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい] を選ぶと続きから撮影できます。

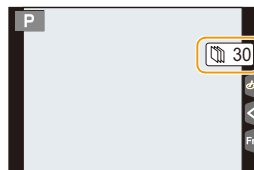


素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には 2 つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- [] ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は [] ボタンを押して
消去することができます。もう一度 [] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

6 [] をタッチして撮影を終了する

- 撮影メニューから [インターバル/コマ撮り撮影] を選び、
[MENU/SET] ボタンを押しても終了できます。
- [自動撮影] を [ON] に設定時は、確認画面で [終了] を選んで
ください。([一時停止] を選んだ場合、撮影を再開するには
シャッターボタンを全押ししてください)
- 撮影終了後、続けて動画を作成する確認画面が表示されます。
作成する場合は、[はい] を選んでください。
動画の作成については、119 ページをお読みください。



■ コマ撮りアニメの設定を変更するには

撮影メニューの[インターバル/コマ撮り撮影]で設定を変更できます。

■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順2で[続きから撮る]を選ぶと、[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで[MENU/SET]ボタンを押してください。

- フラッシュ撮影したときなど、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 1枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。

🚫 こんなときは使えません

- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]は使えません。
 - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
 - [多重露出]設定時
- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]の[自動撮影]は使えません。
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]

撮影した写真で動画を作成する

撮影終了後に動画を作成する場合は、以下の操作を行ってください。

1 動画の作成方法を選ぶ

- 記録方式は [MP4] になります。

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1秒あたりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。
動画化順番	[撮影順]: 撮影した順番で画像をつなぎます。 [逆順]: 撮影したのとは逆の順番で画像をつなぎます。

2 ▲/▼ ボタンで [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 再生メニューの[インターバル動画作成] (P201)、[コマ撮りアニメ作成] (P202)からも動画化できます。
- 画質設定を[4K/30p]または[4K/24p]に設定して動画を作成する場合、記録時間が29分59秒を超える動画は作成できません。
 - SDHCメモリーカード使用時は、ファイルサイズが4 GBを超える場合も動画作成できません。
 - SDXCメモリーカードを使用すると、ファイルサイズが4 GBを超えても動画作成できます。
- 画質設定を[FHD/60p]、[FHD/30p]または[HD/30p]に設定して動画を作成する場合、記録時間が29分59秒を超える、またはファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。

設定を自動的に変えながら撮る(ブラケット撮影)

使えるモード:

シャッターボタンを押すと、自動的に設定を変えて複数枚の画像を撮影できます。

1 メニューを設定する(P47)

MENU ボタン → [撮影] → [ブラケット] → [ブラケット種類]

 (露出ブラケット)	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。 (P121)
※ (絞りブラケット)	シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。(P122)
FOCUS (フォーカスブラケット)	シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。(P122)
 (ホワイトバランスブラケット)	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動的に3枚撮影します。(P98)

※絞り優先AEモード時。または、マニュアル露出モードでISO感度を[AUTO]に設定時に選択できます。

2 ▲/▼ ボタンで [詳細設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [詳細設定] については、各機能のページをお読みください。
- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

3 ピントを合わせて撮影する

- 露出ブラケット設定時は、設定枚数分がすべて撮影されるまでブラケット表示が点滅します。設定枚数分がすべて撮影されるまでにブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にした場合は、1枚目からの撮影になります。

■ ブラケットを解除するには
手順1で[OFF]を設定する。

続く

こんなときは使えません

- 以下の場合、ブラケット撮影は無効になります。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[花をぶんわり撮る]/[パノラマで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - フラッシュ撮影時(ホワイトバランスブラケットを除く)
 - 動画撮影時
 - 連写撮影時([連写速度]を[SH]に設定時のみ)
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [多重露出]設定時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時([自動撮影]設定時のみ)

露出ブラケット

■ 詳細設定(120 ページの手順2)

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 [3・1/3](3枚撮影・1/3 EV 幅)～[7・1](7枚撮影・1 EV 幅)
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法※	[□]: シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。 [☑]: 1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

※ 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

補正幅: [3・1 /3]、ブラケット順序: [0/-/+] 設定時の例

1 枚目



± 0 EV

2 枚目



- 1/3 EV

3 枚目



+ 1/3 EV

- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

絞りブラケット

撮影モード: **[A]** **[M]**

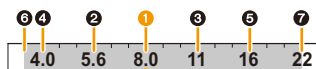
■ 詳細設定(120 ページの手順2)

撮影枚数	[3]、[5]: 開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。 [ALL]: すべての絞り値で撮影。
------	--

- 連写設定時は、シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

絞り値は使用するレンズによって変わります。

交換レンズ(H-FS12060)装着時の例



開始位置を F8.0 に設定時

① 1 枚目、② 2 枚目、③ 3 枚目…⑦ 7 枚目

フォーカスブラケット

■ 詳細設定(120 ページの手順2)

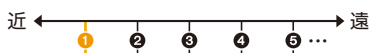
補正幅	ピント合わせの幅を設定します。 ● 1つの補正幅でピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置に近い場合は短く、遠い場合は長くなります。
撮影枚数※	撮影枚数を設定します。
ブラケット順序	[0/-/+]: 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。 [0/+]: 開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらすことをお勧めします。市販のソフトウェアで被写界深度の深い写真に合成する場合は、設定することをお勧めします。

※ 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連続撮影されます。

ブラケット順序: [0/-/+] 設定時の例



ブラケット順序: [0/+] 設定時の例



① 1 枚目、② 2 枚目…⑤ 5 枚目…

- フォーカスブラケット撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P155)
- 市販のソフトウェアで合成する場合、撮影した写真を確認しながら[補正幅]や[撮影枚数]を設定することをお勧めします。開放絞り値の小さいレンズを使用時は、多くの枚数が必要になる場合があります。

手ブレを補正する

本機ではレンズ内手ブレ補正、ボディ内手ブレ補正が使えます。レンズとボディの手ブレ補正を組み合わせるとより効果的にブレを抑えることができます。(Dual I.S. 方式)

より補正効果の高い Dual I.S.2 (DUAL2、DUAL2、DUAL2) にも対応しています。

動画撮影時は、レンズ、ボディ、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使えます。

- お使いのレンズにより、動く手ブレ補正の種類が変わります。撮影画面に表示されるアイコンは、現在働いている手ブレ補正の種類を表します。

	写真撮影時	動画撮影時
Dual I.S. 方式に対応した当社製レンズ (マイクロフォーサーズ規格準拠) ●対応レンズの最新情報は、ホームページをご覧ください。(P19) ●対応レンズを使用しても撮影画面のアイコンに [DUAL2] や [DUAL] が表示されない場合は、レンズのファームウェアを最新のバージョンにしてください。(P19)	レンズ+ボディ (Dual I.S.)  /  / 	レンズ+ボディ (Dual I.S.)  /  、 5 軸ハイブリッド  /  ※
手ブレ補正機能に対応したレンズ (マイクロフォーサーズ規格/フォーサーズ規格準拠)	レンズまたはボディ  / 	レンズまたはボディ  、 5 軸ハイブリッド  ※
手ブレ補正機能に非対応のレンズ (マイクロフォーサーズ規格/フォーサーズ規格準拠)	ボディ ( / )	ボディ ()、 5 軸ハイブリッド  ※
ライカレンズ用マウントアダプター(別売)か、 他社製マウントアダプターを使用したとき		

※ [電子補正(動画)] を [ON] に設定時



手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示 [□] が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマー (P115)、シャッターリモコン(別売: DMW-RSL1) (P266) などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。

– スローシンクロ

– 赤目軽減スローシンクロ

– シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]

– シャッタースピードを遅くしたとき

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**   

- O.I.S. スイッチがある交換レンズの場合、レンズの O.I.S. スイッチを [ON] にすることで手ブレ補正機能が働くように設定することができます。(お買い上げ時は  に設定されています)

メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [撮影] → [手ブレ補正]

動作設定	 (通常)	上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。	
	 (流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り (一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法) するときに適しています。	
	OFF	手ブレ補正は働きません。() ● O.I.S. スイッチがあるレンズをご使用の場合は、レンズの O.I.S. スイッチを [OFF] にしてください。	
電子補正 (動画)	動画撮影時の上下方向、左右方向、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレをレンズ、ボディ、電子式を組み合わせで補正します。(5 軸ハイブリッド手ブレ補正) [ON]、[OFF] ● [ON] に設定時は、撮影した動画の画角が狭くなる場合があります。		
焦点距離設定	レンズの焦点距離が自動設定されない場合に手動で設定できます。(P125) ● 焦点距離を手動で設定時は、電源スイッチを [ON] にすると焦点距離設定の確認メッセージが表示されます。[はい] を選ぶと、[手ブレ補正] の [焦点距離設定] が設定できます。		

レンズの焦点距離を設定する

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [撮影] → [手ブレ補正] → [焦点距離設定]

2 ◀/▶ ボタンでお使いのレンズの焦点距離を選ぶ

- 焦点距離は 8 mm ~ 1000 mm まで設定できます。
- お使いのレンズの焦点距離の設定値がない場合は、お使いのレンズの焦点距離に近い設定値を選んでください。

3 [MENU/SET] ボタンを押す



■ 焦点距離を登録する

1 「レンズの焦点距離を設定する」の手順2を行う

2 ▼ ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンで上書き登録する焦点距離を選び、[DISP.]

ボタンを押す

- 焦点距離の設定は 3 つまで登録できます。



■ 登録済みの焦点距離から設定する

1 「レンズの焦点距離を設定する」の手順2の画面で ▼ ボタンを押す

2 ◀/▶ ボタンで登録済みの焦点距離を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 手ブレ補正が働いているときに、動作音や振動がする場合がありますが故障ではありません。
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正を [OFF] にすることをお勧めします。
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
 - 手ブレが大きいとき、ズーム倍率が高いとき
 - デジタルズーム使用時
 - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
 - 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- 以下の場合、[流し撮り] での流し撮りの効果が出にくくなります。
 - 夏の日中など、明るいところ
 - シャッタースピードが 1/100 より速い場合
 - 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合 (背景が流れません)
 - 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

こんなときは使えません

- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] では、[通常] にしていても、[流し撮り] に切り換わります。
- 次の場合は、[流し撮り] にしていても、[通常] に切り換わります。
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
- 以下の場合、5軸ハイブリッド手ブレ補正機能は使えません。
 - デジタルズーム使用時

ズームを使って撮る

光学ズーム

使えるモード：

人や物を大きく撮ったり風景などを広く撮ることができます。

T 側：望遠、大きく撮る

W 側：広角、広く撮る

ズームリングのある交換レンズ (H-FS12060)	ズームリングを回す。	
パワーズーム (電動式ズーム)に対応した交換レンズ	ズームレバーを動かす。 (動かす幅によって、ズームスピードが変わります) •ファンクションボタンに [ズーム操作] を割り当てると、◀/▶ ボタンでゆっくり、▲/▼ ボタンで速く、光学ズーム操作ができます。 操作方法については、127 ページの手順 2 以降をお読みください。	
ズームに対応していない交換レンズ	光学ズームはできません。	

望遠効果を上げる

EX テレコン

使えるモード：

EXテレコンを使うと、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

写真撮影時	[EX テレコン(写真)]	1.2 倍：[EXM] ([16:9]) 1.4 倍：[EXM] ([4:3], [3:2], [1:1]) 2.0 倍：[EXS] ([4:3], [3:2], [16:9], [1:1])
●記録画素数を [M] または [S] ([EX] 付きの記録画素数) に、クオリティを [H] または [L] に設定してください。		
動画撮影時	[EX テレコン(動画)]	2.4 倍 ([画質設定] のサイズが [FHD] の動画) 3.6 倍 ([画質設定] のサイズが [HD] の動画)

■ ズーム倍率を段階的に拡大する

- 写真撮影時のみ使えます。

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [ZOOM]

2 ファンクションボタンに [ズーム操作] を設定する (P51)

3 ファンクションボタンを押す

4 ◀/▶ ボタンまたは ▲/▼ ボタンを押す

▲/▶ ボタン: T 側 (望遠、大きく撮る)

▼/◀ ボタン: W 側 (広角、広く撮る)

- もう一度ファンクションボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。



光学ズーム領域 (焦点距離)※ 写真時の EX テレコン領域 (ズーム倍率)

※ パワースームに対応した交換レンズをお使いの場合のみ表示されます。

- ズームスピードは一定になります。
- ズーム倍率は目安です。

■ ズーム倍率を最大に固定する

メニューを設定する (P47)

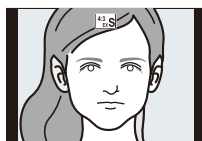
MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [TELE CONV.]

MENU ボタン → [動画] → [EX テレコン(動画)] → [ON]

[OFF]



[TELE CONV.] または [ON]



→ 続く

- カスタムメニューの[Fnボタン設定](P51)に[EXテレコン]を設定すると、設定したファンクションボタンを押して写真と動画のEXテレコンの設定画面を表示できます。画面表示中に[DISP.]ボタンを押すと[記録画素数]の設定を変更できます。



こんなときは使えません

- 以下の場合、EXテレコンは使えません。
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]/[パノラマで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]/[トイポップ]
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定時
 - 連写撮影時([連写速度]を[SH]に設定時のみ)
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [HDR]を[ON]に設定時
 - [多重露出]設定時
 - [画質設定]のサイズが[4K]のMP4動画
 - 4K ライブクロップ設定時
 - HDMI 出力時(クリエイティブ動画モードを除く)

デジタルズーム

使えるモード:

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大4倍まで拡大できます。(段階的な拡大はできません)

MENU ボタン → [撮影] → [デジタルズーム] → [4×]/[2×]

- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー(P115)を使って撮影することをお勧めします。



こんなときは使えません

- 以下の場合、デジタルズームは使えません。
 - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]/[トイポップ]/[ジオラマ]
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [多重露出]設定時

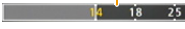
パワーズームレンズの設定を変更する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**   

パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。

- パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズをお使いの場合のみ選択できます。

MENU ボタン → **f/c**[カスタム] → **[パワーズームレンズ]**

焦点距離表示	ズーム操作をすると、焦点距離が表示され、ズーム位置を確認することができます。  焦点距離表示 現在の焦点距離
ステップズーム	[ON]に設定してズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。 ●動画撮影時、4Kフォトの[](4K プリ連写)で撮影時は動きません。 ステップズーム表示 
ズーム速度	ズーム操作時のズームスピードを設定することができます。 ●[ステップズーム]を[ON]に設定すると、ズームスピードは変わりません。 [写真]: [H](高速)、[M](中速)、[L](低速) [動画]: [H](高速)、[M](中速)、[L](低速)
ズームリング操作	ズームレバーとズームリングのあるパワーズーム対応交換レンズを装着しているときのみ選択できます。[OFF]に設定すると、誤操作を防止するためにズームリングでの操作を無効にできます。

タッチ操作でズームを使う(タッチズーム)

(光学ズーム、写真時のEXテレコンのみ操作できます)

- パワーズームに対応していない交換レンズ(H-FS12060)をお使いの場合は、[EXテレコン(写真)](P126)を[ZOOM]に設定すると、写真時のEXテレコンのみ操作できます。

1 [Z]をタッチする

2 [T/W]をタッチする

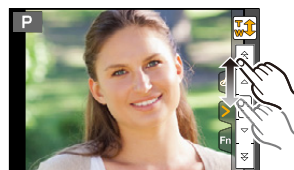
- スライダーが表示されます。



3 スライダーをドラッグして、ズーム操作を行う

- タッチする位置により、ズームスピードは変わります。

[▼]/[▲]	ゆっくりズームする
[▼]/[▲]	速くズームする



- もう一度[T/W]をタッチすると、タッチズーム操作を終了します。

⚠ こんなときは使えません

- 4Kライブクロップ撮影中は、タッチズームは使えません。

フラッシュを使って撮る

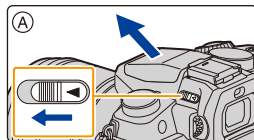
使えるモード:

■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる

内蔵フラッシュを開くと、フラッシュ撮影が可能になります。

① 開くとき

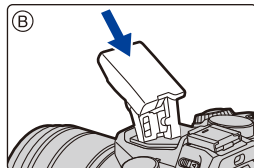
フラッシュオープンレバーをスライドさせる



② 閉じるとき

フラッシュをカチッと音がするまで押す

- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、 に固定されます。



- フラッシュを開くときに、フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。
- フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。



以下の場合、発光禁止 () に固定されます

- 動画撮影時
- 連写撮影時 ([連写速度] を [SH] に設定時のみ)
- 4K フォト撮影時
- フォーカスセレクト撮影時
- 電子シャッター使用時
- [HDR] を [ON] に設定時
- [サイレントモード] を [ON] に設定時
- [フィルター設定] の [フィルター効果] で画像効果設定時



フラッシュを上手に使うには

- フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗くなり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

■ フラッシュ撮影可能範囲

使用するレンズによってはフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光がレンズの画角をカバーできないため、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。

フラッシュ光が遮られる被写体との距離やフラッシュ光が届く距離は、使用するレンズによって異なります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。



交換レンズ(H-FS12060)装着時	
W端時	T端時
約 0.5 m～約 7.3 m	約 0.3 m～約 4.5 m

- ISO感度を[AUTO]、[ISO感度上限設定] (P168) を [OFF] に設定時の範囲です。
- フラッシュに物を近づけたり、発光中にフラッシュを閉じないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- 撮影を繰り返すと、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては: (P263)

フラッシュの機能を設定する

発光モードを切り換える

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**   

発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [発光モード]

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの光量比を手動で設定します。[TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図通りの撮影ができます。 ●[マニュアル]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに光量比([1/1]など)が表示されます。

2 ([マニュアル]に設定時)メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [マニュアル発光量設定]

3 ◀▶ ボタンで発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

- [1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3 段ごとに設定できます。

- 内蔵フラッシュ使用時のみ設定できます。

フラッシュモードを切り換える

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード]

: 強制発光 : 赤目軽減強制発光※	フラッシュを強制的に発光させます。 ● 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。	
: スローシンクロ : 赤目軽減スローシンクロ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 ● 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 ● シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。 三脚の使用をお勧めします。	
: 発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。 ● 外部フラッシュ使用時のみ設定できます。	

※ [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に設定し、[発光モード]を[TTL]に設定時のみ設定できます。

● 外部フラッシュの設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できない場合があります。

フラッシュは2回発光します。特に []、[] に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

● 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。

(○：設定可、×：設定不可、◎：シーンガイドモード初期設定)

撮影モード					
P プログラム AE モード	○	○	○	○	○
A 絞り優先 AE モード	○	○	○	○	○
S シャッター優先 AE モード	○	○	×	×	○
M マニュアル露出モード	○	○	×	×	○
 シーンガイド モード	人物をきれいに撮る	◎	×	×	○
	人物の肌をきれいに撮る	◎	×	×	○
	逆光でふんわり撮る	×	×	×	◎
	逆光でしっかり撮る	◎	×	×	○
	ほのぼのした雰囲気撮る	×	×	×	◎
	子どもをかわいく撮る	○	◎	×	○
	風景をきれいに撮る	×	×	×	◎
	青空をさわやかに撮る	×	×	×	◎
	夕焼けを幻想的に撮る	×	×	×	◎
	夕焼けを印象的に撮る	×	×	×	◎
	水面をキラキラ撮る	×	×	×	◎
	夜景をきれいに撮る	×	×	×	◎
	夜景をクールに撮る	×	×	×	◎
	夜景を暖かく撮る	×	×	×	◎
	夜景をアーティストックに撮る	×	×	×	◎
	イルミネーションをキラキラ撮る	×	×	×	◎
	夜景を手持ちで撮る	×	×	×	◎
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	×	×	◎	○
	花をふんわり撮る	◎	×	×	○
	料理をおいしそうに撮る	◎	×	×	○
	スイーツをかわいく撮る	◎	×	×	○
	動くペットをきちんと撮る	◎	×	×	○
	スポーツをきれいに撮る	◎	×	×	○
	モノクロで撮る	◎	○	○	○
	パノラマで撮る	×	×	×	◎

- インテリジェントオート () または () モード時は、 または になります。(P56)
- シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	フラッシュモード	シャッタースピード
	1/60 秒※ ~ 1/160 秒		1 ~ 1/4000 秒

※ シャッター優先AEモード時は60秒、マニュアル露出モード時はB (バルブ) となります。

- フラッシュ発光時は、シャッタースピードが 1/160 秒より速い設定には設定できません。
- インテリジェントオート () または () モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

後幕シンクロに設定する

使えるモード: P A S M

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

メニューを設定する(P47)

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュシンクロ]

さきま
先幕

一般的なフラッシュ撮影の方法です。



あとま
後幕

被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。



- [後幕] に設定すると、画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。
- [フラッシュ設定] の [ワイヤレスモード] を [OFF] に設定時のみ設定できます。(P139)
- フラッシュシンクロの設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P263)
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- [後幕] 設定時は、[], [] に設定できません。

フラッシュの発光量を調整する

使えるモード:

フラッシュで撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整することができます。

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュ発光調整]

2 ◀/▶ ボタンでフラッシュの発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

- -3 EV から +3 EV の範囲で、1/3 EV ごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“±0”を選んでください。
- フラッシュ発光量が調整されているときは、画面のフラッシュアイコンに[+]または[-]が表示されます。
- [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に、[発光モード]を[TTL]に設定時のみ設定できます。(P133、139)
- [フラッシュ発光調整]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P263)

露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる

使えるモード:

メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [露出補正連動]

設定: [ON]、[OFF]

- 露出補正については: (P94)
- [露出補正連動]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P263)

ワイヤレスでフラッシュ撮影する

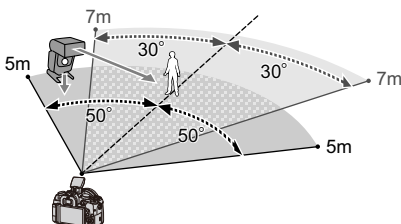
使えるモード: P A S M

ワイヤレス撮影機能のあるフラッシュライト(別売:DMW-FL200L、DMW-FL360L、DMW-FL580L)を使うと、3つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュ(または本機のホットシューに装着したフラッシュライト)を別々に発光制御できます。

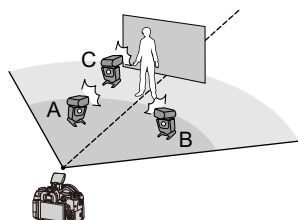
■ ワイヤレスフラッシュの設置について

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラ側に向けて設置します。次の図は本機を横に構えて撮影する場合の設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。

設置範囲



設置例



- 設置例は、発光グループフラッシュA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合です。
- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディフューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

準備: 本機のフラッシュオープンレバーをスライドさせて、フラッシュを開いてください。
または、本機にフラッシュライト(別売:DMW-FL200L、DMW-FL360L、DMW-FL580L)を取り付けてください。

1 ワイヤレスフラッシュの設定を RC モードにして、配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

続く

2 メニューを設定する(P47)

MENU ボタン→ [撮影]→[フラッシュ設定]

ワイヤレスモード	[ON] に設定してください。
ワイヤレスチャンネル	手順 1 で設定したワイヤレスフラッシュと同じチャンネルを選んでください。
ワイヤレス設定	手順 3 へ進んでください。

3 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [DISP.] ボタンを押すと、テスト発光を行います。



内蔵フラッシュ※1/ 外部フラッシュ※1	発光モード	TTL: カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO※2,3: 外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル※3: 外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF: 本機側のフラッシュは通信発光のみ行います。
	フラッシュ光量調整	[発光モード] を [TTL] に設定時の本機側の発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード] を [マニュアル] に設定時の外部フラッシュの光量比を設定します。 ● [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3 段ごとに設定できます。
Aグループ/ Bグループ/ Cグループ	発光モード	TTL: カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO※1: ワイヤレスフラッシュ側で自動的に発光量を設定します。 マニュアル: ワイヤレスフラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF: 設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ光量調整	[発光モード] を [TTL] に設定時のワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード] を [マニュアル] に設定時のワイヤレスフラッシュの光量比を設定します。 ● [1/1] (フル発光) ~ [1/128] まで、1/3 段ごとに設定できます。

※1 [ワイヤレスFP] を [ON] に設定時は設定できません。

※2 本機にフラッシュライト(別売: DMW-FL200L)を装着時は設定できません。

※3 本機に外部フラッシュを装着時のみ設定できます。

ワイヤレスフラッシュ撮影の設定をする

ワイヤレスフラッシュを FP 発光させる

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光(フラッシュが高速で発光を繰り返すこと)します。速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。

メニューを設定する(P47)

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレス FP]

設定: [ON]、[OFF]

通信発光の強さを設定する

メニューを設定する(P47)

MENU ボタン →  [撮影] → [フラッシュ設定] → [ワイヤレス通信光量]

設定: [強]、[中]、[弱]



動画・4K動画を撮る

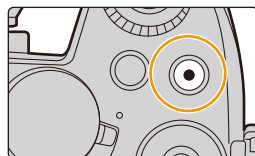
使えるモード:

AVCHD 規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。MP4では4K動画(P143)も撮影できます。音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示(赤)が点滅します。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する



記録経過時間 記録動作表示



記録可能時間



撮影終了時の操作音について

撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。

- 3秒ほど長めに撮影し、再生メニューの[動画分割] (P201)で動画の終わりの部分を分割してください。
- クリエイティブ動画モードに設定し、シャッターリモコン(別売)を使って撮影してください。(P266)

- 周囲の温度が高い場合や連続で動画撮影を行った場合は、本機の保護のため、が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。
[記録枠表示]をに設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画撮影中、ISO感度は[AUTO](動画用)の動作になります。
- 使用するレンズにより、動画撮影中に働く機能に差があります。また、レンズの動作音などが記録される場合があります。

- 一部の撮影モードでは、以下のような分類で撮影されます。

選択されている撮影モード	動画撮影時の撮影モード
– シーンガイドモードの[逆光でしっかり撮る]	人物モード
– シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/ [夜景をアーティスティックに撮る]/ [夜景を手持ちで撮る]/ [夜景をバックに人物をきれいに撮る]	ローライトモード

こんなときは使えません

- 以下の場合、動画撮影できません。
 - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
 - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
 - フォーカスセレクト撮影時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時

フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する

1 メニューを設定する(P47)

MENU ボタン →  [動画] → [記録方式]

AVCHD	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
MP4	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

2 ▲/▼ ボタンで[画質設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

[AVCHD]を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
FHD/28M/60p*	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/17M/60i	1920×1080	60i	60コマ/秒	17 Mbps
FHD/24M/30p	1920×1080	60i	30コマ/秒	24 Mbps
FHD/24M/24p	1920×1080	24p	24コマ/秒	24 Mbps

※ AVCHD Progressive

 続く

[MP4]を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
4K/100M/30p*	3840×2160	30p	30コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/24p*	3840×2160	24p	24コマ/秒	100 Mbps
FHD/28M/60p	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/20M/30p	1920×1080	30p	30コマ/秒	20 Mbps
HD/10M/30p	1280×720	30p	30コマ/秒	10 Mbps

※ 4K動画

- 「ビットレート」の数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しており、撮影する被写体によりビットレートが自動的に変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、4K動画に設定することはできません。
- 4K動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P27)
- 4K動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 4K動画は高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります、異常ではありません。

■ 撮影した動画の互換性について

撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。この場合は本機で再生してください。

- [AVCHD]の[FHD/28M/60p]、[FHD/24M/30p]、[FHD/24M/24p]で記録した動画の本機以外での再生、取り込みには、対応しているブルーレイディスクレコーダーまたはソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P252)をインストールしたパソコンが必要です。
- [MP4]の[4K/100M/30p]または[4K/100M/24p]で記録した動画については247ページの「4K動画をテレビで見る / パソコンやレコーダーに残す」をご覧ください。

動画撮影時のピントの合わせ方(AF連続動作)

使えるモード：  **P** **A** **S** **M**  

ピント合わせは、フォーカスモード(P81)と動画メニューの[AF連続動作]の設定によって異なります。

フォーカスモード	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	撮影中も自動でピントを合わせ続けます。
	OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。
MF	ON/OFF	手でピントを合わせることができます。(P90)

- フォーカスモードを[AFS]、[AFF]、[AFC]に設定時、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境や使用レンズによっては、動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、動画メニューの[AF連続動作]を[OFF]に設定するなどして撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

カメラを固定したままパン/ズーム動画を撮る (4K ライブクロップ)

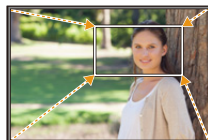
撮影モード:  M

4K 画角からフルハイビジョン動画を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームイン、ズームアウトの動作を加えた動画を記録できます。

- 撮影時は、カメラをしっかり固定してください。
- [MP4] の [FHD/20M/30p] で撮影されます。



パン



ズームイン

- ズームイン/ズームアウトの動作を加える場合は、切り出しの開始と終了の画角を異なる設定にしてください。例えば、ズームイン撮影では開始の画角を大きく、終了の画角を小さく設定します。

1 モードダイヤルを M に合わせる

2 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [動画] → [4K ライブクロップ] → [40 秒] または [20 秒]

- 画角は狭くなります。

3 切り出し開始枠を設定する

- 初回設定時、1920×1080 の大きさの開始枠が表示されます。(切り出し開始枠、終了枠の設定後は、直前に設定した開始枠と終了枠が表示されます)
- 位置や大きさは、電源を切っても記憶されます。

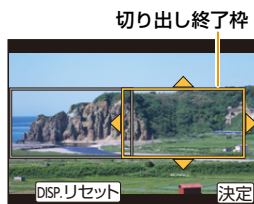
切り出し開始枠



ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	枠の移動
	ピンチアウト/ ピンチイン	枠の拡大 / 縮小 (1920×1080～3840×2160の範囲で設定できます)
[DISP.]	[リセット]	枠の位置を中央に、初回設定時の大きさに戻す
[MENU/SET]	[決定]	枠の位置と大きさの決定

4 手順3を繰り返し、切り出し終了枠を設定する

- オートフォーカスモードは、[●] (顔認識) に切り換わりま
す。(ピントを合わせる目は表示されません)



5 動画ボタン(またはシャッターボタン)を押して撮影を開始する

- 動画ボタン(またはシャッターボタン)を押したあと、すぐ
に離してください。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。
途中で撮影を止めるには、再度動画ボタン(またはシャッター
ボタン)を押してください。



■ 切り出し枠の位置や大きさを変更するには
撮影画面で[Fn4] ボタンを押し、手順 3、4 を行う。

■ 4K ライブクロップ撮影を解除するには
手順 2 で [OFF] を設定する。

- 明るさの測定とピント合わせは、切り出し開始枠内で行います。動画撮影中は、切り出し枠内で行
います。ピント位置を固定する場合は、[AF連続動作]を[OFF]にするか、フォーカスモードを
[MF]に設定してください。
- [測光モード]は[☉] (マルチ測光)になります。

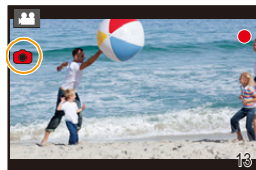
動画撮影中に写真を撮影する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**   

動画撮影中でも、同時に写真を撮影できます。(同時記録)

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能(P45)を使って撮影することもできます。



■ 動画優先、写真優先を設定する

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**   

メニューを設定する(P47)

MENU ボタン →  [動画] → [写真撮影]

 (動画優先)	● 動画の画質設定に応じた記録画素数で写真を記録します。 ● クオリティを[RAW ]、[RAW ]または[RAW]に設定時はJPEG画像のみ記録されます。([RAW]設定時はクオリティは )で記録されます) ● 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大40枚までです。 ([画質設定]のサイズが[4K]のMP4動画の場合: 最大10枚まで)
 (写真優先)	● 設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 ● 写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声が続切れます。 ● 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大10枚までです。 ([画質設定]のサイズが[4K]のMP4動画の場合: 最大5枚まで)

- 写真の画像横縦比は[16:9]に固定されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、同時記録はできません。
 - [画質設定]が[4K/100M/24p]のMP4動画、または[FHD/24M/24p]のAVCHD動画に設定時( (写真優先))設定時のみ)
 - ドライブモードを4Kフォトに設定時( (写真優先))設定時のみ)
 - [EX テレコン(動画)]を使用時( (写真優先))設定時のみ)
 - [スナップムービー]を[ON]に設定時

スナップムービーを撮る

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。ピント送りやフェード効果を加えることもできます。

- [MP4]の[FHD/20M/30p]で撮影されます。
- 本機で撮影した動画を、スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」でつなぎ合わせて音楽を付けることなどができます。つなぎ合わせた動画をWebサービスへ送ることもできます。(P220)

1 メニューを設定する(P47)

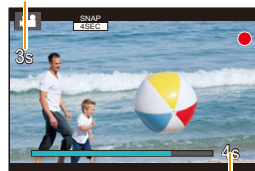
MENU ボタン → [動画] → [スナップムービー] → [ON]

- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

2 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 途中で動画撮影は終了できません。設定した撮影時間が経過すると自動的に撮影が終了します。

記録経過時間



設定した撮影時間

■ スナップムービーを解除するには

手順1で[OFF]を設定する。

■ スナップムービーの設定を変更する

メニューを設定する (P47)

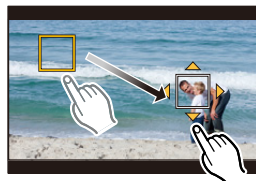
MENU ボタン → [動画] → [スナップムービー] → [設定]

撮影時間	動画撮影する時間を設定します。
ピント送り	撮影開始時にピントをゆっくりと変えることで、ドラマチックな映像表現を行います。(P149)
フェード	映像と音声撮影を開始するとフェードイン(ゆっくりと現れる)または、撮影の終了にかけてフェードアウト(ゆっくりと消える)する効果です。 [WHITE-IN]、[WHITE-OUT]： 白い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [BLACK-IN]、[BLACK-OUT]： 黒い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [COLOR-IN]、[COLOR-OUT]： 白黒からカラーへフェードイン、またはカラーから白黒へフェードアウトする効果です。音声は通常どおりに記録されます。 [OFF]

- [WHITE-IN]、[BLACK-IN]で撮影した動画は、再生時のサムネイル表示が白一色または黒一色になります。
- カスタムメニューの[Fn ボタン設定] (P51) に[スナップムービー]を設定すると、設定したファンクションボタンを押して[スナップムービー]の[ON]/[OFF]の切り換え画面を表示できます。画面表示中に[DISP.] ボタンを押すとスナップムービーの設定を変更できます。
- [スマートフォンとつないで使う]でWi-Fi接続すると、[スナップムービー]は[OFF]に切り換わります。
- 以下の場合、[スナップムービー]は使えません。
 - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
 - ドライブモードを4Kフォトに設定時
 - 4Kライブクロップ撮影時

[ピント送り]の設定をする

ピント送りの開始位置(1点目)と終了位置(2点目)の枠を設定します。



ボタン操作

- 1 ◀ ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、[MENU/SET] ボタンを押す(1点目)
 - [MENU/SET] ボタンを押す前に[DISP.]ボタンを押すと、枠は中央に戻ります。
- 3 手順 2 を繰り返す(2点目)
 - [MENU/SET] ボタンを押すと、枠の設定が解除されます。

タッチ操作

被写体をタッチし(1点目)、ドラッグして指を離す(2点目)

- [AF ON/OFF] をタッチすると、枠の設定が解除されます。



- 遠くから近く、近くから遠くのように、開始と終了でピントの変化を大きくすると効果が大きくなります。
- ピント設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。

- 枠の設定に失敗したときは、枠が1点目に戻ります。
- [ピント送り]を[ON]に設定時は
 - オートフォーカスモードは[ピント送り]専用の[AF-ON]に変わります。
 - 写真撮影時は、1点目の枠で[AF-ON]のオートフォーカス動作を行います。
- [測光モード](P162)が[測光ターゲット]のときは、測光ターゲットは1点目の枠に設定されます。

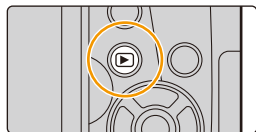


こんなときは使えません

- 以下の場合、[ピント送り]は使えません。
 - マニュアルフォーカス時
 - デジタルズーム使用時

写真を見る

1 [▶] ボタンを押す



2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀: 前の画像へ ▶: 次の画像へ

- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- 前ダイヤルを回す、または画面を水平にドラッグ(P44)しても画像を送ることができます。
- ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。



Web サービスへの送信について

画像を 1 枚ずつ表示中、▼ ボタンを押すと手軽に Web サービスへ送ることができます。
(P232)

■ 再生を終了するには

再度 [▶] ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする



こんなときは使えません

- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

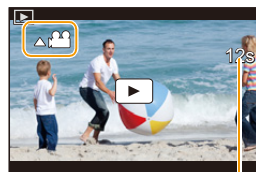
動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD または MP4 です。

- 動画には動画アイコン(📺)が表示されます。

▲ ボタンを押して再生する

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
例) 8分30秒のとき: 8m30s
- [AVCHD]で撮影した動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。
- 画面中央の[▶]をタッチしても動画を再生できます。
- [スナップムービー]で撮影した動画は自動再生されます。



動画記録時間

■ 動画再生中の操作

ボタン 操作	タッチ 操作	操作内容
▲	▶/⏸	再生/一時停止
◀	◀◀	早戻し再生※ ¹
	◀⏸	コマ戻し(一時停止中)※ ²
😊	−	音量を下げる

ボタン 操作	タッチ 操作	操作内容
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り再生※ ¹
	⏸▶	コマ送り(一時停止中)
😊	+	音量を上げる

※¹ もう一度 ▶/◀ ボタンを押すと、早送り/早戻し速度が速くなります。

※² [AVCHD]で撮影した動画は、約 0.5 秒ごとのコマ戻しになります。

■ スナップムービー自動再生中の操作

▲	最初から再生
◀	前の画像へ
▶	次の画像へ

- 画面をタッチすると自動再生が停止します。

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は、「PHOTOfunSTUDIO」(P252)で再生できます。

動画から写真を作成する

動画のワンシーンを写真にして保存します。

1 動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止にする

- 一時停止中に◀/▶ボタンを押すと、位置の細かい調整をすることができます。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- []をタッチしても同じ操作ができます。



- [画像横縦比]は[16:9]で、[クオリティ]は[]で保存されます。記録画素数は動画により異なります。
 - [画質設定]のサイズが[4K]の動画の場合:[M](8M)
 - [画質設定]のサイズが[FHD]、[HD]の動画の場合:[S](2M)
- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、再生時に[]が表示されます。
- HDMI マイクロケーブルでテレビ接続中に動画から写真を作成する場合は、セットアップメニューの[テレビ接続設定]の[ピエラリンク]を[OFF]に設定してください。

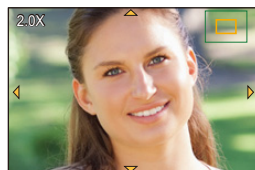
再生方法を切り換える

再生画面を拡大する(再生ズーム)

後ダイヤルを右側に回す

1倍 ⇄ 2倍 ⇄ 4倍 ⇄ 8倍 ⇄ 16倍

- 拡大したあと、後ダイヤルを左側に回すと、倍率が小さくなります。
- 拡大したい部分をピンチアウト/ピンチイン(P44)しても、画像を拡大/縮小することができます。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンを押す、または画面をドラッグ(P44)すると、拡大部分を移動することができます。
- 拡大したい部分を2回タッチしても画像を拡大(2倍)することができます。拡大時に2回タッチすると1倍に戻ります。
- 再生ズーム中に前ダイヤルを回すと、ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送ることができます。



複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)

後ダイヤルを左側に回す

1画面 ⇄ 12画面 ⇄ 30画面 ⇄ カレンダー画面表示

- 後ダイヤルを右側に回すと、1つ前に戻ります。
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。

・[■]: 1画面 ・[■]: 12画面
 ・[■]: 30画面 ・[CAL]: カレンダー再生

- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。
- [!]と表示される画像は再生できません。

■ 1画面表示に戻すには

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)

1 後ダイヤルを左側に回して、カレンダー画面表示にする

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

- その日付に撮影された画像のみが表示されます。
- カレンダー画面表示に戻すには、後ダイヤルを左側に回しててください。

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



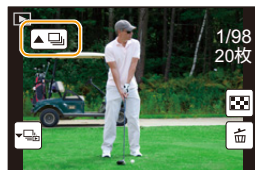
- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んでいた画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- [時計設定]を行わずに撮影した場合、2016年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム]で旅行先を設定して撮影された画像は、旅行先の日時にカレンダー表示されます。

グループ画像を見る

複数枚の画像を1つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1枚ずつ再生します。

- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

- []: 連写速度を[SH]に設定して連続撮影したグループ画像(P100)
[4K フォト一括保存]で一括で保存したグループ画像(P197)
- []: フォーカスブラケット撮影したグループ画像(P122)
- []: インターバル撮影したグループ画像(P116)
- []: コマ撮り撮影したグループ画像(P118)



- 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

グループ画像を連続再生する

▲ ボタンを押す

- グループ画像アイコン([],[],[])をタッチしても同じ操作ができます。
- グループ画像を1枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
[連写再生](または[連続再生])を選んだあとに、以下の再生方法を選んでください。
[最初の画像から見る]: グループの先頭画像から連続再生されます。
[この画像から見る]: 再生中の画像から連続再生されます。

■ グループ画像再生中の操作

▲		連続再生/一時停止	▼		停止
◀		早戻し再生	▶		早送り再生
		前の画像に戻す(一時停止中)			次の画像へ送る(一時停止中)

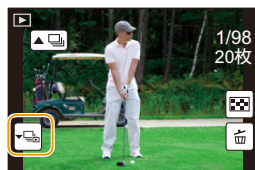
グループ画像を1枚ずつ再生する

1 ▼ ボタンを押す

- [],[],[])をタッチしても同じ操作ができます。

2 ◀/▶ ボタンを押して画像を送る

- もう一度▼ボタンを押す、または、[]をタッチすると、通常の再生画面に戻ります。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)



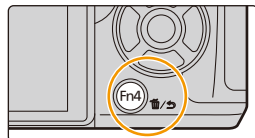
画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

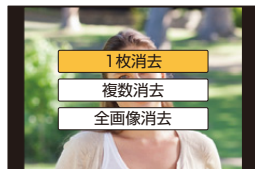
1 枚消去

- 再生状態で消去する画像を選び、[画] ボタンを押す

- [画] をタッチしても同じ操作ができます。



- ▲ ボタンで [1 枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



複数消去(100枚※まで)/全画像消去

※グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

- 再生状態で [画] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで [複数消去] または [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [全画像消去] 選択時、[お気に入り以外全消去] を選択すると、お気に入り設定した画像以外の全画像を消去することができます。

- ([複数消去] 選択時) ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 設定した画像に [画] が表示されます。
もう一度[MENU/SET]ボタンを押すと設定が解除されます。

- ([複数消去] 選択時) ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニュー一覧

撮影  P157カスタム  P177再生  P191動画  P175セットアップ  P184

● [フォトスタイル]、[フィルター設定]、[AFS/AFF]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iDレンジコントロール]、[超解像]、[回折補正]、[デジタルズーム]、[手ブレ補正]は、撮影メニューと動画メニューに共通のメニュー項目です。

どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

 撮影メニュー

- フォトスタイル(P158)
- フィルター設定(P159)
- 画像縦横比(P161)
- 記録画素数(P161)
- クオリティ(P162)
- AFS/AFF(P81)
- 測光モード(P162)
- 連写速度(P100)
- 4K フォト(P102)
- ブラケット(P120)
- セルフタイマー(P115)
- インターバル/コマ撮り撮影(P116、118)
- ハイライトシャドウ(P163)
- iD レンジコントロール(P164)
- 超解像(P164)
- i手持ち夜景(P57)
- iHDR(P58)
- HDR(P164)
- 多重露出(P165)
- パノラマ設定(P70)
- シャッター方式(P166)
- シャッターディレイ(P167)
- フラッシュ設定(P134)
- デジタル赤目補正(P168)
- ISO感度上限設定(P168)
- ISO感度ステップ(P168)
- 拡張 ISO 感度(P168)
- 長秒ノイズ除去(P169)
- シューディング補正(P169)
- 回折補正(P170)
- EX テレコン(写真)(P126)
- デジタルズーム(P128)
- 色空間(P170)
- 手ブレ補正(P123)
- 個人認証(P171)
- プロフィール設定(P174)

フォトスタイル

使えるモード:

撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。お好みに合わせて効果の色や画質を調整することができます。

MENU ボタン → [撮影] → [フォトスタイル]

STD [スタンダード]	標準的な設定
VIVID [ヴィヴィッド] ※1	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
NAT [ナチュラル] ※1	コントラスト低めの柔らかな効果
MONO [モノクローム]	色味を抜いた単色の効果
L MONO [L.モノクローム] ※1	階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ効果
SCNY [風景] ※1	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
PORT [人物] ※1	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
CUST [カスタム] ※1	あらかじめ登録している設定を使用
C NED [シネライクD] ※2	動画編集時での処理に適した、ダイナミックレンジを優先したガンマカーブ※3で映画感覚に仕上げる効果
C NEV [シネライクV] ※2	コントラストを重視したガンマカーブ※3で映画感覚に仕上げる効果

※1 インテリジェントオートプラスモード時は設定できません。

※2 クリエイティブ動画モード時のみ設定できます。

※3 実際の明るさと記録する明るさを、明るさの段階ごとに調整する場合、2つの明るさの関係性は非線形のカーブを描きます。これをガンマカーブと言います。

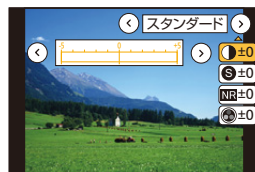
- インテリジェントオートプラスモード時、他の撮影モードに切り換えたり、電源スイッチを[OFF]にしたりとすると、[スタンダード]にリセットされます。
- シーンガイドモード時は画質調整のみ設定できます。

画質調整する

- インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

1 ◀/▶ ボタンでフォトスタイルの種類を選ぶ

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する



コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。

続く

NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感が僅かに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
彩度※1	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
色調※1	+	青っぽい色になります。
	-	黄色っぽい色になります。
フィルター効果※2	黄	被写体のコントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	-

※1 [モノクローム]、[L.モノクローム]選択時のみ[色調]が表示されます。
それ以外では[彩度]が表示されます。

※2 [モノクローム]、[L.モノクローム]選択時のみ表示されます。

●画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[+]が表示されます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

■ 設定を [カスタム] に登録する

「画質調整する」の手順 2 で画質を調整し、[DISP.] ボタンを押す

フィルター設定

使えるモード:

絞り優先AEモードなどで、クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果(フィルター)を加えることができます。(P72)

MENU ボタン → [撮影] → [フィルター設定] → [フィルター効果]

設定: [ON]、[OFF]、[設定]

■ タッチパネルで設定を変える

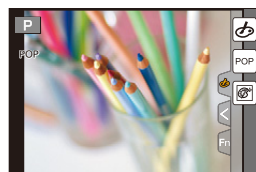
① をタッチする

② 設定する項目をタッチする

: 画像効果の入/切

: 画像効果(フィルター)

: 画像効果の調整



- 以下の場合、[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[トイフォト][※]/[トイポップ][※]/[ジオラマ][※]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]は使えません。
 - － クリエイティブ動画モード
 - － 動画撮影時
 - ※ 4K ライブクロップ設定時
- シーンガイドモードでは、[パノラマで撮る]設定時のみ[フィルター設定]が使えます。シーンガイドモードの [パノラマで撮る]に設定時は以下になります。
 - － [トイフォト]/[トイポップ]/[ジオラマ]/[サンシャイン]は使えません。
 - － [ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]の画像効果は、写真撮影中に反映されません。
 - － [ハイキー]に設定時は、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。
- ISO感度は[ISO 3200]までの設定になります。[ハイドナミック]設定時は、ISO感度は[AUTO]に固定されます。
- [フィルター効果]使用時は、クリエイティブコントロールモードで設定できない機能も設定できなくなります。例えば、ホワイトバランスは[AWB]に、フラッシュは[

■ 画像効果を加えない写真を同時に記録する(フィルターなし同時記録)

1 回シャッターボタンを押すと、画像効果を加えた写真と加えない写真2枚を同時に撮影できます。

MENU ボタン →  [撮影] → [フィルター設定] → [フィルターなし同時記録]

設定: [ON]、[OFF]

- 画像効果あり、画像効果なしの順で撮影されます。
- オートレビュー時は、画像効果を加えた画像のみが表示されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[フィルターなし同時記録]は使えません。
 - － シーンガイドモード
 - － 動画撮影中の写真記録([ (動画優先)]) 設定時のみ
 - － 4K フォト撮影時
 - － フォーカスセレクト撮影時
 - － 連写撮影時
 - － [クオリティ]を[RAW ]、[RAW ]、[RAW]に設定時
 - － ブラケット撮影時
 - － インターバル撮影時
 - － コマ撮りアニメ時

画像横縦比

使えるモード:

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン → [撮影] → [画像横縦比]

4:3	4:3テレビの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	ハイビジョンテレビなどの横縦比
1:1	正方形横縦比

こんなときは使えません

- シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時は使えません。

記録画素数

使えるモード:

記録画素数を設定します。

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン → [撮影] → [記録画素数]

画像横縦比: [4:3] のとき

設定	画像サイズ
L (16M)	4592×3448
M (8M)	3232×2424
S (4M)	2272×1704

画像横縦比: [3:2] のとき

設定	画像サイズ
L (14M)	4592×3064
M (7M)	3232×2160
S (3.5M)	2272×1520

画像横縦比: [16:9] のとき

設定	画像サイズ
L (12M)	4592×2584
M (8M)	3840×2160
S (2M)	1920×1080

画像横縦比: [1:1] のとき

設定	画像サイズ
L (11.5M)	3424×3424
M (6M)	2416×2416
S (3M)	1712×1712

- [EXテレコン(写真)](P126)を設定時は、各画像横縦比の[L]以外の記録画素数に が表示されます。
- 4Kフォト撮影時、フォーカスセレクト撮影時は、[4K] ([4:3]:3328×2496/[3:2]:3504×2336/[16:9]:3840×2160/[1:1]:2880×2880)に固定されます。

こんなときは使えません

- シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時は使えません。

クオリティ

使えるモード:

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
		標準画質のJPEG画像です。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
	RAW+JPEG	RAW 画像と JPEG 画像(または) を同時に記録できます。
	RAW	RAW 画像のみを記録できます。



RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアを必要とします。

- 再生メニューの[RAW 現像]でRAW画像を現像することができます。(P195)
- パソコンでのRAWファイルの現像や編集には、ソフトウェア(市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」)(P253)をお使いください。

- RAW画像は常に画像横縦比[4:3] (4592×3448)で記録されます。
- [RAW]、[RAW]で撮影した画像を本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。
- [RAW]で撮影した画像を再生時は、撮影時の画像横縦比に合わせてグレーの領域が表示されます。
- 4Kフォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、に固定されます。



こんなときは使えません

- 以下の場合、[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定できません。
 - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]/[パノラマで撮る]
 - 連写撮影時([連写速度]を[SH]に設定時のみ)

測光モード

使えるモード:

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

続く

MENU ボタン→[撮影]→[測光モード]

(マルチ測光)	画面全体の明るさの配分をカメラが自動的に評価して、露出が最適になるように測光する方式です。通常はこの方式に合わせて使用することをお勧めします。
(中央重点測光)	画面中央部の被写体に重点を置いて、画面全体を平均的に測光する方式です。
(スポット測光)	スポット測光ターゲット上の被写体に対して測光する方式です。 ● スポット測光ターゲットを画面の端に設定した場合は、周辺の明るさの影響を受けることがあります。



スポット測光ターゲット

ハイライトシャドウ

使えるモード：

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

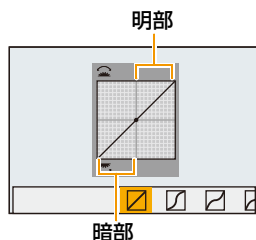
MENU ボタン→[撮影]→[ハイライトシャドウ]

☒ (スタンダード)	調整なしの状態になります。
☒ (コントラストを上げる)	明部を明るく、暗部を暗くします。
☒ (コントラストを下げる)	明部を暗く、暗部を明るくします。
☒ (暗部を明るくする)	暗部を明るくします。
/ / (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。

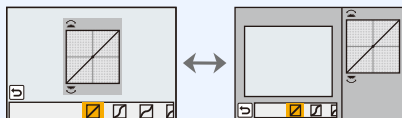
1 前後ダイヤルを回して、明部/暗部の明るさの調整をする

- 後ダイヤルは暗部の調整、前ダイヤルは明部の調整になります。
- お好みの設定を登録する場合は ▲ ボタンを押して、カスタム登録先(カスタム 1() / カスタム 2() / カスタム 3())を選んでください。
- グラフをドラッグ操作して調整することもできます。

2 [MENU/SET] ボタンを押す



- 明るさ調整の画面で [DISP.] ボタンを押して、画面の表示を切り換えることができます。



- / / / で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。

iDレンジコントロール

使えるモード: **P A S M**

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。

MENU ボタン → [撮影] → [iD レンジコントロール]

設定: [AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

こんなときは使えません

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- シーンガイドモードの[パノラマで撮る]に設定時は使えません。
- [HDR] を [ON] に設定時は、[iDレンジコントロール]は動きません。

超解像

使えるモード: **P A S M**

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影することができます。

MENU ボタン → [撮影] → [超解像]

設定: [強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]

- [拡張]は、より解像感を高めた自然な画像を撮影できます。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、[拡張]は[弱]に変わります。

HDR

使えるモード: **P A S M**

露出の異なる写真を3枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。

HDR合成した画像はJPEGで記録されます。

MENU ボタン → [撮影] → [HDR]

設定: [ON]、[OFF]、[設定]

■ 設定を変更する

Dレンジ設定	[AUTO]: 被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV]、[±2EV]、[±3EV]: 設定した露出の調整幅で撮影します。
自動位置調整	[ON]: 手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時の設定をお勧めします。 [OFF]: 画像のずれ調整を行いません。三脚使用時の設定をお勧めします。

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- [自動位置調整]を[ON]に設定時は、画角が僅かに狭くなります。
- フラッシュは[Ⓢ] (発光禁止)に固定されます。

こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では動きません。
- 以下の場合、[HDR]は使えません。
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 連写撮影時
 - ブラケット撮影時
 - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定時
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時 ([自動撮影]設定時のみ)

多重露出

使えるモード:  **P A S M**   

1 枚の画像に最大 4 回の露光を行ったような効果を得ることができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [多重露出]

1 ▲/▼ ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 構図を決めて 1 枚目を撮影する

- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと以下の操作が可能です。
 - [次の撮影]: 次の撮影に進む
 - [撮り直し]: 1 枚目の撮影に戻る
 - [完了]: 1 枚目の撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了する



3 2 枚目、3 枚目、4 枚目を撮影する

- 撮影時に [Fn4] ボタンを押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。

4 ▼ ボタンで[完了]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。



■ 設定を変更する

自動ゲイン補正	[OFF]に設定すると、すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。
再生画像と多重	[ON]に設定すると、すでに撮影した画像に多重露出を行えます。 [開始]後にカード内の画像が表示されるので、RAW画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 多重露出撮影中は、メニュー画面にグレーで表示される項目は設定できません。
- 本機で撮影されたRAW画像にのみ[再生画像と多重]を行えます。

🔒 こんなときは使えません

- 以下の場合、[多重露出]は使えません。
 - インターバル撮影時
 - コマ撮りアニメ時

シャッター方式

使えるモード:

写真撮影時のシャッター方式を選びます。

MENU ボタン → [撮影] → [シャッター方式]

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。
メカシャッター	メカシャッター方式で撮影します。
電子先幕	電子先幕方式で撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式で撮影します。

続く

	メカシャッター方式	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	露光の開始と終了をメカシャッターで行う方式です。	電子的に露光を開始し、メカシャッターで終了する方式です。	露光の開始と終了を電子的に行う方式です。
フラッシュ	○	○	×
シャッタースピード	B(バルブ)* ¹ 、 60秒～1/4000秒	B(バルブ)* ¹ 、 60秒～1/2000秒	1秒* ² ～1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音* ³

※1 マニュアル露出モード時のみ設定できます。(P63)

※2 ISO感度[ISO3200]まで。[ISO3200]より高いときは、1秒より速くなります。

※3 [電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。(P185)

- 電子先幕方式は、メカシャッター方式に比べ、シャッターによる音や振動が少ないので、微かな音や振動が気になる場合にお使いください。
- 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。
- 画面に[]が表示されている場合は、電子シャッターで撮影されます。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。(P63)

シャッターディレイ

使えるモード:      

手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと設定した時間が経過してからシャッターが切れます。

MENU ボタン →  [撮影] → [シャッターディレイ]

設定: [8秒]、[4秒]、[2秒]、[1秒]、[OFF]

こんなときは使えません

- 以下の場合、[シャッターディレイ]は使えません。
 - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
 - 動画撮影時
 - 連写撮影時 ([連写速度]を[SH]に設定時のみ)
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - [HDR]を[ON]に設定時

デジタル赤目補正

使えるモード:

赤目軽減([], [])選択時にフラッシュが発光すると、デジタル赤目補正が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

MENU ボタン → [撮影] → [デジタル赤目補正]

設定: [ON]、[OFF]

- [ON]に設定すると、アイコンに[]が表示されます。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

ISO感度上限設定

使えるモード:

被写体の明るさに応じて、選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。

- ISO 感度が[AUTO]または[]時に働きます。

MENU ボタン → [撮影] → [ISO 感度上限設定]

設定: [400]、[800]、[1600]、[3200]、[6400]、[12800]、[25600]、[OFF]

こんなときは使えません

- 以下の場合は、働きません。
 - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景を手持ちで撮る]
 - 動画撮影時

ISO感度ステップ

使えるモード:

ISO 感度の設定を、1/3 EVごとの設定値に変更します。

MENU ボタン → [撮影] → [ISO 感度ステップ]

設定: [1/3 EV]、[1 EV]

拡張 ISO 感度

使えるモード:

ISO 感度を最小 [ISO 100] まで設定できるようになります。

MENU ボタン → [撮影] → [拡張 ISO 感度]

設定: [ON]、[OFF]

こんなときは使えません

- 4K フォト撮影時、フォーカスセレクト撮影時は、[拡張 ISO 感度]は使えません。

長秒ノイズ除去

使えるモード:      

夜景撮影など、遅いシャッタースピードでの撮影時に発生するノイズを、カメラが自動的に取り除き、きれいな画像を撮影することができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [長秒ノイズ除去]

設定: [ON]、[OFF]

- ノイズ除去中は、信号処理のためにシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[長秒ノイズ除去]は働きません。
 - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
 - 動画撮影時
 - 連写撮影時([連写速度]を[SH]に設定時のみ)
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 電子シャッター使用時

シェーディング補正

使えるモード:      

レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影することができます。

MENU ボタン →  [撮影] → [シェーディング補正]

設定: [ON]、[OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

こんなときは使えません

- 以下の場合は補正できません。
 - 動画撮影時
 - 動画撮影中の写真記録([ (動画優先)] 設定時のみ)
 - 連写撮影時([連写速度]を[SH]に設定時のみ)
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時

回折補正

使えるモード:

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

MENU ボタン → [撮影] → [回折補正]

設定: [AUTO]、[OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高い ISO 感度では、ノイズが目立つ場合があります。

色空間

使えるモード:

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [色空間]

sRGB	sRGB 色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
AdobeRGB	AdobeRGB 色空間に設定します。 AdobeRGB 色空間は sRGB 色空間よりも色再現の範囲が広いので、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGB についての専門的な知識がない方は、sRGB に設定してください。
- 以下の場合、[sRGB] に固定されます。
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時

個人認証

使えるモード:   **P** **A** **S** **M**   

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。



MENU ボタン →  [撮影] → [個人認証]

設定: [ON]、[OFF]、[登録]

- 個人認証機能では、以下の機能も働きます。

撮影時

－カメラが登録した顔を認識時、名前を表示※

再生時

－名前や年齢/年齢の表示

－登録人物から選んだ人物の画像のみを再生([カテゴリ再生](P193))

※名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

- [個人認証] は、オートフォーカスモードを  に設定しているときのみ有効です。
- 連写撮影時は、1枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1枚目の画像の名前が表示されます。
- 個人認証情報を登録していても、名前を [OFF] にして撮影した画像は、[カテゴリ再生] の個人認証に分類されません。
- 名前を変更した場合、変更前に撮影した画像は [カテゴリ再生] の個人認証に分類されなくなります。[認証情報編集] の [入換え] (P206) で撮影済み画像の名前を変更できます。

こんなときは使えません

- 以下の場合は、[個人認証] を設定できません。
 - －シーンガイドモードの [パノラマで撮る]
 - －クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ]
 - －動画撮影時
 - －4K フォト撮影時
 - －フォーカスセレクト撮影時
 - －インターバル撮影時

■ 顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

顔画像登録時の撮影ポイント

登録時の良い例

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)

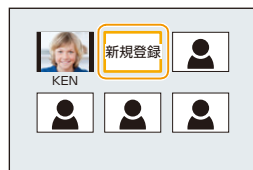


撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。(P173)
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録をし直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

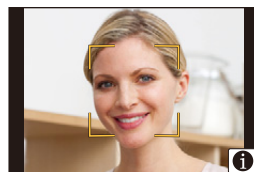
1 ▲/▼ ボタンで [登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで未登録の顔画像枠を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す



3 ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- ▶ ボタンを押す、または[] をタッチすると、顔登録撮影の説明が表示されます。



 続く

4 項目を設定する

- 顔画像は3枚まで登録できます。

名前	名前を設定します。 ● 文字の入力方法: (P54)	
月齢/年齢	誕生日を設定します。	
追加登録	追加登録	顔画像を追加登録します。 ① 未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ② 「顔画像を登録する」の手順3を行う
	解除	顔画像を1枚消去します。 ◀/▶ ボタンで解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 登録した人物の情報を変更または解除する

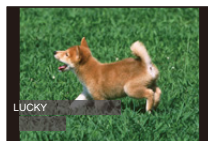
- ▲/▼ ボタンで[登録]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼/◀/▶ ボタンで編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 「顔画像を登録する」の手順4を行う
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 ▲/▼/◀/▶ ボタンで登録順を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。

プロフィール設定

使えるモード: **P** **A** **S** **M**

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録することができます。これらは再生時に表示させたり、[文字焼き込み] (P200) で撮影画像に焼き込むことができます。



MENU ボタン → [撮影] → [プロフィール設定]

設定: [(赤ちゃん1)], [(赤ちゃん2)], [(ペット)], [OFF], [設定]

■ 名前、月齢/年齢を設定する

- ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで [赤ちゃん1]、[赤ちゃん2] または [ペット] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで [月齢/年齢] または [名前] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
[月齢/年齢] (誕生日) を入力する
[名前] を入力する
● 文字の入力方法: (P54)



5 ▼ ボタンで [終了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して終了する

■ 月齢/年齢や名前の表示を解除するには

手順1で [OFF] を設定する。

- ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P252) を使って月齢/年齢や名前をプリントすることができます。

こんなときは使えません

- 4K フォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時、[プロフィール設定] は使えません。
- 以下の場合、月齢/年齢や名前は記録されません。
 - 動画撮影時
 - 動画撮影中に記録した写真 ([] (動画優先)) (P146)

動画メニュー

- フォトスタイル(P158)
- フィルター設定(P159)
- 4K ライブクロップ(P144)
- スナップムービー(P147)
- 記録方式(P142)
- 画質設定(P142)
- 動画露出設定(P77)
- AFS/AFF(P81)
- 写真撮影(P146)
- AF 連続動作(P143)
- 測光モード(P162)
- ハイライトシャドウ(P163)
- iD レンジコントロール(P164)
- 超解像(P164)
- 回折補正(P170)
- 輝度レベル設定(P175)
- EX テレコン(動画)(P126)
- デジタルズーム(P128)
- 手ブレ補正(P123)
- フリッカー軽減(P175)
- タッチ静音操作(P78)
- マイクレベル表示(P175)
- マイクレベル設定(P176)
- 専用マイク設定(P264)
- マイクレベルリミッター(P176)
- 風音キャンセラー(P176)
- 風音低減(P265)
- レンズ動作音低減(P176)

輝度レベル設定

使えるモード:        

動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

- [記録方式]を[MP4]に設定しているときのみ設定できます。

MENU ボタン →  [動画] → [輝度レベル設定]

設定: [0-255]、[16-255]

- [0-255] は撮影した動画からの写真作成に適した設定です。
- [16-255] は通常の動画撮影に適した設定です。

フリッカー軽減

使えるモード:        

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。

MENU ボタン →  [動画] → [フリッカー軽減]

設定: [1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]、[OFF]

マイクレベル表示

使えるモード:        

マイクレベルを撮影画面に表示します。

MENU ボタン →  [動画] → [マイクレベル表示]

設定: [ON]、[OFF]

- [マイクレベルリミッター]を[OFF]に設定時、[マイクレベル表示]は[ON]に固定されます。

マイクレベル設定

使えるモード:

音声入力のレベルを19段階(-12 dB ~ +6 dB)に調整します。

MENU ボタン → [動画] → [マイクレベル設定]

- 表示される dB 値は目安です。

マイクレベルリミッター

使えるモード:

音声入力のレベルを自動的に調整します。音量が大きくなったときの、音声のゆがみ(音割れ)を抑えます。

MENU ボタン → [動画] → [マイクレベルリミッター]

設定: [ON]、[OFF]

風音キャンセラー

使えるモード:

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

MENU ボタン → [動画] → [風音キャンセラー]

設定: [強]、[標準]、[OFF]

- [強]は強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減する設定です。
- [標準]は音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減する設定です。
- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- 内蔵マイクにのみ働きます。
外部マイク接続時は [風音低減] が表示されます。

レンズ動作音低減

使えるモード:

パワーズームに対応した交換レンズの、動画撮影時に記録されるズーム動作音を低減します。

MENU ボタン → [動画] → [レンズ動作音低減]

設定: [ON]、[OFF]

- パワーズームに対応した交換レンズ装着時のみ使えます。
- 設定時は通常と音質が変わる場合があります。

fc カスタムメニュー

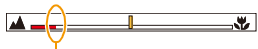
MENU ボタン→ fc [カスタム]

カスタムセット登録	現在のカメラの設定をカスタムセットとして登録します。	P79
サイレントモード	操作音と発光の禁止を一括で設定します。 ●スピーカーからの音声は消音に、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。以下の設定が固定されます。 – [シャッター方式]: [電子シャッター] – [フラッシュモード]: [Ⓢ] (発光禁止) – [AF 補助光]: [OFF] – [電子音音量]: [ⓧ] (OFF) – [電子シャッター音量]: [ⓧ] (OFF) ●[ON] に設定していても、以下の機能は点灯 / 点滅します。 – 電源表示ランプ – セルフタイマーランプ – Wi-Fi 接続ランプ ●レンズの絞り音などの動作音は消音されません。 ●本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分で配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。	—
AF/AEロック切換	AF/AE ロックを行ったときに、ピントや露出の固定内容を設定します。	P93
AF/AEロック維持	[ON] に設定すると、[AF/AE LOCK] ボタンを押したあと離してもピントや露出が固定されます。もう一度ボタンを押すとロックが解除されます。	—
シャッター半押しAF	シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるかを設定します。	—
シャッター半押しレリーズ	シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。	—
クイックAF	カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピント合わせを行い、シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。 ●バッテリーの消耗が早くなる場合があります。 ●以下の場合は [クイックAF] は動きません。 – プレビューモード時 – 低照度時	—
アイセンサーAF	アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピント合わせを行います。 ●低照度時は、[アイセンサーAF] が働かない場合があります。	—

MENU ボタン → fC [カスタム]

ピンポイント AF時間	オートフォーカスモードを[+]に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。	—
ピンポイント AF表示	オートフォーカスモードを[+]に設定したときのアシスト画面を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。	—
AF補助光	暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しでAF補助光ランプが点灯します。 ● 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。 — 交換レンズ(H-FS12060)装着、W端時:約1.0 m～約3.0 m ● レンズフードは外してください。 ● 交換レンズ(H-FS12060)装着時、AF補助光が少し遮られますが、性能には問題ありません。 ● 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、フォーカスが合いにくい場合があります。 ● 以下の場合では、[OFF]に固定されます。 — シーンガイドモードの[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[夜景を手持ちで撮る] — [サイレントモード]を[ON]に設定時	—
ダイレクト フォーカス移動	撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。 ● [C], [M], [A], [S]選択時ではAFエリアを、[+]のときは拡大位置を移動することができます。 ● ホワイトバランス、ISO感度などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー(P49)を使って設定してください。 ● 以下の場合、[ダイレクトフォーカス移動]は[OFF]に固定されます。 — シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る] — クリエイティブコントロールモード時 — 4K ライブクロップ設定時	—
フォーカス/ レリーズ優先	ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。 ● フォーカスモード([AFS/AFF]、[AFC])ごとに設定できます。	—
AF 追従感度	被写体の動きに合わせてピント合わせを行うときの感度を設定します。 ● 被写体との距離が大きく変わったとき — [+]: すぐにピントを合わせ直します。異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。 — [-]: ピントの合わせ直しを少し待ちます。カメラの前を障害物が横切った場合など、意図しないピントの合わせ直しを防ぐことができます。 ● フォーカスモードが[AFF]または[AFC]時に働きます。	—

MENU ボタン → f/c [カスタム]

AF+MF	AFロックしている間(フォーカスモードが[AFS]時のシャッターボタン半押し、または[AF/AE LOCK]でのAFロック)に手動でピントを微調整することができます。	—
MFアシスト	MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。 ●設定項目は、使用するレンズによって異なります。 フォーカスリングのある交換レンズ(H-FS12060)装着時 []: レンズのフォーカスリングやフォーカスレバーを操作する、または ボタンを押すと、拡大表示されます。 [] FOCUS: レンズのフォーカスリングやフォーカスレバーを操作すると拡大表示されます。 []: ボタンを押すと拡大表示されます。 [OFF]: 拡大表示されません。 フォーカスリングのない交換レンズ装着時 [ON]、[OFF] ●以下の場合、MFアシストは表示されません。 — 動画撮影中 — 4K フォトの [] (4K プリ連写) で撮影時 — デジタルズーム使用時	—
MFアシスト表示	MFアシスト(拡大画面)を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。	—
MFガイド	手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できるMFガイドを画面に表示します。  ∞(無限)を示す目安	—

MENU ボタン → fC [カスタム]

ピーキング

手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分(画面上で輪郭がはっきりした部分)に色を付けて表示します。

- [設定] で [検出レベル] を [高] に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。
- [検出レベル] の設定を変更すると、[表示色] の設定も以下のように切り換わります。

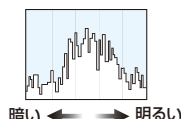
[検出レベル]	[高]	↔	[低]
[表示色]	[■] (水色)		[■] (青)
	[■] (黄色)		[■] (オレンジ)
	[■] (黄緑)		[■] (緑)
	[■] (ピンク)		[■] (赤)
	[■] (白)		[■] (灰色)

- [fC] の [設定] をタッチすることにより [ON] (検出レベル: 低) → [ON] (検出レベル: 高) → [OFF] の順に切り換わります。
- クリエイティブコントロールモードの [ラフモノクローム] ではピーキングは動きません。

ヒストグラム表示

- ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。
▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定することができます。
- 撮影画面でも直接タッチ操作できます。

- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断することができます。



- 撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。
 - 露出補正時
 - フラッシュが発光するとき
 - 低照度時など適正露出にならないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。

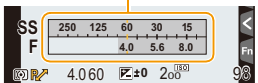
ガイドライン表示

- 撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
[設定] にすると、▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定することができます。
- 撮影画面でも、ガイドライン上の [設定] を直接タッチ操作できます。
 - シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定時、ガイドラインは表示されません。

MENU ボタン→fC[カスタム]

センターマーカー表示	撮影画面の中心を示す[+]を表示します。被写体を画面の中心にとらえたままズーム操作するときには便利な表示です。	—
ハイライト表示	オートレビューまたは再生時に、白飛びの起きている部分を黒と白の点滅で表示します。  ● 白飛びが起きている場合は、ヒストグラム(P180)を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P94)再度撮影することをお勧めします。 ● 4K フォト再生、フォーカスセレクト撮影した画像の再生、マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は動きません。	—
ゼブラパターン表示	白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示します。 [ゼブラ1]:  [ゼブラ2]:  [設定]から、縞模様で表示する明るさを設定できます。 ● 選べる明るさの範囲は[50 %]から[105 %]までです。 ● [ゼブラ2]では、[OFF]に設定することができます。 ● [100 %]または[105 %]を選択すると、白飛びを起こしている部分だけが縞模様で表示されます。数値を小さくすると、縞模様で表示する明るさの範囲が広がります。 ● 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラム(P180)を参考に、露出をマイナス方向に補正して(P94)撮影することをお勧めします。 ● 表示される縞模様は記録されません。 ● カスタムメニューの[Fnボタン設定](P51)に[ゼブラパターン表示]を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに[ゼブラ1]→[ゼブラ2]→[OFF]の順に切り換わります。 ● [ゼブラ2]を[OFF]に設定時は、[ゼブラ1]→[OFF]の順に切り換わり、素早く切り換えることができます。	—
モノクロライブビュー	撮影画面を白黒表示にすることができます。白黒で表示する方が、マニュアルフォーカスでピントを合わせやすい場合に便利な機能です。 ● 撮影時にHDMI出力する場合、接続した機器には動きません。 ● 撮影画像に影響はありません。	—

MENU ボタン → **f**c [カスタム]

常時プレビュー (M モード)	マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。 ●フラッシュ使用時は動きません。	—
露出メーター	露出メーターを表示するかどうかを設定します。  露出メーター ●[ON]に設定すると、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に露出メーターが表示されます。 ●適正でない範囲が、赤色で表示されます。 ●露出メーターが表示されないときは、[DISP.] ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。 ●約4秒間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。	—
LVF表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。	P42
モニター表示 スタイル	モニターの表示方法を設定します。	P42
モニター撮影 情報画面	モニターの撮影情報画面 (P42) を表示します。	—
記録枠表示	動画撮影時の画角と写真撮影時の画角を切り換えます。 ●記録枠表示は目安です。 ●4K フォト撮影時やフォーカスセレクト撮影時、[記録枠表示] は使えません。	—
残枚数/残時間 切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。 ●残り枚数が 10000 枚以上の場合は、[9999 +] と表示されます。	—
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示します。 [時間]を[ホールド]に設定すると、シャッターボタン半押しまで画像を表示します。 [再生操作優先]を[ON]に設定すると、オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。 ●[時間]を[ホールド]に設定時、[再生操作優先]は[ON]に固定されます。 ●4K フォトおよびフォーカスセレクト撮影時、[オートレビュー]の[時間]の設定項目は [ON]、[OFF]に切り換わります。[再生操作優先]は、[ON]に固定されます。	—
ファンクション Fn ボタン設定	ファンクションボタンに、撮影機能などを割り当てます。	P51

MENU ボタン→f/c[カスタム]

レンズ位置 メモリー	電源を切ったときのピントの位置を記憶します。パワーズームに対応した交換レンズを装着した場合、ズーム位置も記憶します。	—
Q.MENU	[カスタム]に設定すると、クイックメニューの項目をお好みで変更できます。	P50
ダイヤル設定	後ダイヤルと前ダイヤルの操作方法を変更します。	P41
動画ボタン	動画ボタン動作の有効、無効を設定します。	—
パワーズーム レンズ	パワーズーム(電動式ズーム)対応交換レンズ使用時の画面の表示やレンズの動作を設定します。	P129
アイセンサー	アイセンサーの感度やモニター表示/ファインダー表示の切り換えを設定します。	P37
タッチ設定	タッチ操作の有効、無効を設定します。 [タッチパネル]: すべてのタッチ操作。 [タッチタブ]: 画面右に表示される[ >]などのタブ操作。 [タッチ AF]: タッチした被写体にピントを合わせる操作([AF])。またはピントと明るさを合わせる操作([AF+AE])。 [タッチパッド AF]: ファインダー表示中にモニターをタッチして AF エリアを移動させる操作。(P88)	—
タッチ再生送り 速度	タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。	—
メニューガイド	モードダイヤルを  /  に切り換えたときに選択画面を表示するかしないかを設定します。	—
レンズ無し リリース	本体にレンズを取り付けていないときに、シャッターが切れるようにするか、切れないようにするかを設定します。	—

✎ セットアップメニュー

MENU ボタン → ✎ [セットアップ]

取扱説明書のWebサイト	[URL表示]、[QRコード表示]	—
時計設定	日付や時刻を変更するときに設定します。	P34
ワールドタイム	お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。 ● [旅行先] の設定は、[ホーム] 設定後に行えます。 [旅行先]、[ホーム] のいずれかを選択後は、◀/▶ ボタンでエリアを選び、[MENU/SET] ボタンを押して決定してください。 [✈ 旅行先]: 旅行先の地域 現地時刻 10:00 10:30 ホームとの時差 + 0:30 [🏠 ホーム]: お住まいの地域 現在時刻 10:00 GMT(グリニッジ標準時)との時差 GMT+ 9:00 ● サマータイム [☀ 夏時間] を採用している場合は、▲ ボタンを押してください。(時計が1時間進みます) もう一度▲ ボタンを押すと元に戻ります。 ● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。	—

MENU ボタン → [セットアップ]

    	[トラベル日付設定] を設定すると、出発日と帰着時を基に旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。 ●現在の日付が帰着日を経過した場合は、自動的に解除されます。 [トラベル日付設定]を[OFF]にした場合は、[旅行先]も自動的に[OFF]になります。 ●[旅行先] を設定すると、入力した旅行先の名前が記録されます。 ●文字の入力方法: (P54) ●経過日数や旅行先は、再生時に表示させたり、[文字焼き込み] (P200) で撮影画像に焼き込むことができます。 ●ソフトウェア[PHOTOfunSTUDIO] (P252) を使って経過日数や旅行先をプリントすることができます。 ●トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。 ●[AVCHD] で撮影された動画は[トラベル日付]は記録できません。 ●以下の場合、[旅行先]は記録できません。 —動画撮影時 —4K フォト撮影時 —フォーカスセレクト撮影時	—
Wi-Fi	[Wi-Fi 機能] [Wi-Fi 設定]	P208 P245
電子音	電子音や電子シャッター音を設定します。 [電子音音量]、[電子シャッター音音量]、[電子シャッター音音色] ●[サイレントモード]を[ON]に設定時は、[電子音音量]、[電子シャッター音音量]はOFFになります。	—
ライブビューモード	撮影時の画面(ライブビュー画面)の表示速度を設定します。 [30fps]: 電力消費を抑え、使用時間が長くなります。 [60fps]: 動きを滑らかに表示できます。 ●[ライブビューモード]を[30fps]に設定すると、[60fps]設定時より撮影画面の画質が劣る場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ●ファインダーは[60fps]に固定されます。	—

MENU ボタン → [セットアップ]

モニター調整 / LVF調整	モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する ● 後ダイヤルを回しても、調整できます。 [MENU/SET] ボタンを押して決定する ● モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。 ● 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。	—
モニター輝度	[A*(AUTO)]: 周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。 [1*(MODE1)]: モニターを明るくします。 [2*(MODE2)]: モニターを標準的な明るさにします。 [3*(MODE3)]: モニターを暗くします。 ● 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。 ● [MODE1]のモニターは、撮影時30秒間何も操作しないと、自動的に標準的な明るさに戻ります。ボタンまたはタッチ操作で、再び明るく点灯します。 ● [AUTO]または[MODE1]設定時は、使用時間が減少します。 ● 再生時は、[AUTO]は選択できません。 ● ACアダプター(別売:DMW-AC10)使用時の初期設定は[MODE2]になります。	—

MENU ボタン → [セットアップ]

     エコモード	[スリープモード]: 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 [スリープモード(Wi-Fi)]: Wi-Fi接続が切断されている間に約15分間操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります。 [LVF/モニター自動OFF]: 設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニター/ファインダーを消灯します。 [省電力ファインダー撮影]: ファインダー/モニター自動切換 (P37) を使い、モニターを[モニター撮影情報画面] (P42) で表示しているとき、設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。 ● [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影]を解除する場合は、シャッターボタンを半押しするか、電源スイッチを[OFF]にしてからもう一度[ON]にしてください。 ● モニター/ファインダーを再度点灯させるには、いずれかのボタンを押す、またはモニターをタッチしてください。 ● 以下の場合、[エコモード]は働きません。 → パソコンまたはプリンター接続時 → 動画撮影/動画再生時 → スライドショー時 → 4K フォトの[(4K プリ連写)]で撮影時 → [多重露出]設定時 → インターバル撮影時 → コマ撮りアニメ時([自動撮影]設定時のみ) → 撮影時での HDMI 出力中 ● ACアダプター(別売: DMW-AC10)使用時は、[スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影]は働きません。 ● ACアダプター(別売: DMW-AC10)使用時は、[LVF/モニター自動OFF]は[5分]に固定されます。	—
バッテリー 使用順序	[本体優先]、[BG 優先]	P265

MENU ボタン → [セットアップ]

USBモード	USB接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。 [ 接続時に選択]: 機器との接続時にUSB通信方式を選ぶ場合に設定します。 [ PictBridge(PTP)]: PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。 [ PC]: パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。	-
テレビ接続設定	[HDMI出力解像度(再生時)]: HDMIマイクロケーブルを使って本機を HDMI 対応のハイビジョンテレビに接続して再生する際に、HDMI 出力の映像方式を設定します。 [AUTO]: 接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。 [4K]: 有効走査線数2160本のプログレッシブ方式、出力解像度 3840×2160 で出力をします。 [1080p]: 有効走査線数1080本のプログレッシブ方式で出力をします。 [1080i]: 有効走査線数1080本のインターレース方式で出力をします。 [720p]: 有効走査線数720本のプログレッシブ方式で出力をします。 [480p]: 有効走査線数480本のプログレッシブ方式で出力をします。 ●再生時のみ働きます。 ●[AUTO]に設定していて映像がテレビに出ないときは、[AUTO]以外の固定された設定に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。(テレビの説明書もお読みください)	P248
	[HDMI 情報表示(撮影時)]: HDMIマイクロケーブルで接続してテレビなどでモニターしながら撮影する際に、情報を表示するかしないかを設定をします。 ●テレビ接続時は、テレビの音量を下げてください。	P249
	[3D テレビ出力]: 3D画像の出力方法を設定します。 [ 3D]: 3D対応テレビに接続する場合に設定します。 [ 2D]: 3D非対応のテレビに接続する場合に設定します。 3D対応テレビで2D(従来の画像)再生したい場合も、この設定にしてください。	P261

MENU ボタン→ [セットアップ]

テレビ接続設定 (続き)	[ピエラリンク]: [ON]に設定すると、本機とHDMIマイクロケーブルを使って接続したピエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ピエラリンク対応機器のリモコンで操作できるようになります。	P250
メニュー位置 メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を、メニューの種類ごとに記憶します。	—
メニュー背景色	メニュー画面の背景色を設定します。	—
メニューイン フォメーション	メニュー画面にメニュー項目/設定内容の説明文を表示します。	—
言語設定	画面表示の言語を設定します。 ● 誤った言語に設定した場合は、メニューアイコンの[Q]を選び言語を設定してください。	—
バージョン表示	本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。 ● バージョン表示画面で[MENU/SET]ボタンを押すと、本機のソフトウェアに関する情報を表示します。	—
露出補正リセット	撮影モード変更時および電源 OFF 時に露出補正量をリセットすることができます。	—
番号リセット	次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。 ● フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。 ● フォルダー番号は100~999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなりますので、データをパソコンなどに保存してフォーマット(P28)することをお勧めします。 ● フォルダー番号を100にリセットするには、まずカードをフォーマットしてから、[番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットしてください。そのあと、フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい]を選びます。	—

MENU ボタン→ [セットアップ]

設定リセット	以下のそれぞれの設定をお買い上げ時の状態に戻します。 – 撮影設定 ([個人認証]、[プロフィール設定] 以外) – 撮影設定 ([個人認証]、[プロフィール設定] の設定内容) – セットアップ/カスタム設定 ● セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。 – [ワールドタイム] の設定内容 – [トラベル日付] の設定内容 (出発日、帰着日、旅行先) – 再生メニューの [縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容 ● フォルダー番号、時計の設定は変わりません。	–
Wi-Fi 設定リセット	Wi-Fi メニューで設定したすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。([PicMate 設定] は除く) ● カメラを廃棄または譲渡する場合は、設定した個人情報を誤って使用されないためにも、必ずリセットしてください。 ● 修理を依頼する場合も、個人情報の控えをとったあと、必ずリセットしてください。	–
ピクセルリフレッシュ	撮像素子と画像処理の最適化を行います。 ● 撮像素子と画像処理の最適化については、お買い上げ時は最適な状態に設定されています。被写体にはない明るい点が記録され、気になるときは、本機能をお使いください。 ● 終了後は、電源を入れ直してください。	–
センサークリーニング	撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。 ● ダストリダクション機能は電源スイッチを [ON] にすると自動的に働きますが、特にごみが気になるときは、本機能をお使いください。	–
水準器調整	[調整]: カメラを水平な状態にし、[MENU/SET] ボタンを押してください。水準器が調整されます。 [調整値リセット]: 水準器の調整値をお買い上げ時の状態に戻します。	–
デモモード	フォーカスセレクト (P112) のピント合わせやピーキングなどをイメージ画像にてお試しください。	–
フォーマット	カードをフォーマット (初期化) します。	P28

再生メニュー

- 2D/3D 切換 (P192)
- スライドショー (P192)
- 再生モード (P193)
- 位置情報記録 (P194)
- RAW 現像 (P195)
- 4K フォト一括保存 (P197)
- 比較明合成 (P197)
- クリアレタッチ (P198)
- タイトル入力 (P199)
- 文字焼き込み (P200)
- 動画分割 (P201)
- インターバル動画作成 (P201)
- コマ撮りアニメ作成 (P202)
- リサイズ(縮小) (P202)
- トリミング(切抜き) (P203)
- 画像回転 (P204)
- 縦位置自動回転 (P204)
- お気に入り (P204)
- プリント設定 (P205)
- プロテクト (P206)
- 認証情報編集 (P206)
- 画像表示順 (P207)
- 消去確認画面 (P207)

- 以下の再生メニューは、編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量がない場合、新しい画像を作成できません。事前に容量を確認することをお勧めします。
 - [RAW現像]/[4K フォト一括保存]/[比較明合成]/[クリアレタッチ]/[文字焼き込み]/
 [インターバル動画作成]/[コマ撮りアニメ作成]/[リサイズ(縮小)]/[トリミング(切抜き)]
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

■ [1 枚設定]、[複数設定] での画像の選び方

- [1 枚設定] または [複数設定] が選べない場合は、[1 枚設定] と同じ選び方になります。

[1 枚設定] 選択時

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選ぶ
- 2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 画面右下に [設定/解除] と表示される場合、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。



[複数設定] 選択時

右のような画面の場合

- 1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)
 - もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。
- 2 ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する



右のような画面の場合

- ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する (繰り返す)
- もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。



2D/3D切換

3D 画像の再生方法を切り換えることができます。

MENU ボタン → [再生] → [2D/3D切換]

● 3D 再生が可能な場合にのみ表示されるメニューです。(P261)

スライドショー

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生することができます。また、写真のみや、動画のみなどをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

MENU ボタン → [再生] → [スライドショー]

1 ▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [動画のみ] 設定時、4K 連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。
- フォーカスセレクト撮影した画像は、ピントが合っている代表画像のみが再生されます。
- カテゴリーの詳細は: (P193)

2 ▲ ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ スライドショー中の操作

ボタン 操作	タッチ 操作	操作内容	ボタン 操作	タッチ 操作	操作内容
▲		再生 / 一時停止	▼		スライドショーを終了する
◀		前の画像へ	▶		次の画像へ
		音量を下げる			音量を上げる

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で [効果] または [設定] を選べると、スライドショー再生時の設定を変更することができます。

効果	画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。 ● [おまかせ] は、[カテゴリー選択] 選択時のみ使用できます。カテゴリーごとにお勧めの効果で再生します。	
設定	再生間隔	● [再生間隔] は、[効果] を [OFF] に設定しているときのみ設定できます。
	リピート	[ON]、[OFF]
	音設定	[AUTO]: 写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 音声(動画のみ)を再生します。 [OFF]: 音を出しません。

- 4K連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像またはグループ画像のスライドショー時は、[効果]を設定していても無効になります。
- 以下をスライドショー時、[再生間隔]の設定は無効になります。
 - － 動画
 - － 4K連写ファイル
 - － フォーカスセレクト撮影した画像
 - － パノラマ写真
 - － グループ画像

再生モード

[通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ]、[4K フォト]、[フォーカスセレクト]、[3D]、[カテゴリ再生]または[お気に入り再生]を選び、再生することができます。

MENU ボタン → [再生] → [再生モード]

1 ▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [動画のみ]設定時、4K連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。

2 ([カテゴリ再生] 選択時)

▲/▼/◀/▶ ボタンでカテゴリを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 分類されるカテゴリは以下のとおりです。

	－ 個人認証
	－ 自動シーン判別の i 人物 / i 夜景 & 人物 / i 赤ちゃん － シーンガイドモードの [人物をきれいに撮る] / [人物の肌をきれいに撮る] / [逆光でふんわり撮る] / [逆光でしっかり撮る] / [ほのぼのした雰囲気撮る] / [子どもをかわいく撮る] / [夜景をバックに人物をきれいに撮る]
	－ 自動シーン判別の i 風景 / i 夕焼け － シーンガイドモードの [風景をきれいに撮る] / [青空をさわやかに撮る] / [夕焼けを幻想的に撮る] / [夕焼けを印象的に撮る] / [水面をキラキラ撮る]
	－ 自動シーン判別の i 夜景 & 人物 / i 夜景 / i 手持ち夜景 － シーンガイドモードの [夜景をきれいに撮る] / [夜空をクールに撮る] / [夜景を暖かく撮る] / [夜景をアーティスティックに撮る] / [イルミネーションをキラキラ撮る] / [夜景を手持ちで撮る] / [夜景をバックに人物をきれいに撮る]
	－ シーンガイドモードの [スポーツをきれいに撮る]
	－ 自動シーン判別の i 料理 － シーンガイドモードの [料理をおいしそうに撮る] / [スイーツをかわいく撮る]
	－ トラベル日付
	－ 連写速度を [SH] で連続撮影した写真 － [4K フォト一括保存] で一括で保存した写真
	－ インターバル撮影、インターバル動画作成
	－ コマ撮りアニメ、コマ撮りアニメ作成

位置情報記録

スマートフォンから送信された位置情報(緯度・経度)を画像に書き込むことができます。

- 位置情報の送信と画像への書き込みは、スマートフォンでの操作で行えます。(P218)
- お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」をインストールする必要があります。(P211)
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

準備: スマートフォンから本機に位置情報を送信する

MENU ボタン →  [再生] → [位置情報記録]

- ▲/▼ ボタンで [位置情報データ付与] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで位置情報を書き込む期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 位置情報を書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

■ 位置情報の書き込みを中断する

位置情報の書き込み中に [MENU/SET] ボタンを押す

- 中断した期間には [○] が表示されます。
- [○] が表示された期間を再度選択すると、位置情報の書き込みを続きから開始します。

■ 受信した位置情報を消去する

- ▲/▼ ボタンで [位置情報データ消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ▲/▼ ボタンで位置情報を消去する期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

こんなときは使えません

- 以下の場合、位置情報は書き込まれません。
 - 位置情報の送信 (P218) 後に撮影した画像
 - [AVCHD] で撮影した動画
 - すでに位置情報が書き込まれている画像

RAW 現像

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真はJPEG形式で保存されます。

MENU ボタン → [再生] → [RAW 現像]

1 / ボタンで RAW 画像を選び、

[MENU/SET] ボタンを押す

2 / ボタンで項目を選ぶ

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。



ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整することができます。[]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
露出補正	-1 EV ~ +1 EV の範囲で露出補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果([スタンダード]、[ヴィヴィッド]、[ナチュラル]、[モノクローム]、[L.モノクローム]、[風景]、[人物])を選べます。
IDレンジコントロール	IDレンジコントロールの設定([強]、[中]、[弱]、[OFF])を選べます。
コントラスト	コントラストを調整することができます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]を選択している場合は、色調の調整になります)
フィルター効果	フィルター効果を選べます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]を選択している場合のみ)
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定([強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF])を選べます。
シャープネス	解像感を調整できます。
設定	以下の設定ができます。 [調整前に戻す]: 撮影時の設定に戻すことができます。 [色空間]: 色空間を[sRGB]または[Adobe RGB]から選べます。 [記録画素数]: 保存時のJPEG画像のサイズ([L]、[M]、[S])を選べます。

3 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 196 ページの「各項目の設定方法」をお読みください。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順2の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順2から4を繰り返してください。

5 / ボタンで [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 各項目の設定方法

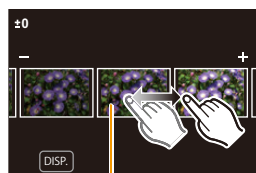
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示 (P96) ([ホワイトバランス] の [1/1] 選択時のみ)
▼	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を表示 (P97) ([ホワイトバランス] 選択時のみ)
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。
- 2回タッチすると拡大表示されます。拡大時に2回タッチすると元の表示に戻ります。

比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



現在の設定

- 中央の写真をタッチすると拡大表示されます。[1/1] をタッチすると元の表示に戻ります。

[設定] 選択時

項目を選ぶと、[調整前に戻る]、[色空間]、[記録画素数] の選択画面が表示されます。

① ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [調整前に戻る] を選択時、確認画面が表示されます。[はい] を選ぶと実行され、項目の選択画面に戻ります。

② ▲/▼ ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 本機で行うRAW現像の結果と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」(P253)で行うRAW現像の結果は完全には一致しません。
- 撮影時の画像横縦比にかかわらず、本機で撮影したRAW画像は常に[4:3] (4592×3448)で記録されますが、再生メニューの[RAW現像]では撮影時の画像横縦比固定で現像されます。
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。

🚫 こんなときは使えません

- HDMI マイクロケーブル接続時、[RAW現像]は使えません。
- RAW現像できるのは本機で撮影したRAW画像のみです。

4K フォト一括保存

4K連写ファイルから、5 秒分の写真を一括保存することができます。

MENU ボタン → [再生] → [4K フォト一括保存]

1 ◀/▶ ボタンで 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

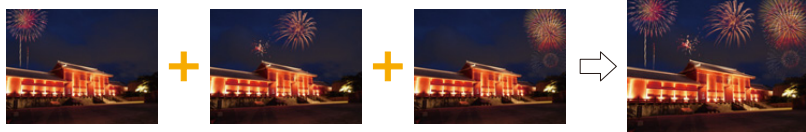
- 連写時間が 5 秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

2 一括で写真として保存する最初のコマを選ぶ

- 選択方法は、4K 連写ファイルから写真を選ぶ操作と同じです。
詳しくは 107 ページをお読みください。
- 写真は JPEG 形式で、ひとつの連写グループ (P155) として保存されます。

比較明合成

4K連写ファイルから、合成したいコマを複数選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1 枚の写真を合成します。



MENU ボタン → [再生] → [比較明合成]

1 ◀/▶ ボタンで 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 合成方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[選択合成] 選択時

合成したいコマを選んで、明るい部分を重ね合わせます。

① コマを選ぶ

ボタン操作およびタッチ操作は：(P109)

- 表示の拡大/縮小、スライドビュー表示はできません。
- タッチ操作の は、 となります。

② [MENU/SET] ボタンを押す

選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。

▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。

– [次の画像]：さらに合成したいコマを選べます。

手順 ① に戻ります。

– [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。

– [保存]： コマの選択を終了します。



③ 手順 ① ～ ② を繰り返し、合成したいコマを選ぶ

- 最大 40 コマまで選べます。

④ ▼で[保存]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**[範囲合成] 選択時**

先頭と終了のコマを決めて、その範囲内で明るい部分を重ね合わせます。

① 先頭画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

選択方法は、[選択合成] の手順 ① と同じです。

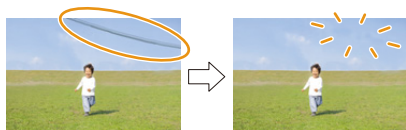
② 終了画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す**3 確認画面で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

合成された写真が表示されます。

- 写真は JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

クリアレタッチ 不要な部分を消去する

- 消去操作はタッチでのみ行えます。
[クリアレタッチ] では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



MENU ボタン → [再生] → [クリアレタッチ]

1 ◀/▶ ボタンで写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**2 消去したい部分をなぞる**

- 消去される部分に色が付きます。
- [1 つ戻す] をタッチすると、色が付いた部分が 1 つ前の状態に戻ります。



細かい部分を消去するには (拡大表示)

- ① [移動] をタッチする**
 - 画面をピンチアウト/ピンチイン (P44) すると、拡大/縮小表示できます。
 - 画面をドラッグすると、拡大部分を移動することができます。
- ② [消去] をタッチする**
 - 消去したい部分をなぞる操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分をなぞることができます。



続く

3 [決定]をタッチする

4 [保存]をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押す

- 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
- グループ画像は 1 枚ずつクリアレタッチしてください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にクリアレタッチを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。



こんなときは使えません

- ファインダー表示時は使えません。
- 以下の画像はクリアレタッチはできません。
 - 動画
 - 4K連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]で撮影された写真
 - クオリティを[RAW]にして撮影された画像

タイトル入力

撮影画像に文字(コメント)を入力しておくことができます。入力後、[文字焼き込み] (P200)で撮影画像に焼き込むことができます。

MENU ボタン → [再生] → [タイトル入力]

1 画像を選ぶ(P191)

- すでにタイトルが入力されている画像にはが表示されます。

2 文字を入力する(P54)

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P252)を使って、文字(コメント)をプリントすることができます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。



こんなときは使えません

- 以下の場合、タイトル入力できません。
 - 動画
 - 4K連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影された画像

文字焼き込み

撮影した画像に、記録された情報を焼き込むことができます。



MENU ボタン → [再生] → [文字焼き込み]

1 画像を選ぶ(P191)

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に が表示されます。

2 ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

撮影日時	撮影日時を焼き込みます。
名前	[] (個人認証): [個人認証] で登録された名前を焼き込みます。 [] (赤ちゃん/ペット): [プロフィール設定] で登録された名前を焼き込みます。
旅行先	[旅行先] で設定された旅行先名を焼き込みます。
トラベル日付	[トラベル日付] で設定されたトラベル日付を焼き込みます。
タイトル	[タイトル入力] で入力されたタイトルを焼き込みます。

3 ボタンを押して前の画面に戻る

4 ▲ ボタンで [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 文字焼き込みされた画像をプリントする場合、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- グループ画像に文字焼き込みを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。

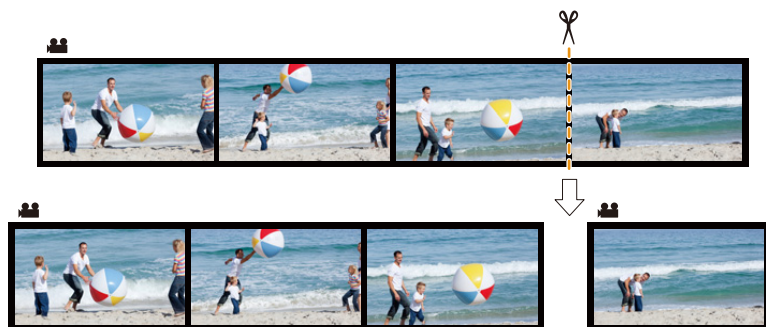


こんなときは使えません

- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - シーンガイドモードの [パノラマ] で撮影された写真
 - 時計とタイトルを設定せずに撮影された画像
 - 文字焼き込みされた画像
 - クオリティを [RAW] にして撮影された画像

動画分割

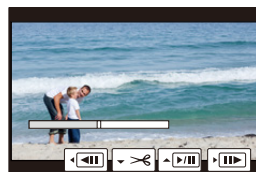
撮影した動画を2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。分割すると、元に戻すことができません。



MENU ボタン → [再生] → [動画分割]

- 1 ◀/▶ ボタンで分割編集したい動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 分割したい位置で ▲ ボタンを押す
 - 一時停止中に ◀/▶ ボタンを押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。
- 3 ▼ ボタンを押す

- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、動画が消失するおそれがあります。



こんなときは使えません

- 動画の最初や最後のほうでは分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い動画は分割できません。

インターバル動画作成

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画はMP4の記録方式で保存されます。

MENU ボタン → [再生] → [インターバル動画作成]

- 1 ◀/▶ ボタンでインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 動画の作成方法を選び、動画化する
 - 詳しくは [119](#) ページをお読みください。
 - 作成した動画については、[119](#) ページのお知らせもお読みください。

コマ撮りアニメ作成

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画は MP4 の記録方式で保存されます。

MENU ボタン → [再生] → [コマ撮りアニメ作成]

1 ◀/▶ ボタンでコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは 119 ページをお読みください。
- 作成した動画については、119 ページのお知らせもお読みください。

リサイズ(縮小) 画像サイズ(画素数)を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。



MENU ボタン → [再生] → [リサイズ(縮小)]

画像、サイズを選ぶ

[1枚設定] 選択時

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定] 選択時

- 1 ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)
 - もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- 3 ◀ ボタンを押して [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して実行する

- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- リサイズ(縮小)を行うと画質が粗くなります。



こんなときは使えません

- 以下の画像はリサイズ(縮小)できません。
 - 動画
 - 4K連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]で撮影された写真
 - グループ画像
 - 文字焼き込みされた画像
 - クオリティを[RAW]にして撮影された画像

トリミング(切抜き) 画像を切り抜く

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。



MENU ボタン →  [再生] → [トリミング(切抜き)]

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルと ▲/▼/◀/▶ ボタンで切り抜く部分を選ぶ

後ダイヤル(右回し): 拡大 後ダイヤル(左回し): 縮小
 ▲/▼/◀/▶: 移動

-  /  をタッチしても拡大 / 縮小できます。
- 画面をドラッグしても移動できます。

- 3 [MENU/SET] ボタンを押す

- トリミング(切抜き)を行うと画質が粗くなります。
- グループ画像は 1 枚ずつトリミング(切抜き)してください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にトリミング(切抜き)を行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミング(切抜き)を行った画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

こんなときは使えません

- 以下の画像はトリミング(切抜き)できません。
 - 動画
 - 4K連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]で撮影された写真
 - 文字焼き込みされた画像
 - クオリティを[RAW]にして撮影された画像

画像回転(画像を手動で回転する)

画像を手動で90°ごと回転させます。

- [縦位置自動回転]を[OFF]に設定すると、[画像回転]は選択できません。

MENU ボタン →  [再生] → [画像回転]

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 回転する方向を選ぶ

[➡]: 時計回りに90°回転します。

[⬅]: 反時計回りに90°回転します。



縦位置自動回転(画像を自動で回転して表示する)

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させることができます。

MENU ボタン →  [再生] → [縦位置自動回転] → [ON]

こんなときは使えません

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。[Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです]

お気に入り

画像にマークを付け、お気に入り画像として設定しておくと、以下のことができます。

- お気に入りに設定した画像のみスライドショーで再生する。
- お気に入りに設定した画像のみ再生する。([お気に入り再生])
- お気に入りに設定した画像以外を消去する。([お気に入り以外全消去])

MENU ボタン →  [再生] → [お気に入り]

画像を選ぶ(P191)

■ [お気に入り]設定を全解除する

▲/▼ ボタンで[全解除]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [再生モード]を設定中は、[全解除]を選択できません。

- 999枚まで設定できます。

こんなときは使えません

- [クオリティ]を[RAW]にして撮影された画像は、お気に入りに設定できません。

プリント設定

DPOFプリントに対応したお店やプリンターでプリントするときに、画像、枚数や日付プリントを指定することができます。詳しくは、お店にお尋ねください。

- グループ画像に[プリント設定]を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされます。

MENU ボタン →  [再生] → [プリント設定]

1 画像を選ぶ(P191)

2 ▲/▼ ボタンでプリント枚数を設定し、[MENU/SET] ボタンで決定する

- [複数設定] 選択時は、手順 **1, 2** を繰り返してください。(一括設定することはできません)
- グループ画像に対して [プリント設定] を行ったとき、合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[999+] と表示されます。

■ [プリント設定] を全解除する

▲/▼ ボタンで [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 日付をプリントする

プリント枚数設定時、▶ ボタンを押すごとに日付プリントを設定/解除できます。

- 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。
- 文字焼き込みされた画像に日付プリントは設定できません。

- プリント枚数は 0～999 枚まで設定できます。

- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。

こんなときは使えません

- 以下の画像はプリント設定できません。
 - － 動画
 - － 4K 連写ファイル
 - － フォーカスセレクト撮影した画像
 - － クオリティを [RAW] にして撮影された画像

プロテクト

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定することができます。

MENU ボタン →  [再生] → [プロテクト]

画像を選ぶ(P191)

■ [プロテクト] 設定を全解除する

▲/▼ ボタンで [全解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



画像をプロテクトしなくても、カードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、消去はされません。

- [プロテクト] 設定は本機以外では無効になる場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。

認証情報編集

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

MENU ボタン →  [再生] → [認証情報編集]

- 1 ▲/▼ ボタンで [入換え] または [解除] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 3 ◀/▶ ボタンで人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 4 ([入換え] 選択時) ▲/▼/◀/▶ ボタンで入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- 個人認証情報をすべて解除した画像は、[カテゴリー再生] の個人認証に分類されません。
- グループ画像はグループ単位で認証情報編集を行ってください。(1 枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は 1 枚目の画像のみ編集できます。

画像表示順

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

MENU ボタン →  [再生] → [画像表示順]

ファイル名	フォルダー名/ファイル名の順番で表示します。カード内での画像の位置がわかりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数カメラで同じカードに撮影した場合は、画像が探しやすい表示形式です。

- 別のカードを入れたときなどでは、[撮影日時]の順で表示できない場合があります。しばらくすると、[撮影日時]の順で表示されます。

消去確認画面

画像消去時に表示される確認画面の選択肢 [はい]/[いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定します。

お買い上げ時は[「いいえ」がはじめ]に設定されています。

MENU ボタン →  [再生] → [消去確認画面]

「はい」がはじめ	最初に[はい]が選ばれるため、素早く消去操作を行えます。
「いいえ」がはじめ	最初に[いいえ]が選ばれます。誤って画像を消去することを防ぎます。

Wi-Fi[®] 機能でできること

スマートフォン/タブレットとつないで使う(P211)

スマートフォンで撮影する(P216)

カメラの画像を再生する(P216)

カメラの画像を保存する(P217)

カメラの画像をSNSへ送信する(P217)

位置情報をカメラの画像に書き込む(P218)

スナップムービーで撮影した動画を

スマートフォンでお好みに結合する(P220)



簡単接続

パスワードの入力なしに、簡単にスマートフォンとの直接接続ができます。



テレビに写真を映す(P221)



ワイヤレスでプリントする(P226)



AV 機器に画像を送る(P227)

写真や動画を家の中にある AV 機器(宅内 AV 機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人の AV 機器(宅外 AV 機器)にも、LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで送れます。



パソコンに画像を送る(P228)



Web サービスを利用する(P230)

LUMIX CLUB(PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスを利用すると、パソコンやスマートフォンで写真や動画を受信できます。

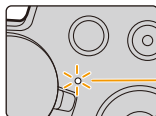
以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しないかぎり、本書では「スマートフォン」と記載します。

Wi-Fi機能について

■ ご使用の前に

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P34)
- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

■ Wi-Fi 接続ランプの表示について



青色点灯: Wi-Fi機能ON時、
またはWi-Fi接続中
青色点滅: 画像データ送信時

■ [Wi-Fi] ボタンについて

本書では[Wi-Fi]を設定したファンクションボタンを[Wi-Fi]ボタンと記載して説明しています。(お買い上げ時は、撮影時は[Fn6]に、再生時は[Fn1]に[Wi-Fi]が設定されています)

- ファンクションボタンについては:(P51)

[Wi-Fi] ボタンを押す操作(撮影時)

1 [Fn] をタッチする



2 [Fn6] をタッチする



Wi-Fi接続していないときに[Wi-Fi]ボタンを押すと、本機がスマートフォンとの接続待機状態になり、スマートフォンに直接接続することができます。(P212)

- その際に[DISP.]ボタンを押すと、以前に接続した履歴から素早く接続することができ便利です。(P243)

→ 続く

Wi-Fi 接続後に [Wi-Fi] ボタンを押すと、以下の操作ができます。

接続を終わる	Wi-Fi接続を終了します。
接続先を変える ※ 1	Wi-Fi接続を終了し、別の Wi-Fi 接続先を選択します。
画像の送信設定を変える ※ 2	(P224)
今の接続先をお気に入りに入れる ※ 1	現在の接続先や接続方法を登録して、次回簡単に同じ接続設定で接続することができます。
ネットワークアドレス表示	本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。

※ 1 画像表示中に▼ボタンを押し、Webサービスに画像を送る場合 (P232) は表示されません。

※ 2 [スマートフォンとつないで使う]、[TVで見る]または[カメラ内の画像を送る]の送信先が[プリンター]の場合は、表示されません。

■ 操作の記載方法について

手順で「[履歴から接続する]を選ぶ」などと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。

ボタン操作: カースルボタンで[履歴から接続する]を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作: [履歴から接続する] をタッチする



- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11gまたはIEEE802.11n対応のものを
ご使用ください。
- 情報セキュリティのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れ
たりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケッ
ト通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、
一部が表示できない画像が送信されることがあります。
- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。

スマートフォン/タブレットとつないで使う

スマートフォンを使って、リモート撮影をしたり、カメラ内の画像の再生や保存ができます。

- お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」（以降では「Image App」と表記）をインストールする必要があります。



スマートフォン/タブレットアプリ「Image App」をインストールする

「Image App」はパナソニック株式会社が提供するアプリケーションです。

●対応 OS

Android™: Android 4.0 以上

iOS: iOS 7.0 以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2016年9月現在のもので、対応OSは変更する場合があります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 本機とスマートフォンをWi-Fi接続して「Image App」で操作中は、お使いのスマートフォンによっては、「Image App」の「ヘルプ」の表示ができません。その場合は、いったん本機とのWi-Fi接続を終了して、3GやLTE等の携帯電話回線、またはインターネット回線に接続後、「Image App」の「ヘルプ」を表示してください。
- 対応OSや「Image App」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容がお使いの機器と一部異なる場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。

スマートフォン/タブレットと接続する

パスワードを利用せずに接続する

パスワードの入力なしに、簡単にスマートフォンとの直接接続ができます。

カメラ側

メニューを設定する(P47)

MENU ボタン→  [セットアップ]→ [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi機能]→ [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う]

- カメラがスマートフォンとの接続待機状態になり、SSID が表示されます。
- カメラの[Wi-Fi] ボタンを押すことでも表示できます。



SSID

スマートフォン側

- 1 設定メニューでWi-Fi機能をONにする
- 2 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSIDを選ぶ
- 3 「Image App」を起動する
 - カメラに接続確認画面が表示されたら、[はい]を選んで接続してください。(初回接続時のみ)



お買い上げ時は[Wi-Fi パスワード]が[OFF]に設定されています。

Wi-Fi 接続を開始する際、本機の接続確認画面に表示されている機器が実際に接続したい機器が必ずご確認ください。別の機器が表示されている場合でも、[はい]を選ぶとそのまま接続されます。お近くに別の Wi-Fi 接続機器があるような場合などは、[Wi-Fi パスワード]を[ON]に設定することをお勧めします。(P213)

パスワードを利用して接続する

パスワードを利用して接続することで、セキュリティをより強化できます。
QR コードの読み取り、またはパスワードの手動入力で接続することができます。

準備:

(カメラ側) [Wi-Fi パスワード] を [ON] にする (P245)

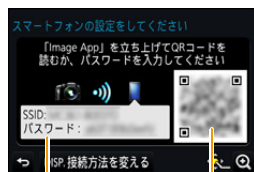
■ QRコードを使って接続する場合

カメラ側

メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う]

- カメラがスマートフォンとの接続待機状態になり、QRコード、SSID、パスワードが表示されます。
- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも表示できます。



SSID、
パスワード

スマートフォン側

1 「Image App」を起動する

2 [QRコード]を選ぶ

- スマートフォンが無線アクセスポイントに接続している場合、[QRコード]が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- (iOS 機器) 確認画面が表示されます。[OK] を選んで進んでください。

3 カメラの画面に表示されている QRコードを「Image App」で読み取る

- カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QRコードが拡大表示されます。

iOS機器(iPhone、iPod touch、iPad)をお使いの場合のみ

4 プロファイルをインストールする

[インストール] を選び、[インストール] → [完了] を選んでください。

- スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。

5 ホームボタンを押してブラウザを終了する

6 設定メニューで Wi-Fi機能をONにする

7 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示された SSIDを選ぶ

8 「Image App」を起動する

- (iOS 機器) 手順 1 ~ 5 は2回目以降は不要です。



■ パスワードを手動入力して接続する場合

カメラ側

メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う]

- カメラがスマートフォンとの接続待機状態になり、QRコード、SSID、パスワードが表示されます。
- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも表示できます。



スマートフォン側

- 1 設定メニューでWi-Fi機能をONにする
- 2 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSIDを選ぶ
- 3 カメラに表示されたパスワードをスマートフォンに入力する
(初回接続時のみ)
 - Android機器をお使いの場合、パスワードを表示のボックスにチェックを入れておくと、入力中のパスワードを確認しながら入力できます。
- 4 「Image App」を起動する



接続方法を変える

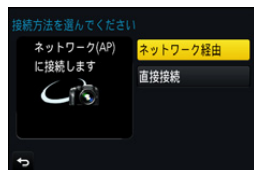
接続方法を切り換える場合は、以下の操作をしてください。

メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う] → [DISP.] ボタン

または

Wi-Fi ボタン → [DISP.] ボタン → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う] → [DISP.] ボタン



続く

無線アクセスポイントを使って接続する場合(ネットワーク経由)

カメラ側

1 [ネットワーク経由]を選ぶ

- 240 ページの接続方法に従って、本機を無線アクセスポイントに接続してください。

スマートフォン側

2 Wi-Fi機能をONにする

3 本機を接続した無線アクセスポイントに接続する

4 「Image App」を起動する (P211)

カメラとスマートフォンを直接接続する場合(直接接続)

カメラ側

1 [直接接続]を選ぶ

- [Wi-Fi Direct] または [WPS接続]* を選び、242 ページの接続方法に従って、本機をスマートフォンに接続してください。

※ WPS とは、無線LAN機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いのスマートフォンが対応しているかどうかは、スマートフォンの説明書をご覧ください。

スマートフォン側

2 「Image App」を起動する (P211)

接続を終了する

1 カメラを撮影モードにする

2 カメラのメニューで Wi-Fi 接続を終了する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi機能] → [はい]

- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも終了できます。
(P210)

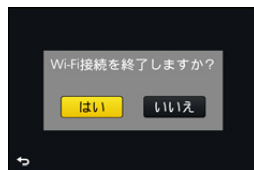
3 スマートフォンで「Image App」を終了する

(iOS 端末をお使いの場合)

「Image App」の画面でホームボタンを押してアプリを終了する

(Android 端末をお使いの場合)

「Image App」の画面で戻るボタンを 2 回押してアプリを終了する



スマートフォン/タブレットで撮影する(リモート撮影)

1 スマートフォンと接続する(P212)

2 スマートフォンを操作する

① []を選ぶ

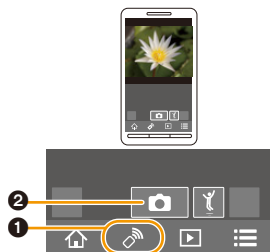
② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。

- スマートフォンで4Kプリ連写を撮影時に接続を終了する場合、カメラの [ / ] ボタンを押して 4K 連写に切り換えたあとに、接続を終了する操作をしてください。

こんなときは使えません

- 以下の場合、リモート撮影はできません。
 - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
 - インターバル撮影時



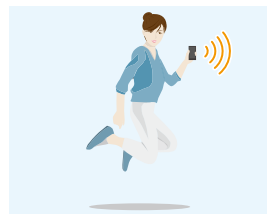
■ ジャンプ中の写真を撮影する

スマートフォンを持ってジャンプすると、スマートフォンがジャンプの頂点を検知して自動的にシャッターを切ることが出来ます。ジャンプ中の写真を撮るときに便利です。

スマートフォンを操作する

[] → [] → 感度を選ぶ

- スマートフォンのリモート撮影画面に [] が表示されます。
- 試し撮りをして、カメラのアングルやジャンプの強さなどを調整することをお勧めします。
- 詳しくは「Image App」のメニューの中のヘルプをお読みください。



カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する(P212)

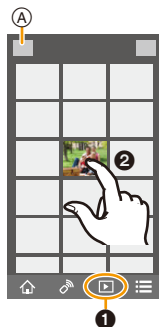
2 スマートフォンを操作する

① []を選ぶ

- 画面左上のアイコン(A)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。

② 画像をタッチして拡大する

- 動画再生時は、データサイズを小さくして「Image App」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に、画質劣化や音飛びが発生する場合があります。



カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する (P212)

2 スマートフォンを操作する

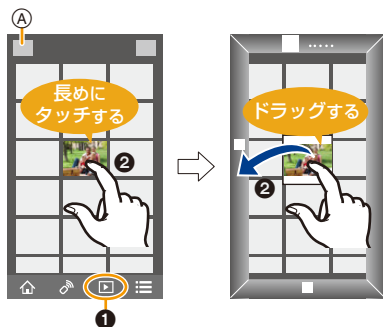
① [] を選ぶ

- 画面左上のアイコン(Ⓐ)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。

② 画像を長めにタッチし、ドラッグして保存する

- RAW 形式の写真、AVCHD 動画、[画質設定]のサイズが[4K]のMP4動画、4K連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は保存できません。

- 3D 写真(MPO 形式)は、2D 写真(JPEG 形式)で保存されます。



カメラの画像をSNSへ送信する

1 スマートフォンと接続する (P212)

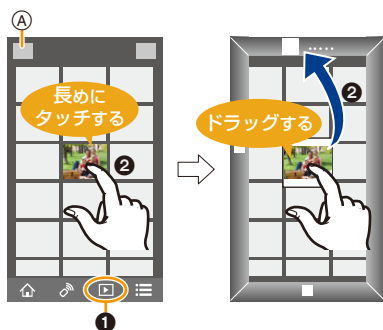
2 スマートフォンを操作する

① [] を選ぶ

- 画面左上のアイコン(Ⓐ)で、表示する画像を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。

② 画像を長めにタッチし、ドラッグしてSNSなどに送信する

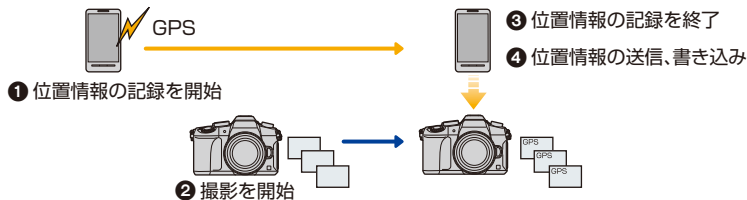
- SNSなどのWebサービスに画像が送信されます。



スマートフォン/タブレットからカメラの画像に位置情報を追加する

スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信できます。送信後に位置情報をカメラの画像に書き込むこともできます。

- 送信した位置情報の画像への書き込みは、再生メニューの[位置情報記録]でもできます。



- 撮影時と異なる位置情報が書き込まれるおそれがあります。以下についてお気をつけください。
 - カメラの[ワールドタイム]の[ホーム]の設定をお住まいの地域に設定してください。
 - スマートフォンで位置情報の記録開始後、カメラの[ワールドタイム]の[ホーム]の設定を変更しないでください。
- 時計設定を行わずに撮影した画像には、位置情報を書き込みません。

■ 位置情報の記録、撮影

1 スマートフォンで位置情報の記録を開始する

- ① [Image App]を起動する(P211)
- ② [🏠]を選ぶ
- ③ [ジオタギング]を選ぶ
- ④ [📍]を選んで、位置情報の記録を開始する



2 カメラで撮影する

3 スマートフォンで位置情報の記録を終了する

- ① [📍]を選んで、位置情報の記録を終了する

■ 画像への位置情報の書き込み

(カメラ側の準備)

スマートフォンと接続する(P212)

スマートフォンを操作する

- ① [Image App]を起動する(P211)
- ② [🏠]を選ぶ
- ③ [ジオタギング]を選ぶ
- ④ [📍]を選んで、位置情報の送信、書き込みをする
 - 画面のメッセージに従って、操作してください。
 - 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS]が表示されます。



- 使用上のお願い:

本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

- 位置情報の記録中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。位置情報記録を使用しない場合は、位置情報の記録を停止してください。
- スマートフォンで位置情報の取得間隔の設定と位置情報の送信状況の確認ができます。詳しくは「Image App」のメニューの中のヘルプをお読みください。



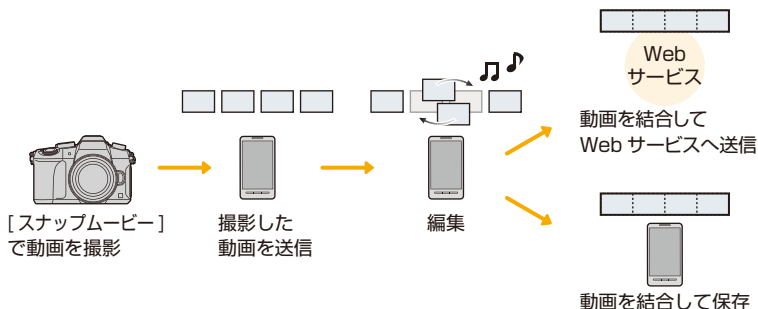
こんなときは使えません

- 以下の場合、位置情報は書き込まれません。
 - 位置情報の送信後に撮影した画像
 - [AVCHD]で撮影した動画
 - すでに位置情報が書き込まれている画像



スナップムービーで撮影した動画を スマートフォン/タブレットで好みに結合する

スマートフォンを使って、カメラの[スナップムービー]で撮影した動画(P147)をつなぎ合わせて音楽を付けることができます。つなぎ合わせた動画を保存したり、Webサービスへアップロードしたりできます。



■ スマートフォンを操作して動画を結合する

1 スマートフォンと接続する(P212)

2 スマートフォンを操作する

① [🏠]を選ぶ

② [スナップムービー]を選ぶ

- [スナップムービー]で撮影した動画のうち、日付の新しいものから自動でスマートフォンに送信されます。
- 日付の新しい動画がない場合は動画の選択画面が表示されるので、動画を選んで送信してください。

③ 動画を編集する

- スマートフォンを操作して、動画の順番の入れ替え、不要な動画の削除、音楽を付けるなどの編集をしてください。
- 編集した動画を結合してスマートフォンに保存したり、Webサービスへアップロードしたりできます。
- 「Image App」の[スナップムービー]の操作について、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。



- 「Image App」の[スナップムービー]は、Android OS 4.3以上に対応している必要があります。
- 「Image App」の[スナップムービー]は、iPhone 4 には対応していません。

テレビに写真を映す

DLNA規格のデジタルメディアレンダラー(DMR)機能に対応したテレビに写真を表示することができます。



準備

テレビを DLNA 待ち受けモードにする

- お使いのテレビの説明書をお読みください。

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [TVで見る]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P239)

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。

4 本機で撮影または写真を再生する

- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]
([Wi-Fi] ボタンを押すことでも、接続を終了できます。(P210))

- Wi-Fi 機能を使って表示する場合は、4K の出力解像度で出力できません。4K の出力解像度で出力したい場合は、HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続してください。(P248)
- 本機との接続中に、一時的に接続前の状態に戻ることがありますが、撮影もしくは再生を行うと再びテレビに写真が表示されます。
- スライドショー再生時、[効果] と [音設定] を設定していても無効になります。



こんなときは使えません

- 動画、4K 連写ファイルは再生できません。
- マルチ再生中、カレンダー再生中、フォーカスセレクト撮影した画像からピントを合わせる位置を選ぶときに、本機に表示されている画像はテレビに表示されません。

画像を送る

画像を送信する場合、[新規に接続する]を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。接続が完了したあと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することもできます。



■ 本機で送信できる画像について

送信先	JPEG	RAW	MP4※ ¹	AVCHD※ ^{1,2}	4K連写ファイル※ ¹ フォーカスセレクト 撮影した画像※ ¹	3D
[スマートフォン] (P225)	○	×	○※ ³	×	×	×
[PC](P228)	○	○	○	○	○	○
[クラウド同期サービス] (P233)	○	×	○※ ³	×	×	○
[Web サービス](P230)	○	×	○※ ³	×	×	○
[AV機器](P227)	○	×	×	×	×	○
[プリンター]※ ¹ (P226)	○	×	×	×	×	×

※¹ [撮影中に画像を送る]時は送信できません。

※² [AVCHD]で撮影された動画を送信することができるのは、ファイルサイズが4 GBまでです。4 GBを超える場合、送信できません。

※³ [画質設定]のサイズが[4K]で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の説明書、または Web サービスをご確認ください。

撮影中に画像を送る

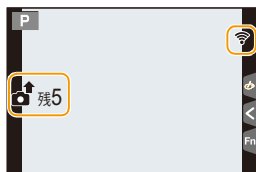
写真を撮るたびに、指定した機器に自動で送れます。

- [撮影中に画像を送る]で接続中は、撮影画面に[Wi-Fi]が表示され、ファイルを送信中は[残5]が表示されます。
- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

- [Wi-Fi] ボタンを押すと、接続を終了したり、送信設定を変更したりできます。(P210)

写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。



- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源スイッチを[OFF]にしたり、Wi-Fi接続を終了するなどした場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や再生メニューの使用はできない場合があります。



こんなときは使えません

- 動画、4K連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は送信できません。

カメラ内の画像を送る

撮影後に画像を選んで送信できます。

■ [1枚選択]、[複数選択]での画像の選び方

[1枚選択]選択時

- 1 画像を選ぶ
- 2 [決定]を選ぶ

[複数選択]選択時

- 1 画像を選ぶ(繰り返す)
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- 2 [実行]を選ぶ
 - [複数選択]で一度に設定できる枚数には制限があります。

- 画像送信後の画面で、送信設定を変更する場合は[DISP.]ボタンを押してください。
- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。



- 再生メニューの[お気に入り]または[プリント設定]の設定内容は送信されません。



こんなときは使えません

- 本機以外で撮影した画像は送信できない場合があります。
- パソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

画像の送信設定を変更する

接続が完了したあとに [DISP.] ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。

送信サイズ	送信する画像のサイズを変更します。 [元画像]、[自動]^{※1}、[変更] ● [自動] の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。 ● [変更] の画像サイズは [M]、[S] または [VGA] を選択できます。 画像の横縦比は変わりません。
送信ファイル形式 ^{※2}	[JPG]、[RAW+JPG]、[RAW]
位置情報データ消去 ^{※3}	送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。 [ON]: 位置情報を消去して送信します。 [OFF]: 位置情報を消去せずに送信します。 ● 位置情報が消去されるのは送信した画像のみです。(本機の画像から位置情報は消去されません)
クラウド上限枚数動作 ^{※4}	クラウドフォルダの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。 [ON]: 画像を送信しません。 [OFF]: 古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。

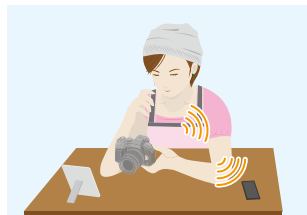
※ 1 送信先が [Web サービス] の場合のみ設定できます。

※ 2 送信先が [PC] の場合のみ設定できます。

※ 3 送信先が [クラウド同期サービス]、[Web サービス] または [AV 機器] の [宅外 AV 機器] の場合のみ設定できます。

※ 4 送信先が [クラウド同期サービス] の場合のみ設定できます。

スマートフォン/タブレットに画像を送る



準備

- [Image App]をインストールしておく(P211)

1 メニューを設定する(P47)

MENU ボタン→ [セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi機能]→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]または[カメラ内の画像を送る]→[スマートフォン]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する(P239)

スマートフォン側

[ネットワーク経由]で接続する場合

- 1 Wi-Fi機能をONにする
- 2 無線アクセスポイントを選び、設定する
- 3 「Image App」を起動する(P211)

[直接接続]の[Wi-Fi Direct]または[WPS 接続]で接続する場合

- 1 「Image App」を起動する(P211)

[直接接続]の[手動接続]で接続する場合

- 1 Wi-Fi機能をONにする
- 2 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選ぶ
- 3 「Image App」を起動する(P211)

3 接続したい機器を選ぶ

4 送信設定を確認し、[決定]を選ぶ

- 画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。(P224)

[撮影中に画像を送る]選択時

5 写真を撮る(P223)

[カメラ内の画像を送る]選択時

5 画像を選ぶ(P223)

ワイヤレスでプリントする

対応したプリンターに写真を送り、ワイヤレスでプリントすることができます。



準備

撮影した写真をワイヤレスで印刷するには、プリンターが PictBridge(ワイヤレス LAN)[※]に対応している必要があります。

※ DPS over IP 規格準拠

- PictBridge(ワイヤレス LAN)対応のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [プリンター]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P239)

3 接続したいプリンターを選ぶ

4 画像を選んでプリントする

- 画像の選び方は USB ケーブルで接続時と同じになります。(P258)
- 接続を終了するには、 ボタンを押してください。
([Wi-Fi] ボタンを押すことでも、接続を終了できます。(P210))

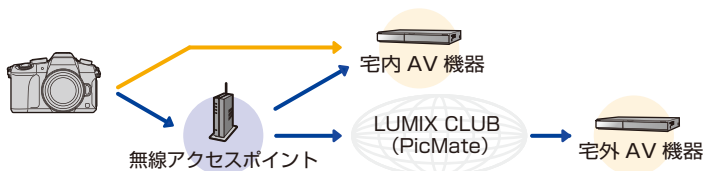


こんなときは使えません

- 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像はプリントできません。

AV機器に画像を送る

写真や動画を家の中にあるDLNAに対応したレコーダーなどのAV機器(宅内AV機器)に送れます。離れて暮らす家族や友人のAV機器(宅外AV機器)にも、LUMIX CLUB (PicMate)を経由することで送れます。



準備

[宅内AV機器]に画像を送る場合、お使いの機器をDLNA待ち受けモードにする

- お使いの機器の説明書をお読みください。

[宅外AV機器]に画像を送る場合、以下が必要になります

- LUMIX CLUB (PicMate)への登録([P234](#))
- 送信先の宅外AV機器で取得した、アドレス番号とアクセス番号([P238](#))

1 メニューを設定する([P47](#))

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る]または[カメラ内の画像を送る] → [AV機器]

2 [宅内AV機器]または[宅外AV機器]を選ぶ

3 [ネットワーク経由]または[直接接続]を選び、接続する([P239](#))

- [宅外AV機器]を選択時は、[直接接続]は選べません。

4 接続したい機器を選ぶ

5 送信設定を確認し、[決定]を選ぶ

- 画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。([P224](#))

[撮影中に画像を送る]選択時

6 写真を撮る([P223](#))

[カメラ内の画像を送る]選択時

6 画像を選ぶ([P223](#))

- AV機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。また、送信に時間がかかる場合があります。

パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。



準備

(カメラ側)

- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する必要があります。(P245)

(パソコン側)

- パソコンの電源を入れておく。
- パソコンに画像を送信するには、あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく必要があります。(P228)

画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのユーザーアカウント(アカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内))は半角英数字で設定してください。半角英数字以外でユーザーアカウントを設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用する場合

1 PHOTOfunSTUDIO をインストールする(P252)

2 PHOTOfunSTUDIO で受信するフォルダーを作成する

- 受信するフォルダーを自動で作成する「おまかせ作成」、または受信するフォルダーの指定・新規作成とパスワード設定が可能な「個別作成」から選んでください。
- 詳しくは、PHOTOfunSTUDIO の取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。

■ PHOTOfunSTUDIO を使用しない場合

(Windows をお使いの場合)

対応 OS: Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10

例) Windows 7

1 受信するフォルダーを選択し、右クリックする

2 「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする

- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

→ 続く

(Mac をお使いの場合)

対応 OS: OS X v10.5 ~ v10.11

例) OS X v10.8

- 1 受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする
「ファイル」→「情報を見る」
- 2 フォルダーに共有の設定をする
 - 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの説明書や OS のヘルプをご参照ください。

パソコンに画像を送る

- 1 メニューを設定する(P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [PC]

- 2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する(P239)

- 3 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力] を選び、パソコンのコンピューター名 (Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名) を入力してください。

- 4 送信するフォルダーを選ぶ

- 5 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更する場合 [DISP.] ボタンを押してください。(P224)

[撮影中に画像を送る] 選択時

- 6 写真を撮る(P223)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

- 6 画像を選ぶ(P223)

- 設定されたフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名 (Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名) にスペース (空白文字) などが入っていると、正しく認識できないことがあります。接続できない場合は、15 文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名 (Apple 社製 Mac パソコンの場合は NetBIOS 名) に変更することをお勧めします。
- OS およびセキュリティソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

Webサービスを利用する

LUMIX CLUB (PicMate)を経由することで、写真や動画をSNSなどに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすることで、パソコンやスマートフォンで、転送された写真や動画を受信することができます。



準備

Webサービス、またはクラウドフォルダに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate) への登録(P234)が必要です。

LUMIX CLUB (PicMate)以外のWebサービスに画像を送信するには、そのWebサービスを登録しておく必要があります。(P231)

Webサービスに画像を送る

P230

クラウド同期サービスに画像を送る

P233

Webサービスに画像を送る

- Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去したりすることはできません。スマートフォンやパソコンで Web サービスにアクセスして、画像を確認してください。
- 画像の送信に失敗すると、LUMIX CLUB (PicMate)に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。
- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

- Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWebサービスを利用する

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWebサービスへ画像を送信する場合は、利用するWebサービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」で登録しておく必要があります。(P234)

- 対応するWebサービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。

http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/

準備: 利用するWebサービスにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

- 1 スマートフォンまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトへアクセスする
<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>
- 2 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDとパスワードを入力し、ログインする (P234)
- 3 メールアドレスを登録する
- 4 利用するWebサービスを選び、登録する
 - 画面の指示に従って、登録の操作をしてください。

画像を送る

- 1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [Web サービス]

- 2 [ネットワーク経由]を選び、接続する (P239)
- 3 Webサービスを選ぶ
- 4 送信設定を確認し、[決定]を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更する場合 [DISP.] ボタンを押してください。(P224)

[撮影中に画像を送る] 選択時

- 5 写真を撮る (P223)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

- 5 画像を選ぶ (P223)

■ カメラ内の画像を簡単にWebサービスに送る

一度送信すると、無線アクセスポイントに接続できる環境であれば、スマートフォンを操作する感覚で手軽に画像をWebサービスに送信できます。

(以下の手順は、[LUMIX CLUB (PicMate)]に登録済みで、無線アクセスポイントとの接続履歴がある場合の例で説明しています)

1 画像を表示する

2 ▼ ボタンを押す

(グループ画像選択時は、▲ ボタンを押して

[アップロード(Wi-Fi)]または[全画像アップロード(Wi-Fi)]を選ぶ)

- [] をタッチしても同じ操作ができます。

(グループ画像選択時は、[]、[]、[]、[] をタッチしたあと [SUB MENU] をタッチし、[アップロード(Wi-Fi)]または[全画像アップロード(Wi-Fi)]を選んでください)



3 確認画面で [はい] を選ぶ

4 Webサービスを選ぶ

5 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 以前接続した無線アクセスポイントに接続し、画像が Web サービスへ送信されます。
- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P224)
- 続けて画像を送信する場合は、手順 4. 5は不要です。
同じWebサービスと画像の送信設定で送信されます。
- 接続を終了する場合は、[MENU/SET] ボタンを押すなどの操作をし、再生画面を終了してください。[Wi-Fi] ボタンを押すことでも終了できます。(P210)

画像の送信設定、Webサービスを変更するには

Wi-Fi接続を終了し、もう一度手順1以降の操作を行ってください。

- Wi-Fi接続中に [Wi-Fi] ボタンを押すことでも、送信設定は変更することができます。(P210)
- 利用可能な無線アクセスポイントの接続履歴がない場合は、接続方法の選択画面が表示されます。
接続方法を選び、本機を無線アクセスポイントに接続してください。(P240)
- [LUMIX CLUB (PicMate)] への登録がされていない場合は、ログインIDの新規取得画面が表示されます。ログイン ID を取得し、パスワードを設定してください。(P234)
- グループ画像をまとめて表示している場合は、グループ内画像すべてを送信します。グループ画像を1枚ずつ表示している場合は、表示中の画像1枚を送信します。

クラウド同期サービスに画像を送る

■ [クラウド同期サービス]を利用するには(2016年9月現在)

準備

クラウドフォルダに画像を送信するには、LUMIX CLUB (PicMate)への登録(P234)とクラウド同期設定が必要です。

クラウド同期設定は、パソコンの場合は「PHOTOfunSTUDIO」(P252)で、スマートフォンの場合は「Image App」で設定してください。

- 画像の送信先を[クラウド同期サービス]に設定した場合、送信された画像はクラウドフォルダに一時保存され、パソコンやスマートフォンなど、お使いの機器と同期させることができます。
- クラウドフォルダに送信された画像は30日間(最大1000枚まで)保存されます。送信後30日を超えた画像は、自動的に消去されます。また、送信後30日以内でも1000枚を超えた場合は、[クラウド上限枚数動作](P224)の設定により画像が消去される場合があります。
- クラウドフォルダに送信された画像が指定した機器すべてにダウンロードされると、送信後30日以内の画像でもクラウドフォルダから消去される場合があります。

1 メニューを設定する(P47)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る]または[カメラ内の画像を送る] → [クラウド同期サービス]

2 [ネットワーク経由]を選び、接続する(P239)

3 送信設定を確認し、[決定]を選ぶ

- 画像の送信設定を変更する場合[DISP.]ボタンを押してください。(P224)

[撮影中に画像を送る] 選択時

4 写真を撮る(P223)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

4 画像を選ぶ(P223)

LUMIX CLUB (PicMate) への登録

「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録すると、画像をお使いの機器間で同期したり、Web サービスに画像を転送するなど、画像の整理・共有・公開ができます。
「LUMIX CLUB (PicMate)」以外のWeb サービスや宅外のAV機器に画像を転送する際にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して利用します。

LUMIX CLUB (PicMate) を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録(無料)をして、ログインIDを取得します。

- すでにパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDを取得済みの場合は、取得済みのログインIDを本機に入力して同じログインIDを使用することができます。
- 本機とスマートフォンのLUMIX CLUB (PicMate)のログインIDを合わせることができます。(P236)

■「LUMIX CLUB (PicMate)」について

デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/>

また、本機との連携サービスを利用する場合は、下記のページにアクセスしてください。

<http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/>

本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

新規でログインIDを取得する([新規登録])

1 メニューを設定する(P47)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [ログイン・新規登録] → [新規登録]

- ネットワークに接続します。[次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。
- すでに本機でログインIDが取得されている場合は確認画面が表示されます。取得し直すときは[はい]を、取得し直さないときは[いいえ]を選んでください。

2 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する(P240)

- 初回接続時のみ設定画面が表示されます。一度設定した接続方法は、本機に保存され、次回接続時に利用されます。接続する無線アクセスポイントを変更したい場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続先を変更してください。
- [次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。

続く

3 LUMIX CLUB (PicMate)の利用規約を読み、[同意する]を選ぶ

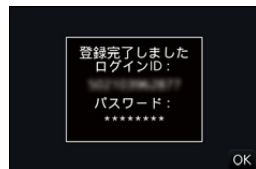
- ▲/▼ ボタンでページを切り換えることができます。
- 後ダイヤルを右側に回すと、拡大表示(2倍)することができます。
- 拡大したあと後ダイヤルを左側に回すと、元の大きさ(1倍)に戻ります。
- ▲/▼/◀/▶ ボタンで拡大部分の位置を移動させることができます。
- [⏏/⏏] ボタンを押すと、サービスユーザー登録せずに中止することができます。

4 パスワードを入力する

- 英数字交じり 8～16桁で任意のパスワードを入力してください。
- 文字の入力方法: (P54)

5 ログインIDを確認し、[OK]を選ぶ

- ログインIDとパスワードは必ず控えを取っておいてください。
- ログインID(数字12桁)は自動的に表示されます。
パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインする場合は、数字のみを入力してください。
- 接続が完了するとメッセージが表示されます。
[OK]を選んでください。



取得済みのログインIDを使う /

ログインIDやパスワードを確認したり変更する([ログインID設定])

準備: 取得済みのログインIDを使う場合、IDとパスワードを確認しておく。

パスワードを変更する場合、スマートフォンまたはパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更しておく。

- 本機では、LUMIX CLUB (PicMate)に登録されているログインIDやパスワードの変更はできません。

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → ⏏ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [ログイン・新規登録] → [ログイン ID 設定]

- ログインID とパスワードが表示されます。
- パスワードは「★」で表示されます。
- ログインIDの確認のみをする場合は、メニューを終了してください。

2 変更したい項目を選ぶ

3 ログインIDまたはパスワードを入力する

- 文字の入力方法: (P54)
- パスワードはスマートフォンまたはパソコンで変更したものを入力してください。異なるパスワードを入力すると、画像をアップロードすることができなくなります。



本機とスマートフォン / タブレットのログイン ID を合わせる

本機とスマートフォンのログインIDを合わせておくと、本機の画像を他の機器やWebサービスに送信するときに便利です。

本機またはスマートフォン/タブレットのどちらか一方がログインIDを取得している場合

1 本機とスマートフォンを接続する(P212)

2 「Image App」のメニューからログイン ID を合わせる

- 本機とスマートフォンのログイン ID が同じログイン ID になります。
- 本機とスマートフォンの接続後、再生画面に切り換えたときにログインIDを合わせる画面が表示される場合があります。画面に従って操作してログインIDを合わせることもできます。
- [Wi-Fi Direct] で接続時は使用できません。

本機とスマートフォン / タブレットがそれぞれ別のログイン ID を取得している場合

(スマートフォンのログイン ID に合わせる場合)

本機のログインIDとパスワードを、スマートフォンで取得したログインIDとパスワードに変更する

(本機のログイン ID に合わせる場合)

スマートフォンのログインIDとパスワードを、本機で取得したログインIDとパスワードに変更する

「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合などに内容を確認することができます。

メニューを設定する(P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [利用規約確認]

- ネットワークに接続し、利用規約が表示されます。確認後はメニューを終了してください。

ログインIDの消去と「LUMIX CLUB (PicMate)」を退会する

本機を譲渡/廃棄などする場合に、本機のログインIDを消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会も行います。

1 メニューを設定する(P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [消去・退会]

- メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。
- 2 ログインID消去の確認画面で[はい]を選ぶ
 - メッセージが表示されます。[次へ]を選んでください。
- 3 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で[はい]を選ぶ
 - 退会をしない場合は、[いいえ]を選ぶとログインIDの消去のみが実行されます。実行後はメニューを終了してください。
- 4 [次へ]を選ぶ
 - ログインIDの消去が実行され、退会完了のメッセージが表示されます。[OK]を選んでください。

●ログインIDの変更などは、本機で取得したログインIDに対してのみ行えます。

宅外 AV 機器を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、親戚や知人が所有しているAV機器に画像を送ることができます。

準備

送信先のAV機器から「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録をして、発行されたアドレス番号(数字16桁)とアクセス番号(数字4桁)を確認しておく。(詳しくは、AV機器の説明書をお読みください)

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定]
→ [宅外AV機器設定] → [追加登録]

2 アドレス番号を入力する

3 アクセス番号を入力する

4 任意の名前を入力する

- 入力できる文字数は最大28文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

● 文字の入力方法: (P54)

登録したAV機器の情報を変更または消去する

すでに登録しているAV機器の情報を変更または消去することができます。

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [宅外AV機器設定]

2 編集または消去したいAV機器を選ぶ

3 [編集] または [消去] を選ぶ

編集	すでに登録しているAV機器の情報を変更します。 「宅外 AV 機器を設定する」の手順2～4を行う
消去	すでに登録しているAV機器の情報を消去します。

接続について

[新規に接続する]を選んだ場合、Wi-Fi 機能や送信先を選択後、接続する方法を選びます。
[履歴から接続する]または[お気に入りから接続する]を選んだ場合、以前 Wi-Fi 接続したときと同じ設定で接続できます。

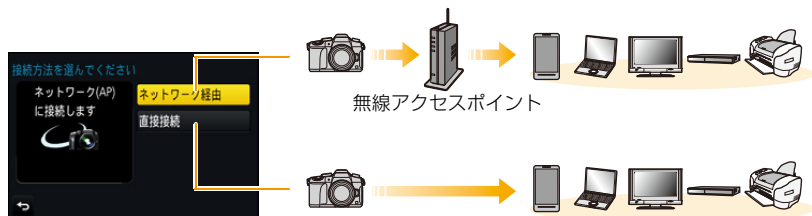
以降では、接続のしかたについて説明します。

- 以前と同じ設定で接続する場合については: (P243)

以下のような画面が表示されたら、接続方法を選んでください。

- 画面を表示するための操作の例:

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する]
→ [撮影中に画像を送る] → [スマートフォン]



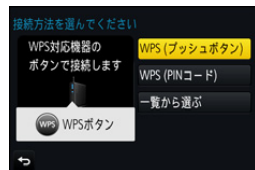
ネットワーク経由	無線アクセスポイントを経由して接続します。	P240
直接接続	お使いの機器と本機を直接接続します。	P242

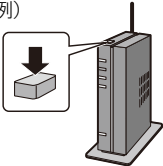
無線アクセスポイントが使えない外出先や、普段使わない機器と一時的に接続する場合などでは、直接接続を行うと便利です。

無線アクセスポイントを使って接続する (ネットワーク経由)

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

※ WPSとは、無線LAN機器の接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの説明書をご覧ください。



WPS (プッシュボタン)	WPSマークがあり、プッシュボタン方式のWi-Fi Protected Setup™対応の無線アクセスポイントを登録します。 無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。 (例) 
WPS (PINコード)	WPSマークがあり、PINコード方式のWi-Fi Protected Setup対応の無線アクセスポイントを登録します。 1 カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ 2 カメラの画面に表示されているPINコードを無線アクセスポイントに入力する 3 カメラの[MENU/SET] ボタンを押す - 詳しくは無線アクセスポイントの説明書をお読みください。
一覧から選ぶ	WPS に対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。(P241)

WPS に対応しているかわからない場合 ([一覧から選ぶ] で接続する)

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力] で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ

- [DISP.] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「[マニュアル入力] で接続する場合」をお読みください。



2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)暗号化キーを入力する

- 文字の入力方法: (P54)

■ [マニュアル入力] で接続する場合

1 「WPSに対応しているかわからない場合 ([一覧から選ぶ] で接続する)」の手順 1 の画面で、[マニュアル入力] を選ぶ

2 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して [決定] を選ぶ

- 文字の入力方法: (P54)

3 ネットワークの認証方式を選ぶ

- ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの説明書をお読みください。

4 暗号化方式を選ぶ

- ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
WPA2-PSK	[TKIP]/[AES]
WPA-PSK	[TKIP]/[AES]
共通キー	[WEP]
オープン	[暗号化なし]/[WEP]

5 ([暗号化なし] 以外選択時)暗号化キーを入力する

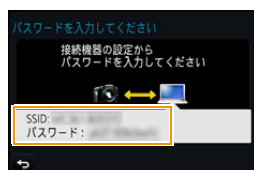
- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(P273)、「Q&A 故障かな? と思ったら」(P275)をご確認ください。
- お使いの環境によっては無線アクセスポイントとの通信速度が低下したり、無線アクセスポイントがご利用になれない場合があります。

カメラと機器を直接接続する (直接接続)

お使いの機器との接続方法を選択できます。
お使いの機器が対応している接続方法を選んでください。



Wi-Fi Direct	1 機器を Wi-Fi Direct®モードにする 2 カメラの画面で [Wi-Fi Direct] を選ぶ 3 カメラの画面で接続する機器を選ぶ
WPS 接続	[WPS (プッシュボタン)] 1 カメラの画面で [WPS (プッシュボタン)] を選ぶ 2 機器を WPS モードにする ● 本機の[DISP.]ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。 [WPS (PIN コード)] 1 カメラの画面で [WPS (PINコード)] を選ぶ 2 機器の PIN コードをカメラに入力する
手動接続	機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSIDとパスワードを機器に入力する ● 接続先が[スマートフォン]の場合は、パスワードは表示されません。SSIDを選んで接続してください。(P212)



- 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

以前と同じ設定で素早く接続する ([履歴から接続する]/[お気に入りから接続する])

Wi-Fi 機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入り登録することができます。履歴やお気に入りから、以前と同じ設定で簡単に接続することができます。

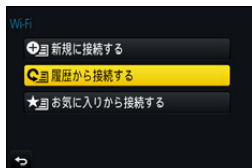
接続する機器の Wi-Fi 設定が、以前に接続したときと同じになっているかご確認ください。

- 接続する機器の設定が変更されていると、接続できない場合があります。

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]

2 [履歴から接続する] または [お気に入りから接続する] を選ぶ



履歴から接続する	以前と同じ設定で接続します。
お気に入りから接続する	お気に入りに登録された設定で接続します。

3 接続したい項目を選ぶ

- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続]を使って本機と接続できません。スマートフォンなどの接続する機器側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

または、[新規に接続する]で接続し直してください。(P212)



履歴をお気に入り登録する

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [履歴から接続する]

2 登録したい履歴を選び、▶ ボタンを押す

3 登録名を入力する

- 文字の入力方法: (P54)
- 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

お気に入り登録した履歴を編集する

1 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]
→ [お気に入りから接続する]

2 編集したいお気に入り履歴を選び、▶ ボタンを押す

お気に入りを消す	—
お気に入りの順番を変える	移動先を選んでください。
登録名を変える	● 文字の入力方法: (P54) ● 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。



よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておく

履歴に保存される数には制限があります。よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録して保存しておくことをお勧めします。(P243)



履歴やお気に入りの接続の詳細を確認する

履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細を表示させることができます。

- [Wi-Fi 設定リセット]を行うと履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。
- 多くのパソコンが接続されているネットワークに、[履歴から接続する]や[お気に入りから接続する]で接続する場合、多くの機器の中から前回接続した機器を探すため接続されにくくなることがあります。接続できない場合は、[新規に接続する]で接続し直してください。

Wi-Fi 設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定を行います。
Wi-Fi接続中は 設定の変更はできません。

メニューを設定する (P47)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定]

項目	設定内容
Wi-Fi パスワード スマートフォンと直接接続する際にパスワードの入力が必要になり、セキュリティを強化できます。	[ON]: SSIDとパスワードを利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P213) [OFF]: SSIDを利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P212) • [ON]に設定時はQRコードを読み取って接続することもできます。(P213)
PicMate 設定	「LUMIX CLUB (PicMate)」のログインIDの取得や変更を行います。(P234)
PC接続設定 ワークグループを設定することができます。	パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。 (お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています) [変更する]: 接続するパソコンのワークグループを入力してください。 [標準に戻す]: お買い上げ時の状態に戻します。 • 文字の入力方法: (P54) • パソコンを標準の設定でお使いの場合は、ワークグループを変更する必要はありません。
機器名称 本機の名前(SSID)を変更することができます。	1 [DISP.] ボタンを押す 2 任意の機器名称を入力する • 文字の入力方法: (P54) • 入力できる文字数は最大32文字です。

項目	設定内容
宅外AV 機器設定	「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、親戚や知人が所有しているAV 機器に画像を送ることができます。(P238)
Wi-Fi 機能ロック 誤操作や第三者によるWi-Fi機能の使用を防いだり、設定した個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護することを勧めします。	パスワードを設定しておくと、Wi-Fi機能使用时、自動的にパスワード入力画面が表示されるようになります。 [設定]: 数字4桁で任意のパスワードを設定します。 [解除] ● 文字の入力方法: (P54) ● パスワードは必ず控えを取っておいてください。忘れてしまった場合、セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット]を行うとパスワードをリセットできますが、その他の設定もすべてリセットされます。([PicMate 設定]は除く)
ネットワークアドレス表示 本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。	● 「MACアドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。 ● 「IPアドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例: 192.168.0.87)
認証情報	電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

4K 動画をテレビで見る / パソコンやレコーダーに残す

4K 動画を見る

■ テレビで見る

本機と4K動画対応テレビを接続して、[画質設定]のサイズを[4K]で記録した動画を再生すると、きめ細かい4K動画を楽しむことができます。出力解像度は下がりますが、4K動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。

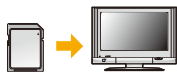


準備: [HDMI出力解像度(再生時)](P188)を[AUTO]または[4K]に設定する。

- 4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO]に設定してください。

HDMIマイクロケーブルで本機と4K動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する(P248)

- [ピエラリンク]を[ON]に設定していてピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切替が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。(P250)
- [画質設定]のサイズが[4K]のMP4動画は、4K動画対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて再生することもできます。
- テレビの説明書もお読みください。



■ パソコンで見る

[画質設定]のサイズを[4K]で記録した動画をパソコンで再生する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。(P252)

- 4K 動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。



4K 動画を残す

■ パソコンに残す

詳しくは、251 ページをお読みください。

■ ハードディスクやDVDに残す

[画質設定]のサイズが[4K]の動画は、4K動画取り込みに対応した当社製レコーダーを使ってハードディスクへダビングすることができます。ただし、当社製レコーダーでブルーレイディスクやDVDへのダビングはできません。(2016年9月現在)

ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P252)を使うと、サイズの小さい動画に変換したり、DVDにコピーしたりできます。

- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

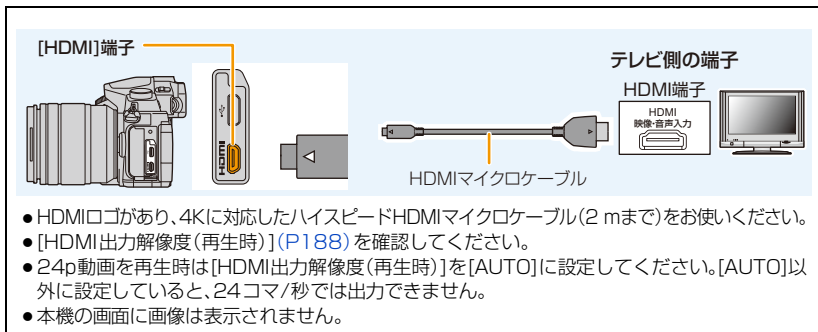
テレビで見る

本機とテレビをHDMIマイクロケーブルで接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。

準備: 本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切っておく。

1 本機とテレビをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にと、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2 mまで)をお使いください。
- [HDMI出力解像度(再生時)](P188)を確認してください。
- 24p動画を再生時は[HDMI出力解像度(再生時)]を[AUTO]に設定してください。[AUTO]以外に設定していると、24コマ/秒では出力できません。
- 本機の画面に画像は表示されません。

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

- [画像横縦比]によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- USB接続ケーブル(付属)と同時に接続すると、[HDMI]端子は動きません。
- 本機のスピーカーからは音声は出ません。
- テレビの説明書もお読みください。

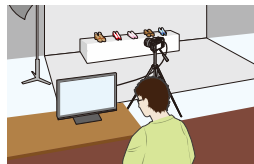


SDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
- 再生に対応したカードについては、テレビの説明書をお読みください。

カメラの映像をモニターしながら撮る

HDMI出力時は、外部モニターやテレビなどでモニターしながら写真や動画を撮影することができます。



■ 情報表示の有無を切り換える

セットアップメニューの[テレビ接続設定]の[HDMI情報表示(撮影時)](P188)で、HDMI出力時の表示を変更できます。

[ON]: カメラの表示をそのまま出力する。

[OFF]: 映像のみを出力する。

- 撮影時にHDMI出力される画面は、動画メニューの[画質設定]に合わせて出力されます。ただし、接続する機器が対応していない設定の場合、機器に合わせて自動でHDMI出力する画質を切り換えます。
- 4K動画に対応した外部モニターやテレビと接続時は、以下の設定をすると通常よりもさらに画角が狭くなります。
 - [画質設定]の[4K/100M/30p]/[4K/100M/24p]
 - 4Kライブクロップ
- オートフォーカスモードの[+]とMFアシストでの、画面の一部での拡大表示はできません。
- EXテレコン(動画)は動きません。(クリエイティブ動画モードを除く)
- 撮影メニューの[画像横縦比]は、[16:9]に固定されます。
- 電子音や電子シャッター音は鳴りません。
- 本機をテレビに接続して映像や音声を確認するとき、テレビのスピーカーから出る音を本機のマイクが拾い、異常音(ハウリング)が発生することがあります。
その場合は本機をテレビから離すか、テレビの音量を下げてご使用ください。
- HDMI出力時にWi-Fi接続した場合は、カメラのモニターに映像は表示されません。
- シーンガイドモードのシーンを選ぶ画面はHDMI出力されません。
- 次の場合、HDMI出力されません。
 - パノラマ撮影中
 - 4Kフォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時

ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI) (HDAVI Control™)とは

- 本機とHDMIマイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク(HDMI)はHDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク(HDMI) Ver.5に対応しています。ビエラリンク(HDMI) Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

準備: [ビエラリンク] (P189) を[ON]に設定する。

- 1** HDMIマイクロケーブルで、本機とビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)をつなぐ(P248)
- 2** 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す
- 3** テレビのリモコンで操作する

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切替

- HDMIマイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶] ボタンを押すと、テレビの入力切替を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)

- 本機のボタンを使つての操作は制限されます。
- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル(2 mまで)をお使いください。
- ビエラリンク(HDMI)が正しく働かない場合は、282ページをご確認ください。

写真や動画をパソコンに残す

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの説明書をお読みください。

■ 使用できるパソコン

マストストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続することができます。

- Windows の場合: Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10
- Mac の場合: OS X v10.5～v10.11



AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windows の場合、AVCHD 動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」([P252](#))を使って取り込んでください。
- Mac の場合、AVCHD 動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。
ただし、画質設定によっては、取り込みできません。
(iMovie の詳細は、Apple にお問い合わせください)

ソフトウェアをダウンロードする

パソコンで画像を再生・編集するには、ソフトウェアをダウンロード/インストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.9 PE

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。

ダウンロードは有効期間中に行ってください。

http://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs99pe.html

●ダウンロード有効期限：2021 年 9 月

●動作環境

対応OS	Windows® 7(32 bit/64 bit) SP1 Windows® 8(32 bit/64 bit) Windows® 8.1 (32 bit/64 bit) Windows® 10(32 bit/64 bit)	
CPU	Windows® 7	Pentium® 4 2.8 GHz以上
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
	Windows® 10	
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows® 7	1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit)
	Windows® 8	
	Windows® 8.1	
	Windows® 10	
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

- その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。
- 「PHOTOfunSTUDIO」はMacでは使えません。

SILKYPIX Developer Studio SE

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式 (JPEG、TIFF など) で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

●動作環境

対応OS	Windows	Windows® 7 Windows® 8 Windows® 8.1 Windows® 10
	Mac	Mac OS X v10.6～v10.11

- SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイトをお読みください。

LoiLoScope -30日間フル体験版 (Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10)

簡単に動画編集できるソフトウェアです。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。

<http://loilo.tv/product/20>

- インストールされるのは、体験版のみになります。
- LoiLoScope の詳しい使い方は、サイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
- 「LoiLoScope」はMacでは使えません。

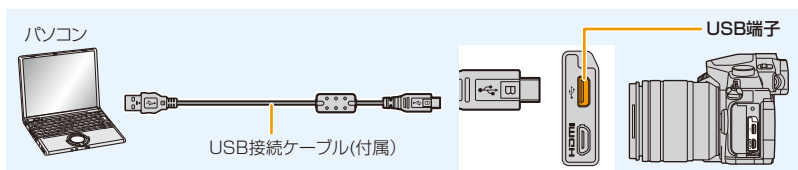
- ソフトウェアをダウンロードするためには、パソコンをインターネットに接続する必要があります。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。

パソコンに画像を取り込む

準備: お使いのパソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。(P252)

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とパソコンをつなぐ

- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ ボタンで [PC] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで [USBモード] (P188) を [PC] に設定しておく、[USBモード] の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。

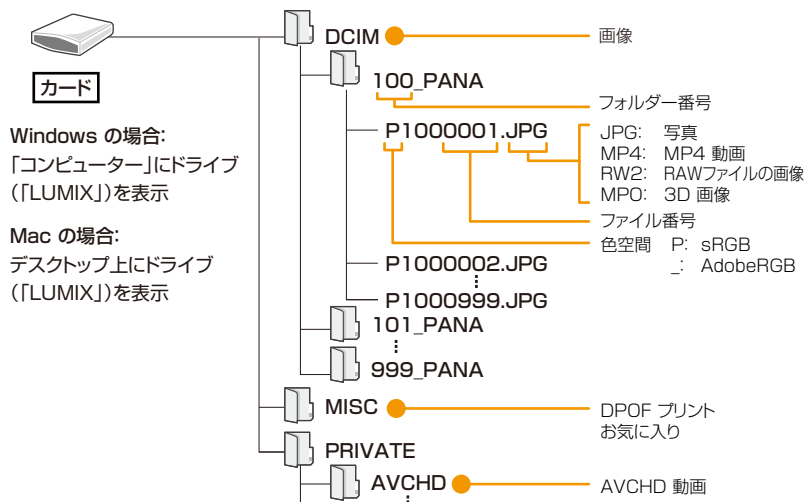
3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC10)を使用してください。バッテリー使用時、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。
USB接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする(Mac をお使いの場合)

Macをお使いの場合など「PHOTOfunSTUDIO」がインストールできない場合は、パソコンに接続後、本機のファイルやフォルダーをパソコンにドラッグアンドドロップするとコピーできます。

●本機のカードの中(フォルダー構造)は以下のようになります。

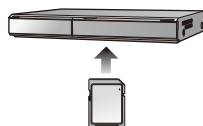


●以下の場合に撮影すると新しいフォルダーが作成されます。

- セットアップメニューの[番号リセット](P189)実行後
- 同じフォルダー番号のあるカードを挿入した場合(他社のカメラで撮影した場合など)
- フォルダー内にファイル番号999の画像がある場合

写真や動画をレコーダーに残す

当社製レコーダーに本機で記録したカードを入れるとブルーレイディスクやDVDなどにダビングすることができます。本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式(JPEG、RAW、MPO、AVCHD、MP4)によって他の機器への取り込み方法が異なります。



- [画像横縦比]を[16:9]以外に設定し撮影した4K連写ファイル(MP4形式)は、4K動画取り込みに対応した当社製レコーダーであっても、ハードディスクへダビングすることができない場合があります。(2016年9月現在)
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

プリントする

PictBridgeに対応したプリンターに接続すると、本機のモニター上でプリントする画像を選択したり、プリント開始を指示することができます。

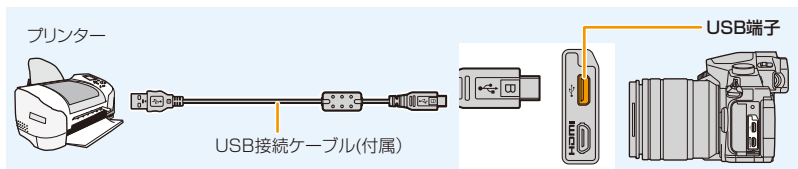
- グループ画像は、グループ単位ではなく1枚ずつ表示されます。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。
詳しくは、プリンターの説明書をお読みください。

準備: 本機とプリンターの電源を入れる。

あらかじめプリンター側で印字品質などの設定をしておく。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とプリンターをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
(斜めに差したり、向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ ボタンで [PictBridge(PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。
- 十分に充電されたバッテリーまたはACアダプター(別売: DMW-AC10)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、電源表示ランプが点滅し、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
- [] (ケーブル切断禁止アイコン) 表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
(プリンターによって表示されない場合があります)
- カードの抜き差しは電源を切って、USB接続ケーブルを抜いてから行ってください。

こんなときは使えません

- 動画、4K連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像はプリントできません。

画像を選んで 1 枚ずつプリントする

- 1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲ ボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



複数の画像を選んでプリントする

- 1 ▲ ボタンを押す
- 2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す。 (もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます) ● 選択が終了したら ◀ ボタンを押して[実行]を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
プリント設定(DPOF)	[プリント設定]で設定(P205)された画像のみをプリントします。
お気に入り	[お気に入り]設定(P204)された画像のみをプリントします。

- 3 ▲ ボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ プリントの各種設定

「画像を選んで 1 枚ずつプリントする」の手順2、または「複数の画像を選んでプリントする」の手順3の画面でそれぞれの項目を選んで設定してください。

日付プリント	日付プリントを設定します。
プリント枚数	プリントする枚数(最大999枚まで)を設定できます。
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
レイアウト	縁あり、縁なしや複数印刷の設定をします。

- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[]にして、プリンター側で設定してください。(詳しくはプリンターの説明書をお読みください)
- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。

- プリント中にオレンジ色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAW ファイルをプリントする場合、本機で同時に記録されたJPEG 画像がプリントされます。JPEG 画像がない場合はプリントできません。

画像に日付を入れるには

画像に日付を焼き込む

[文字焼き込み]を使って、画像に日付を焼き込むことができます。

- お店やプリンターでプリントする場合は、日付が重なってプリントされますので日付プリントを指定しないでください。

日付プリントを設定する

[プリント設定]のプリント枚数設定時に▶ ボタンを押すと、押すごとに日付プリントを設定/解除できます。(P205)

お店に依頼する場合

設定さえしておけば、カードを取り出して、お店に日付入りで依頼するだけです。([個人認証]または[プロフィール設定]の[月齢/年齢]や[名前]、[トラベル日付]、[旅行先]、または[タイトル入力]で入力した文字のプリントはお店では依頼できません)

自宅でプリントする場合

日付プリントに対応しているプリンターに本機を接続して、プリントするだけで日付プリントができます。

- ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P252)を使って日付プリントすることができます。

※ 日付プリントを設定しても、お店やプリンターによっては日付プリントできない場合があります。詳しくは、お店に尋ねるか、プリンターの説明書をお読みください。

3D写真を楽しむ

3D写真を撮る

本機に3D交換レンズ(別売:H-FT012)を取り付けると、迫力ある3D写真を撮影することができます。

- 1 本機に3D交換レンズを取り付ける
- 2 被写体に画面を合わせ、シャッターボタンを全押しして撮影する

- 3D撮影時は、ピントを合わせる操作は不要です。
- 3D交換レンズを装着して撮影した写真はMPO形式(3D)で保存されます。

3Dの写真を安全に見るために、撮影時には以下の点にお気をつけください。

- できるだけ本機を水平にして撮影してください。
- 被写体に近づきすぎないでください。[3D交換レンズ(別売:H-FT012)装着時は、被写体から0.6 m以上離れて撮影してください]
- 乗車中や歩行中などは手ブレにお気をつけください。

- 安定した写真を撮影するために、三脚やフラッシュの使用をお勧めします。
- 3D写真の記録可能枚数は、16 GBのカードを使用の場合、約3990枚です。(画像横縦比[4:3]、クオリティ[3D ]に設定時)
- 3D交換レンズの取扱説明書もお読みください。
- 3D写真の縦撮影には対応していません。
- 被写体までの距離が0.6 m～約1 mでは、左右の視差が大きくなり、画面の両端では立体効果が得られない場合があります。

3D写真を見る

本機と3D対応テレビを接続して3D記録した写真を再生すると、迫力ある3D写真を楽しむことができます。

準備: [HDMI出力解像度(再生時)](P188)を[AUTO]、[1080p]または[1080i]に設定する。
[3Dテレビ出力](P188)を[3D]に設定する。

HDMIマイクロケーブルで本機と3D対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する(P248)

- [ピエラリンク]を[ON]に設定していてピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切替が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。(P250)
- 3D記録された写真には、再生時のサムネイル表示に[[3D]]が表示されます。

■ 3D記録した写真の再生方法を切り換える

1 3D記録した写真を選ぶ

2 再生メニューから[2D/3D切換]を選ぶ(P47)

- 2D(従来の画像)で再生されている場合は3Dに、3Dで再生されている場合は2Dに再生方法が切り換わります。
- 3D撮影写真の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合は、2Dで再生してください。
- 3D対応のSDカードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した3D写真を再生することもできます。
- 3D記録した写真と2D記録した写真を切り換えて再生する場合は、数秒間黒画面が表示されます。
- 3D写真のサムネイルを選択時、または3D写真再生後のサムネイル表示は、再生開始や表示に数秒間かかります。
- 3D写真の視聴時、テレビ画面に近いと目の疲れが出ることがあります。
- テレビが3D写真に切り換わらなかった場合は、テレビ側に必要な準備を行ってください。(詳しくは、テレビの取扱説明書をお読みください)
- 3D写真は、パソコンや当社製機器に保存することができます。(P251、256)

3D写真の制限事項

■ 3D撮影時の制限事項

3D交換レンズ(別売:H-FT012)を使っての撮影時には、以下の機能が使えません。

(撮影機能)

- オートフォーカス/マニュアルフォーカス操作
- 絞り値設定
- ズーム操作
- 動画撮影※¹
- 4Kフォト撮影
- フォーカスセレクト撮影
- シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[パノラマで撮る]
- クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[インプレッシブアート]/[ハイダイナミック]/[トイフォト]/[トイポップ]/[クロスフィルター]/[ワンポイントカラー]/[サンシャイン]
- ポケ味コントロール機能

※¹ 動画ボタン、クリエイティブ動画モード、動画メニューは無効または使用できなくなります。

(撮影メニュー)

- [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]/[記録画素数]※²/[クオリティ]※³/[AFS/AFF]/[連写速度]の[SH]/[ブラケット]の絞りブラケット、フォーカスブラケット、ホワイトバランスブラケット/[iDレンジコントロール]/[超解像]/[i手持ち夜景]/[iHDR]/[HDR]/[多重露出]/[パノラマ設定]/[デジタル赤目補正]/[シェーディング補正]/[EXテレコン(写真)]/[デジタルズーム]

※² 2以下のように固定されます。

画像横縦比	記録画素数	画像横縦比	記録画素数
4:3	1824×1368	16:9	1824×1024
3:2	1824×1216	1:1	1712×1712

※³ 3D交換レンズ装着時は、以下のアイコンが表示されます。

[] (3D+ ファイン): MPO画像とファイン相当のJPEG画像を同時に記録します。

[] (3D+ スタンダード): MPO画像とスタンダード相当のJPEG画像を同時に記録します。

(カスタムメニュー)

[AF/AEロック切替]/[シャッター半押しAF]/[クイックAF]/[アイセンサーAF]/[ピンポイントAF時間]/[ピンポイントAF表示]/[AF補助光]/[ダイレクトフォーカス移動]/[フォーカス/リリース優先]/[AF追従感度]/[AF+MF]/[MFアシスト]/[MFアシスト表示]/[MFガイド]/[記録枠表示]/[残枚数/残時間切替]/[動画ボタン]/[パワーズームレンズ]/[タッチ設定]の[タッチAF]、[タッチパッドAF]

■ 3D写真再生時の制限事項

3D対応テレビで3D写真を3D再生中は、以下の機能が働きません。

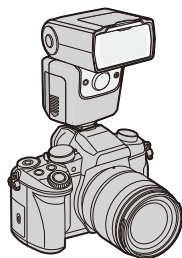
- カスタムメニューの[ハイライト表示]
- 再生ズーム
- 再生メニューの編集系機能([スライドショー]/[再生モード]以外のメニュー機能)

別売品を使う

外部フラッシュ(別売)

フラッシュライト(別売:DMW-FL200L、DMW-FL360L、DMW-FL580L)を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

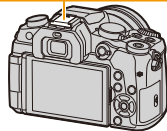
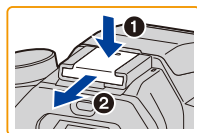
準備:本機の電源スイッチを[OFF]にし、内蔵フラッシュを閉じてください。



ホットシューカバーを取り外す

お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。

ホットシューカバーを矢印①の方向に押しながら、矢印②の方向に引いて取り外す



- 本機で外部フラッシュの設定をする場合は:(P133)
- ワイヤレスフラッシュの設定については:(P138)



本体(DMC-G8)との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることでできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。(シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません)

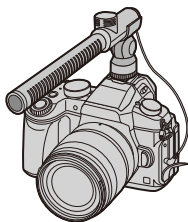
- 外部フラッシュ装着時は、内蔵フラッシュに比べ以下の機能が使えるようになります。
 - 連写 (連写速度を [SH] 以外に設定時)
 - 絞りブラケット
 - フォーカスブラケット
- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を設定できます。
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- 市販の外部フラッシュを使用する場合、シンクロ端子が高圧のもの、極性が逆のもの、または本体との通信機能のあるものは使用しないでください。本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 詳しくは、外部フラッシュの説明書をお読みください。

外部マイク (別売)

ステレオガンマイクロホン (別売: DMW-MS2) やステレオマイクロホン (別売: VW-VMS10) を使用すると、内蔵マイクに比べて高音質の音声録音ができます。

ステレオガンマイクロホン (別売: DMW-MS2) を使用すると、ガン (鋭い指向性) 収音と広い範囲のステレオ収音を切り換えて収音することができます。

準備: 内蔵フラッシュを閉じ、本機の電源スイッチを [OFF] にしてください。本体に取り付けられているホットシューカバーを取り外してください。(P263)



■ ステレオガンマイクロホン (別売: DMW-MS2) の収音する範囲を設定する

- 1 本機に専用ステレオガンマイクロホンを取り付け、本機の電源を入れる
- 2 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [動画] → [専用マイク設定]

- ステレオガンマイクロホン接続中にもみメニュー項目が表示されます。

ステレオ	広い範囲の音をステレオで収音することができます。
レンズ連動	レンズの画角に合わせて自動で設定された範囲の音を収音することができます。
ガン	周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を収音することができます。
スーパーガン	[ガン] よりもさらに狭い範囲の方向の音を収音することができます。
マニュアル	範囲を手動で設定し、収音することができます。

- 3 ([マニュアル] 選択時) ◀/▶ ボタンで範囲を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 外部マイク接続時の風雑音を低減する

外部マイク装着時に音声記録時に風雑音がある場合、風雑音を効果的に低減します。

MENU ボタン → [動画] → [風音低減]

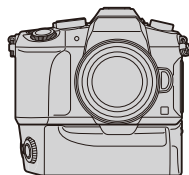
設定: [強]、[中]、[弱]、[OFF]

- 外部マイク接続時のみ使えます。
- 風音低減を設定すると、通常と音質が変わる場合があります。
- 外部マイク接続中は、画面に が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[マイクレベル表示] (P175) が自動的に [ON] になり、画面にマイクレベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、脱落のおそれがありますので、外部マイクのみを持たないようにしてください。
- 外部マイク装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- AC アダプター (別売) 使用時にノイズなどが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- ステレオマイクロホン (別売: VW-VMS10) を装着時は、[専用マイク設定] は [ステレオ] に固定されます。
- [専用マイク設定] を [マニュアル] 設定時に、カスタムメニューの [Fn ボタン設定] (P51) で [マイク指向性調整] を設定したファンクションボタンを押すと、範囲の設定画面が表示されます。
- 詳しくは、外部マイクの説明書をお読みください。

バッテリーグリップ (別売)

バッテリーグリップ (別売: DMW-BGG1) を使用すると、縦撮影時の操作性やホールド感が向上します。予備のバッテリーを装着し、長時間撮影することができます。

バッテリーグリップ (別売: DMW-BGG1) には、バッテリーパック (DMW-BLC12) が付属します。



■ 予備のバッテリーの優先使用順を設定する

本機とバッテリーグリップのそれぞれにバッテリーを入れたときは、どちらのバッテリーから先に使うかを設定できます。

準備: 本機の電源スイッチを [OFF] にし、接点カバーを外す。

1 本機にバッテリーグリップを取り付け、本機の電源を入れる

2 メニューを設定する (P47)

MENU ボタン → [セットアップ] → [バッテリー使用順序]

[本体優先]: カメラ側のバッテリーから先に使用します。

[BG 優先]: バッテリーグリップ側のバッテリーから先に使用します。

- バッテリーグリップ側のバッテリーを使用時は、画面に **[BG]** が表示されます。
- 接点カバーが外れにくいときは、カメラの溝があるほうの角を中央へ向けてめくってください。
- 詳しくは、バッテリーグリップの説明書をお読みください。

シャッターリモコン(別売)

シャッターリモコン(別売:DMW-RSL1)を使用すると、三脚使用時に手ブレを防いだり、B(バルブ)撮影時や連写時にシャッターボタンを全押しした状態で固定することができます。本体のシャッターボタンと同様の働きをします。



- 動画撮影に使用する場合は、クリエイティブ動画モード(P77)に設定してください。シャッターリモコンで動画撮影開始/終了をすることができます。
- 詳しくは、シャッターリモコンの説明書をお読みください。



こんなときは使えません

- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
- [スリープモード]、[スリープモード Wi-Fi]、[省電力ファインダー撮影]を解除するとき

ACアダプター(別売)/DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC8)を使うと、バッテリー残量を気にすることなく撮影や再生ができます。

ACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

- DCカプラー装着時、DCカプラー扉が開くため、防じん防滴構造ではなくなります。砂やほこり、水滴などが付着、侵入しないようにお気をつけください。使用後は、カプラー扉に異物が付着していないことを確認し、しっかりと閉じてください。
- ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書もお読みください。

フィルター(別売)

MCプロテクターは、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。

NDフィルターは、色調に変化を与えずに、光量だけを1/8(3絞り分)に減少させることができます。

PLフィルターは、金属や球面以外(平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など)からの反射光を抑え、コントラストを強調する写真を撮影することができます。

- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを付けたまま、レンズキャップやレンズフードを取り付けることができます。
- 詳しくは、各種フィルターの説明書をお読みください。

海外旅行先で使う

チャージャーは、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

●電源電圧(100 V~240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。

●国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。

変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。

●ご使用にならないときは、チャージャーと変換プラグを電源コンセントから外してください。

●市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

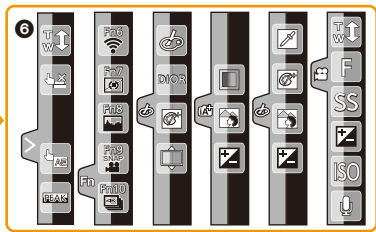
■ 変換プラグの付け方



■ 主な国、地域の 代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF,B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2),SE	オランダ	C(C2),SE	ギリシャ	A,B,B3,C(C2),SE	スイス	A,B,C(C2),SE
スウェーデン	B,C(C2),SE	スペイン	A,C(C2),SE	デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2),SE	ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2),SE	ベルギー	B,C(C2),SE	ロシア	A,C(C2),SE				
アジア											
インド	B,BF,B3,C(C2)	インドネシア	B,B3,C(C2),SE	シンガポール	B,BF,B3	タイ	A,BF,C(C2)	大韓民国	A,C(C2),SE	台湾	A,C(C2),O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF,C(C2),SE	香港特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マカオ特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マレーシア	B,BF,B3,C(C2)
オセアニア											
オーストラリア	O	グアム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B,C(C2),O
中南米											
アルゼンチン	BF,C(C2),SE	ペルー	A,BF,C(C2)	ブラジル	A,C(C2),SE	メキシコ	A,C(C2),SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF,B3	エジプト	BF,B3,C(C2),SE	クウェート	B,B3,C(C2)	トルコ	A,B,C(C2),SE	南アフリカ共和国	B,BF,B3,C(C2)	モロッコ	A,C(C2),SE
タイプ	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	O				
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ				ヨーロッパタイプ		オーストラリアンタイプ			
コンセント形状											
プラグ形状	不要です										

●画面はモニターで表示画面を「」(モニタースタイル)に設定時の例です。



	電子シャッター (P166)
	写真撮影(写真優先) (P146)
	温度上昇表示 (P278)
2	
	クオリティ (P162)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード (P81、90)
	フォーカスブラケット (P122)
	フォーカスセレクト (P110)
	オートフォーカスモード (P82)
	ピント送り (P149)
	個人認証 (P171)
AFL	AFロック (P93)
	連写 (P100)
	4K フォト (P102)
	セルフタイマー (P115)
	バッテリー残量 (P22)
BG	バッテリーグリップ (P265)
DUAL2 	手ブレ補正 (P123)
DUAL2 	手ブレ警告 (P123)
	記録動作(赤点滅)/フォーカス(緑点灯) (P38)
	フォーカス(低照度時) (P80)
	フォーカス(星空 AF 時) (P80)
	Wi-Fi 接続状態
	ヒストグラム表示 (P180)

3	
名前※ ² (P174)	
トラベル経過日数※ ³ (P185)	
月齢/年齢※ ² (P174)	
旅行先※ ³ (P185)	
現在日時/旅行先設定※ ³ : (P184)	
露出メーター (P182)	
焦点距離表示 (P129)	
ステップズーム (P129)	

4	
	AFエリア (P80, 86)
+	スポット測光ターゲット (P163)
+	センターマーカー表示 (P181)
	セルフタイマー (P115)
	マイクレベル表示 (P175)
LMT OFF	マイクレベルリミッター (OFF) (P176)
	サイレントモード (P177)
	外部マイク (P264)
AEL	AEロック (P93)
	測光モード (P46, 162)
P	プログラムシフト (P61)
3.5	絞り値 (P38)
BKT 3.5	絞りブラケット (P122)
60	シャッタースピード (P38)
	露出補正值 (P94)
BKT ±0	露出ブラケット (P121)
	明るさ (P60, 76)
	マニュアル露出アシスト (P64)
200	ISO感度 (P95)

5	
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット (P98)
	ホワイトバランス微調整 (P97)
	ホワイトバランス (P96)
	色合い (P60)

98	記録可能枚数 (P28)
r20	連続撮影可能枚数 (P100)
残XXmXXs	記録可能時間※ ¹ (P29)

6	
タッチタブ (P183)	
	タッチズーム (P130)
	タッチシャッター (P45)
	タッチ AE (P46)
	ピーキング (P180)
	ファンクションボタン (P52)
	色合い (P60)
	ポケ味コントロール (P59, 76)
	明るさ (P60, 76)
	ほかし方 (ジオラマ) (P73)
	ワンポイントカラー (P74)
	光源の位置 (P74)
	画像効果 (フィルター) 調整 (P76, 159)
	画像効果の入/切 (P159)
	画像効果 (フィルター) (P159)
	絞り値 (P38)
	シャッタースピード (P38)
	ISO感度 (P95)
	マイクレベル設定 (P176)

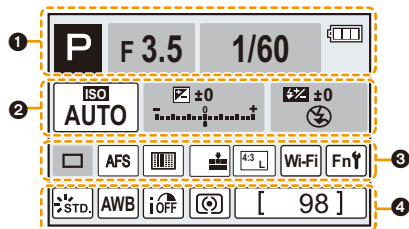
※¹ hは「hour(時間)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

※² [プロフィール設定]を設定時、電源を入れた場合に約5秒間表示されます。

※³ 電源を入れたとき/時計設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

撮影時

モニター撮影情報画面



①

	撮影モード(P39)
F3.5	絞り値(P38)
1/60	シャッタースピード(P38)
	バッテリー残量(P22)

②

ISO AUTO	ISO感度(P95)
	露出補正値(P94)
	明るさ(P60)
	マニュアル露出アシスト(P64)
	フラッシュモード(P134)
	フラッシュ設定(P136、138)

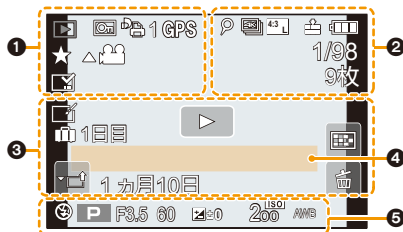
③

	単写(P99)
	連写(P100)
	4Kフォト(P102)
	セルフタイマー(P115)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード(P81、90)
	オートフォーカスモード(P82)
	クオリティ(P162)
	記録画素数/画像横縦比(P161)
Wi-Fi	Wi-Fi(P209)
Fn	ファンクションボタン設定(P51)

④

	フォトスタイル(P158)
	ホワイトバランス(P96)
	iDレンジコントロール(P164)
	測光モード(P162)
98	記録可能枚数(P28)
r20	連続撮影可能枚数(P100)
残XXmXXs	記録可能時間(P28)

再生時

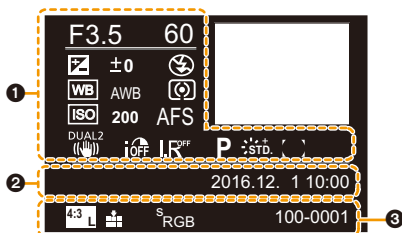


1		再生モード(P193)
		プロテクト(P206)
		プリント枚数(P205)
		位置情報(P194)
		お気に入り表示(P204)
		ケーブル切断禁止アイコン(P257)
		動画再生(P151)
		パノラマ再生(P71)
		連写グループ連続再生(P155)
		4K連写ファイルから写真を保存(P107)
		フォーカスセレクト撮影した画像から写真を保存(P112)
		インターバル撮影グループ連続再生(P155)
		コマ撮りグループ連続再生(P155)
		フォーカスブラケット(P155)
		文字焼き込み済み表示(P200)
		再生経過時間*1(P151)
2		マーカーあり表示(P108)
		4Kフォト(4K連写ファイル)(P102)
		フォーカスセレクト(P110)
		フォーカス合成(P113)
		記録画素数/画像横縦比(P161)
		記録方式/画質設定(P142)
		スナップムービー(P147)
		クオリティ(P162)
		バッテリー残量(P22)

BG	バッテリーグリップ(P265)
1/98	画像番号/トータル枚数
	Wi-Fi 接続状態
9枚	グループ画像枚数
XXhXXmXXs	動画記録時間* ¹ (P151)
3	
	クリアタッチ済み表示(P198)
	情報取得中アイコン
	再生(動画)(P151)
 1日目	トラベル経過日数(P185)
	アップロード(Wi-Fi)(P232)
	連写グループ表示(P155)
	フォーカスブラケットグループ表示(P155)
	インターバル撮影グループ表示(P155)
	コマ撮りグループ表示(P155)
	サブメニュー(P232)
	サイレントモード(P177)
1ヵ月10日	月齢/年齢(P173、174)
	マルチ再生(P153)
	消去(P156)
4	
名前* ² (P173、174)	
旅行先* ² (P185)	
タイトル* ² (P199)	
5	
撮影情報	

再生時

詳細情報表示

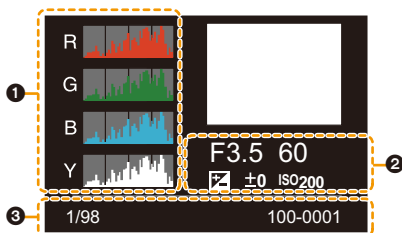


1 撮影情報	
iA	iDレンジコントロール(P164)
HDR	HDR(P164)/iHDR(P58)
I.R	超解像(P164)
[]	シェーディング補正(P169)

2 撮影日時/ワールドタイム(P184)	
----------------------	--

3	
4:3 L	記録画素数/画像横縦比(P161)
MP4 (H.264)	記録方式/画質設定(P142)
RAW	クオリティ(P162)
S _{RGB}	色空間(P170)
4K	4Kフォト(4K連写ファイル)(P102)
AF-ON	フォーカスセレクト(P110)
AF-ON	フォーカス合成(P113)
100-0001	フォルダー・ファイル番号(P255)

ヒストグラム表示



1 ヒストグラム(P43)	
---------------	--

2 撮影情報	
--------	--

3	
1/98	画像番号/トータル枚数
100-0001	フォルダー・ファイル番号(P255)

※ 1 hは「hour(時間)」, mは「minute(分)」, sは「second(秒)」を省略した表示です。

※ 2 [タイトル], [旅行先], [名前](赤ちゃん/ペット), [名前](個人認証)の優先順位で表示されます。

メッセージ表示

確認/エラー内容を画面に文章で表示します。
ここではその主なメッセージを例として説明しています。

消去できない画像があります/この画像は消去できません

DCF規格に準拠していない画像は消去できません。
パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P28)してください。

この画像には設定できません

DCF規格に準拠していない画像は[タイトル入力]、[文字焼き込み]、[プリント設定]などができません。

メモリーカードエラー/フォーマットしますか？

本機では使用できないフォーマットです。

- 別のカードを入れてお試しください。
- パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P28)し直してください。
データは消去されます。

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズを一度外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。(P30)
電源を入れ直し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかを確認ください。

レンズを本体から取り外し、レンズ側と本体側の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。再度レンズを取り付け、電源を入れ直し、それでも表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

メモリーカードエラー/このカードは使用できません

本機に対応したカードをお使いください。(P27)

カードを入れ直してください/別のカードでお試してください

- カードへのアクセスに失敗しました。カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。
- カードが破壊されている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試しください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画の[記録方式]や[画質設定]によって必要なカードのスピードクラスが異なります。4K フォトの撮影には、必要なカードのスピードクラスがあります。対応したカードをお使いください。詳しくは、27 ページの「動画撮影や4K フォトの撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
- 指定されたスピードクラスのカードを使用しても停止した場合は、データ書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット(P28)することをお勧めします。カードの種類によっては、途中で撮影が終了する場合があります。

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみなどを取り除いてください。

アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。(P241)
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHz の周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ ネットワークが切断されました。送信を中止しました。

- 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。接続し直してください。

通信できませんでした

- スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

サーバと接続できませんでした

ルート証明書を更新するメッセージが表示された場合は、ルート証明書の更新に同意してください。

Q&A 故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず **1** の内容をお試しください。
それでも解決できない場合は、**2、3、4** の順にお試しください。

1

本項目(Q&A)の内容を試す

「バッテリー、電源について」	P276
「撮影について」	P276
「動画について」	P278
「フラッシュについて」	P279
「モニター/ファインダーについて」	P279
「再生について」	P280
「Wi-Fi 機能について」	P280
「テレビ、パソコン、プリンターについて」	P282
「その他」	P283

2

セットアップメニューの[設定リセット]を行う(P190)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [設定リセット]

3

パナソニックのサポートサイトで確認する

<http://panasonic.jp/support/dsc/>

●最新のサポート情報、対応レンズなどに関する情報を掲載しています。

4

ご相談窓口にお問い合わせる

付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

バッテリー、電源について

本機を振ると「カタカタ」音がする。

- この音はボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

電源スイッチを[ON]にしても動作しない。またはすぐに切れる。

- バッテリーが消耗しています。充電してください。(P21)

電源が勝手に切れる。

- [エコモード]が働いています。(P187)

バッテリーの消耗が早い。

- [→撮影するときだけ[- 長時間 Wi-Fi 接続を行っていませんか？Wi-Fi 接続中はバッテリーの消耗が早くなります。
→[エコモード](P187)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影について

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/リリース優先]が[フォーカス]になっていませんか？(P178)
ピン트가合うまで撮影できません。

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなる場合があります。
→汚れたときは、電源スイッチを[OFF]にし、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
→撮像素子が汚れたときは：(P285)

撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロック(P93)がかかっていますか？

1 回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを設定していませんか？ (P99)
- ブラケットを設定していませんか？ (P120)

ピントが合わない。

- ピントが合う範囲から外れています。
- [フォーカス/リリース優先]が[リリース]になっていませんか？ (P178)
- [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていませんか？ (P177)
- 不適切な状態でAFロック (P93)がかかっていませんか？

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。
→ 遅いシャッタースピードで撮影するときは三脚を使用し、セルフタイマー (P115) を使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下をお試しください。
→ ISO感度を低くしてください。(P95)
→ [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P158)
→ [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定してください。(P169)

被写体が曲がって撮影される。

- 電子シャッター撮影時、動画撮影時または4Kフォト撮影時、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯やLEDなどの照明器具下でちらつきや横しまが出る。

- これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター (P166) 使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 動画撮影中に蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しまが目立つ場合、[フリッカー軽減] (P175) を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。シャッタースピードは[1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]から選択できます。クリエイティブ動画モード (P77) でも手動でシャッタースピードを設定できます。



ISO感度が高いとき、横しまが出る。

- ISO感度が高いとき、使用するレンズによっては横しまが撮影されることがあります。
→ ISO感度を低くしてください。(P95)

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

被写体でない明るい点が記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性があります。
→ [ピクセルリフレッシュ] (P190) を行ってください。

4K フォトの撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり連続で4Kフォトの撮影を行ったとき、[△]が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。([📷])(4Kプリ連写)では、[📷](4K連写)に切り換わり、停止します)本機の温度が下がるまでお待ちください。

動画について

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行った場合は、本機の保護のため、[△]が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画の[記録方式]や[画質設定]によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。(27 ページの「動画撮影や4Kフォトの撮影とスピードクラスについて」)

4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影させる場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。録音される音声が非常に小さい。

- 静かな環境下での撮影や、使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に録音されることがあります。フォーカス動作は[AF連続動作] (P143) で[OFF]に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

動画に操作音が記録される。

- 操作音が気になるときは、[タッチ静音操作]を使って撮影することをお勧めします。(P78)

フラッシュについて

フラッシュが発光しない。

- フラッシュを閉じていませんか？フラッシュを開いてください。(P131)
- 電子シャッター使用時はフラッシュは発光しません。(P166)
- サイレントモード使用時はフラッシュは発光しません。(P177)

モニター/ファインダーについて

電源[ON]中に、モニター/ファインダーが消える。

- 設定した時間の間に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF] (P187)が働き、モニター/ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。(P37)

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。

[LVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面はモニター表示のみになります。

ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付けが発生します。記録される画像には問題ありません。

ファインダーの色合いが実際とは異なる。

- これは本機ファインダーの表示方式の特徴であり、異常ではありません。記録される画像には問題ありません。

再生について

再生できない。撮影した画像がない。

- カードは入っていますか？
- パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？この場合、本機で再生することはできません。
→パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P252)を使うことをお勧めします。
- [再生モード]を設定していませんか？
→[通常再生]に設定してください。(P193)

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正([, [])が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。
→フラッシュを閉じるか、フラッシュモードを([)にする、または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(P168)

Wi-Fi 機能について

Wi-Fi 接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

■ Wi-Fi 接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用していませんか？
→同時に使用した場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

■ 無線アクセスポイントについて

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
→本機と無線アクセスポイントを近づけてください。
→無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
→無線アクセスポイントの電源を切って、入れ直してください。
→無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを1～11チャンネルの中から選び、設定してください。
→無線アクセスポイントのネットワークSSIDが非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワークSSIDを入力して接続してください。(P241)もしくは、無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。

スマートフォンのWi-Fi 設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンのWi-Fi設定で、Wi-Fi機能を OFF にしてから、再度 ON にしてお試しください。

LUMIX CLUB (PicMate)の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。

- パソコンで編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント(ローカルアカウント/Microsoft アカウント)があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi 機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi 設定] メニューの [PC 接続設定] の [変更する] で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。(P245)
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。
- 本機と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OSによっては接続できないことがあります。
→ 本機の[時計設定]/[ワールドタイム]が、Windowsの「日付と時刻」/「タイムゾーン」、または Mac の「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか確認してください。大きくずれている場合は、合わせてください。

Webサービスに画像を送信できない。

- ログイン情報(ログインID/ユーザー名/メールアドレス/パスワード)が間違っていないか確認してください。

**Webサービスに画像を送信するのに時間がかかる。
画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。**

- 画像のサイズが大きすぎませんか?
→ [送信サイズ](P224)で画像サイズを小さくして送信してください。
→ [動画分割](P201)で動画を分割して送信してください。
- 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。
→ 無線アクセスポイントの近くで送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。(P222)

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニューの[Wi-Fi設定リセット]を実行してください。(P190)ただし、お客様がWi-Fi設定メニューで設定したすべての情報もリセットされます。([PicMate 設定]は除く)

テレビ、パソコン、プリンターについて

テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れたり色が付かない。

- 正しく接続されていますか？ (P248)
→ テレビの入力切替を外部入力にしてください。

ビエラリンク(HDMI)が働かない。

- 本機の[ビエラリンク]を[ON]に設定していますか？ (P189)
→ 接続した機器側のビエラリンク(HDMI)の設定を確認してください。
→ 本機の電源を入れ直してください。

パソコンとの通信ができない。

- 本機の[USBモード]を[PC]に設定してください。(P188、254)
- 本機の電源を入れ直してください。

パソコンにカードが認識されない。(SDXCメモリーカードを使用している)

- お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。
http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。

プリンターに接続して、プリントができない。

- PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。
→ 本機の[USBモード]を[PictBridge(PTP)]に設定してください。(P188、257)

プリントすると、画像の端が切れる。

- トリミング(切抜き)や「縁なし」印刷機能のあるプリンターをお使いのときは、トリミング(切抜き)または「縁なし」の設定を解除してお試しください。(プリンターの説明書をお読みください)
- お店によっては、横縦比を16:9に設定して撮影した画像を16:9のサイズでプリントできる場合がありますので、事前にお店にお尋ねください。

その他

本機を振ると装着したレンズから「カタカタ」音ができる。

- 装着するレンズによっては、レンズが内部で移動することで音ができる場合があります。故障ではありません。

電源[ON]時に、本体から音ができる。

- ダストリダクション機能(P285)が動作する音で、故障ではありません。

レンズ部から音ができる。

- 電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。

- 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P178)が赤く点灯します。

本機が熱くなる。

- ご使用中、本機表面やモニターの裏側が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
→「時計を設定してください」とメッセージが出ますので、再度時計設定をしてください。(P34)

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出したりACアダプター(別売: DMW-AC10)、DCカプラー(別売: DMW-DCC8)を一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。

また、コード、ケーブルは延長しないでください。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

■ 撮像素子のごみの付着について

本機はレンズ交換方式のため、レンズ交換の際に本体の内部にごみが入り込むことがあり、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。

本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐために、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避け、本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップのごみも必ず除去してください。

ダストリダクション機能について

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源スイッチを[ON]にすると自動的に動きますが、特にごみが気になる場合はセットアップメニューの[センサークリーニング] (P190) を行ってください。

撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいので、やむをえずご自身でクリーニングされる場合は、次のことを必ずお守りください。

- ブロワー(市販)で撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにお気をつけください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- ブロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ ファインダー/アイカップのお手入れについて

- アイカップは取り外しできませんので、汚れた場合などお手入れの際は、ブロワー(市販)でファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた柔らかい布で軽くふき、外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

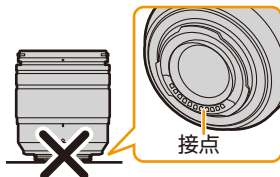
モニター/ファインダーについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点や白い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)することがあります。これは故障ではありません。モニター/ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ面を強く押さないでください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズ表面に汚れ(水、油、指紋など)がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- ほこりなどの付着、侵入を防ぐため、使用しないときは、レンズリアキャップを付けてください。
- レンズの接点を保護するため、レンズ取り付け部を下にして置かないでください。また、レンズの接点を汚さないようにお気をつけください。
- 交換レンズ(H-FS12060)は、防じん防滴性能の向上のため、マウント部にレンズマウントラバーを使用しています。レンズ交換を繰り返すと、デジタルカメラ本体のマウント部分にレンズマウントラバーのすれ跡が付くことがあります。性能には問題ありません。レンズマウントラバーの交換については、修理ご相談窓口にお問い合わせください。



バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにチャージャー(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P267)

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機を傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>

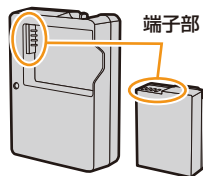
使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



チャージャーについて

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波などの影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ (特にAM受信中) の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、最大約 0.1 W の電力を消費しています)
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。



カードについて

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失するおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。

廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

プロフィール設定/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

個人情報の保護のため、Wi-FiパスワードやWi-Fi機能ロックを設定することをお勧めします。(P245, 246)

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。

個人情報を含む情報の変化、消失が生じて、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を [Wi-Fi 設定リセット]/[消去・退会] を行って必ず消去してください。(P190, 237)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P190)
- メモリーカードは、本機より取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、287 ページの「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

画像を Web サービスにアップロードするとき

- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

長期間使用しないときは

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。(推奨温度: 15℃～25℃、推奨湿度: 40%RH～60%RHです)
- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにしておくと、本機の電源スイッチが [OFF] であっても、絶えず微小電流が流れています。これをそのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

画像データについて

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 本機に径の大きなレンズを取り付けた場合、三脚/一脚によっては台座にレンズが接触するものがあります。接触した状態でねじを締めると、本機やレンズを損傷することがありますので、三脚アダプター(別売:DMW-TA1)を取り付けてから三脚/一脚に装着することをお勧めします。
- 三脚/一脚の説明書もよくお読みください。

ショルダーストラップについて

- 本体に重いレンズ(約1 kg以上)を付けた場合、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。本体とレンズを持って持ち運びしてください。

Wi-Fi 機能について

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク(SSID※)が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- G MICRO SYSTEMは、マイクロフォーサースシステム規格に準拠したLUMIXのレンズ交換式デジタルカメラシステムです。
- マイクロフォーサースTM 及びマイクロフォーサース ロゴマークはオリンパス(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサースTM 及びフォーサース ロゴマークはオリンパス(株)の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive”のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI ControlTM は商標です。
- Adobelは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Android および Google Play はGoogle Inc.の商標または登録商標です。



- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®”、“Wi-Fi Direct®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

パナソニックスマートアプリのご案内



パナソニックスマートアプリについて

パナソニック商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

パナソニックスマートアプリで取扱説明書を読む

スマートフォンに取扱説明書を簡単にダウンロードできます。



- カメラとスマートフォンをご自宅の無線アクセスポイント(無線LANルーター)につないで、ご愛用者登録することができます。
- カメラを操作できる「Panasonic Image App」などのアプリも一括で管理できます
- お楽しみコンテンツ・サービスの利用や、ソフト更新情報、キャンペーンなど、各種のお得な情報を入手できます

パナソニックスマートアプリのダウンロード方法や使い方はこちら

<http://panasonic.jp/pss/ap/>



- 「パナソニックスマートアプリ」のご利用にはパナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のログインIDが必要です。本アプリからも新規会員登録いただけます。
- 「パナソニックスマートアプリ」は無料です。ダウンロードには別途通信料が発生します。
- インターネット接続ができない環境では、本アプリをご利用になれません。
- スマートフォンの対応OSやサポート機種は上記サイトでご確認いただけます。

さくいん

あ行

アイキャップ	285
アイセンサー	37
アイセンサー AF	177
青空をさわやかに撮る	68
アクセス表示	27
圧縮率	162
位置情報記録	194
位置情報データ消去	224
位置情報の書き込み	218
イルミネーションをキラキラ撮る	69
色温度設定	96
色空間	170、255
インターバル撮影	116
インターバル動画作成	201
インターバル / コマ撮り撮影	116
インテリジェントオートプラスモード	56
インテリジェントオートモード	55
インテリジェント ISO	95
インプレッションアート	73
動くペットをきちんと撮る	69
後ダイヤル	40
エコモード	187
オートフォーカスモード	82
オートホワイトバランス	96、97
オートレビュー	182
オールドデイズ	73
お気に入り	204
お気に入り登録する (Wi-Fi 接続)	243
お手入れ	284

か行

カーソルボタンロック	52
カード	26、27、287
回折補正	170
ガイドライン表示	180
外部フラッシュ	263
外部マイク	264
顔・瞳認識	83
拡張 ISO 感度	168
画質設定 (動画撮影時)	142
画質調整	158
カスタムセット登録	79
カスタムマルチ (AF)	84
カスタムメニュー	177
カスタムモード	79
風音キャンセラー	176

風音低減	265
画像回転	204
画像サイズ (パノラマ)	70
画像表示順	207
画像横縦比	161
カメラ内の画像を送る	223
カレンダー再生	154
機器名称	245
輝度レベル設定	175
逆光でしっかり撮る	68
逆光でふんわり撮る	68
逆光補正	57
記録画素数	161
記録可能時間 (動画撮影時)	23、29
記録可能枚数	23、28
記録方式	142
記録枠表示	182
クイックメニュー	49
クイック AF	177
クオリティ	162
クラウド上限枚数動作	224
クラウド同期サービス	233
クリアレタッチ	198
クリエイティブコントロールモード	72
クリエイティブ動画モード	77
グループ画像	155
クロスフィルター	73
クロスプロセス	73
言語設定	189
光学ズーム	126
個人認証	171
子どもをかわいく撮る	68
コマ撮りアニメ	118
コマ撮りアニメ作成	202
コントラスト	158

さ行

再生	150
再生ズーム	153
再生メニュー	191
再生モード	193
彩度	159
サイレントモード	177
撮影距離基準	91
撮影中に画像を送る	223
撮影方向	70
撮影メニュー	157

三脚	289
サンシャイン	73
残枚数 / 残時間切換	182
シーンガイドモード	67
シェーディング補正	169
ジオタギング	218
ジオラマ	73
色調	159
自動シーン判別	55
視度調整	36
絞りブラケット	122
絞り優先 AE モード	62
シャープネス	158
写真撮影 (動画撮影時)	146
シャッターディレイ	167
シャッター半押しリリース	177
シャッター半押し AF	177
シャッター方式	166
シャッター優先 AE モード	63
シャッターリモコン	266
充電	21
消去	156
消去確認画面	207
常時プレビュー (M モード)	182
焦点距離設定	125
焦点距離表示	129
省電力ファインダー撮影	187
ショルダーストラップ	20
シルキーモノクローム	73
人物の肌をきれいに撮る	68
人物をきれいに撮る	68
スイーツをかわいく撮る	69
水準器調整	190
水準器表示	43
水面をキラキラ撮る	69
ズーム	126
ズーム速度	129
ズームリング操作	129
ステップズーム	129
ステレオガンマイクホン	264
スナップムービー	147
スポーツをきれいに撮る	69
スポット測光	163
スマートフォンとつないで使う	212
スライドショー	192
スリープモード	187
スリープモード (Wi-Fi)	187

設定リセット	190
セットアップメニュー	184
セピア	73
ゼブラパターン表示	181
セルフタイマー	115
センサークリーニング	190
センターマーカー表示	181
専用マイク設定	264
送信サイズ	224
送信ファイル形式	224
ソフトフォーカス	73

た行

タイトル入力	199
ダイナミックモノクローム	73
ダイヤル設定	41
ダイヤル動作切換設定	41
ダイレクトフォーカス移動	178
宅外 AV 機器設定	238
多重露出	165
ダストリダクション機能	285
タッチ再生送り速度	183
タッチシャッター	45
タッチズーム	130
タッチ静音操作	78
タッチ設定	183
タッチタブ	183
タッチパッド AF	88、183
タッチパネル	44
タッチ AE	46
タッチ AF	86、183
縦位置検出機能	36
縦位置自動回転	204
ダビング	256
中央重点測光	163
超解像	164
長秒ノイズ除去	169
追尾 AF	84
露付き	13
低照度 AF	80
デジタル赤目補正	168
デジタルズーム	128
デフォルトに戻す	52、53
手ブレ補正	123
デモモード	190
テレビ再生	221、247、248
テレビ接続設定	188

電子音	185
電子先幕	166
電子シャッター	166
電子補正 (動画)	124
トイフォト	73
トイポップ	73
動画から写真を作成	152
動画再生	151
動画撮影	77、141
動画撮影中に写真を記録	146
動画分割	201
動画ボタン	39、141、183
動画メニュー	175
動画露出設定	77
時計設定	34
ドライブモード	99
トラベル日付	185
トリミング (切抜き)	203

な行

認証情報	246
認証情報編集	206
ネットワークアドレス表示	246
ノイズリダクション	159

は行

バージョン表示	189
ハイキー	73
ハイダイナミック	73
ハイライトシャドウ	163
ハイライト表示	181
パソコン接続	228、251
発光禁止	131、134
発光モード	133
バッテリー	21、25、286
バッテリーグリップ	265
バッテリー使用順序	265
花をふんわり撮る	69
パノラマ設定	70
パノラマで撮る	70
バルブ	64
パワーズームレンズ	129
番号リセット	189
ピーキング	180
ピエラリンク	189、250
比較明合成	197
ピクセルリフレッシュ	190

ヒストグラム表示	180
日付プリント	205、258、259
ピント	80、143
ピント送り	149
ピンポイント AF 時間	178
ピンポイント AF 表示	178
ピンポイント (AF)	82、87
ファイル番号	189、255、272
ファインダー	36、268
ファインダー / モニター自動切換	37
ファンクションボタン	51
ファンタジー	73
フィルター効果	72、159
フィルター設定	159
フィルターなし同時記録	160
風景をきれいに撮る	68
フェード	148
フォーカスエリア選択	52
フォーカス合成	113
フォーカスセレクト	110
フォーカスブラケット	122
フォーカスモード	81
フォーカス / リリース優先	178
フォーマット	28
フォトスタイル	158
フォルダー番号	189、255、272
ブラケット	120
フラッシュ	131
フラッシュ光量調整	94、137
フラッシュシンクロ	136
フラッシュ設定	133
フラッシュモード	134
ブリーチバイパス	73
フリッカー軽減	175
プリント	226、257
プリント設定	205
プリント枚数	205、258
プレビュー	65
プログラムシフト	61
プログラム AE モード	61
プロテクト	206
プロフィール設定	174
ボケ味コントロール	59、76
星空 AF	80
ホットシュー	263
ホットシューカバー	263
ポップ	73

ボディ内手ブレ補正	123
ほのぼのした雰囲気撮る	68
ホワイトバランス	96
ホワイトバランス微調整	97
ホワイトバランスブラケット	98

ま行

マイクレベル設定	176
マイクレベル表示	175
マイクレベルリミッター	176
前ダイヤル	40
マニュアル発光量設定	133、139
マニュアルフォーカス	90
マニュアル露出モード	63
マルチ再生	153
マルチ測光	163
メカシャッター	166
メニュー位置メモリー	189
メニューインフォメーション	189
メニューガイド	183
メニュー背景色	189
文字入力	54
文字焼き込み	200
モニター	33、268
モニター輝度	186
モニター撮影情報画面	42、49、51、182
モニター調整	186
モニター表示スタイル	42
モノクローム	73
モノクロで撮る	69
モノクロライブビュー	181

や行

夜景をアーティスティックに撮る	69
夜景を暖かく撮る	69
夜景をきれいに撮る	69
夜景を手持ちで撮る	69
夜景をバックに人物をきれいに撮る	69
夕焼けを印象的に撮る	68
夕焼けを幻想的に撮る	68
用紙サイズ	258
夜空をクールに撮る	69

ら行

ライブビューモード	185
ラフモノクローム	73
リサイズ (縮小)	202

リモート撮影	216
料理をおいしそうに撮る	69
ループ記録	104
レイアウト	258
レトロ	73
連写	100
連写速度	100
レンズ	19、30、286
レンズ位置メモリー	183
レンズ動作音低減	176
レンズ内手ブレ補正	123
レンズ無しリリース	183
レンズフード	32
連続撮影可能枚数	100
ローキー	73
露出ブラケット	121
露出補正	94
露出補正リセット	189
露出補正連動	137
露出メーター	182

わ行

ワールドタイム	184
ワイヤレス設定	139
ワイヤレスチャンネル	139
ワイヤレス通信光量	140
ワイヤレスフラッシュ	138
ワイヤレスプリント	226
ワイヤレスモード	139
ワイヤレス FP	140
ワンプッシュ AE	66
ワンポイントカラー	73

英数字

1 点 (AF)	82
1 枚消去	53、156
2D/3D 切換	261
3D 写真	260
3D テレビ出力	188
49 点 (AF)	82
4K 動画	141、247
4K フォト	102
4K フォト一括保存	197
4K プリ連写	102、103
4K ライブクロップ	144
4K 連写	102、103
4K 連写ファイル	103



4K 連写 (S/S).....	102、103	LVF/ モニター表示スタイル.....	52
5 軸ハイブリッド手ブレ補正.....	123	MAC アドレス.....	246
AC アダプター.....	266	MC プロテクター.....	266
AF 追従感度.....	178	MF.....	90
AF 補助光.....	178	MF アシスト.....	179
AF 連続動作 (動画).....	143	MF アシスト表示.....	179
AFC.....	81、143	MF ガイド.....	179
AFF.....	81、143	MP4.....	142
AF-ON.....	92、93	ND フィルター.....	266
AFS.....	81、143	PC 接続設定.....	245
AFS/AFF.....	81	PHOTOfunSTUDIO.....	252
AF/AE ロック.....	93	ピクメイト PicMate 設定.....	234
AF/AE ロック維持.....	177	ピクトブリッジ PictBridge.....	257
AF/AE ロック切換.....	92、93	PL フィルター.....	266
AF+AE.....	89	クイックメニュー Q.MENU.....	49、183
AF+MF.....	179	RAW.....	162
AV 機器 (Wi-Fi 接続).....	227	RAW 現像.....	195
AVCHD.....	142	SD スピードクラス.....	27
プログレッシブ AVCHD Progressive.....	142	TTL.....	133
B (バルブ).....	64	TV で見る (Wi-Fi 接続).....	221
DC カプラー.....	266	UHS スピードクラス.....	27
DCF 規格.....	150	USB 接続ケーブル.....	254、257
デュアル Dual I.S. 方式.....	123	USB モード.....	188
EX テレコン.....	126	Web サービス.....	230
ファンクション Fn ボタン設定.....	51	Wi-Fi 機能.....	208
コントロール HDAVI Control TM.....	250	Wi-Fi 機能ロック.....	246
HDMI 出力解像度 (再生時).....	188	Wi-Fi 設定メニュー.....	245
HDMI 出力 (撮影時).....	249	Wi-Fi 設定リセット.....	190
HDMI 情報表示 (撮影時).....	188、249	Wi-Fi パスワード.....	245
HDMI マイクロケーブル.....	247、248	Wi-Fi Direct.....	242
HDR.....	164	WPS.....	240
i 手持ち夜景.....	57		
iD レンジコントロール.....	164		
i HDR.....	58		
Image App.....	211		
iOS.....	211		
IP アドレス.....	246		
ISO 感度.....	95		
ISO 感度上限設定.....	95、168		
ISO 感度ステップ.....	168		
iISO (インテリジェント ISO).....	95		
ルミックス クラブ ピクメイト LUMIX CLUB (PicMate).....	234		
LVF 調整.....	186		
LVF 表示スタイル.....	42		
LVF/ モニター切換.....	37		
LVF/ モニター自動 OFF.....	187		

パナソニック株式会社 アプライアンス社

〒525-8520 滋賀県草津市野路東2丁目3番1-1号

© Panasonic Corporation 2016